

5. 国内観光客調査

1. 調査概要

- (1)実施方法 : WEBモニターアンケート型
- (2)対象者 : 那覇市内で1泊以上宿泊した日本人客※修学旅行生、県民は除く。
- (3)調査項目 : 居住地、年代、性別、訪問回数、同行者、旅行目的、宿泊日数、宿泊施設、活動内容、利用した交通機関、旅行形態、那覇市内における消費額、観光客の声等の調査。
(設問数 30問程度)
- (4)調査方法 : インターネットを介した WEBモニター 調査
調査回数 : 契約期間中4回実施 (スクリーニング調査及び本調査)
- (5)実施日 : インターネット調査 : 4回実施
1回目 : 2025年9月 (2025年1月～3月中に訪れた者)
2回目 : 2025年9月 (2025年4月～6月中に訪れた者)
3回目 : 2025年11月 (2025年7月～9月中に訪れた者)
4回目 : 2026年 1 月 (2025年10月～12月中に訪れた者)
- (6)実回収数 : 1回目 : 400サンプル
2回目 : 400サンプル
3回目 : 400サンプル
4回目 : 400サンプル
合 計 : 1,600サンプル
- (7)結果の見方 : 結果数値 (%) は小数点第2位以下を四捨五入してあるため、内訳の合計が一致しない場合がある。

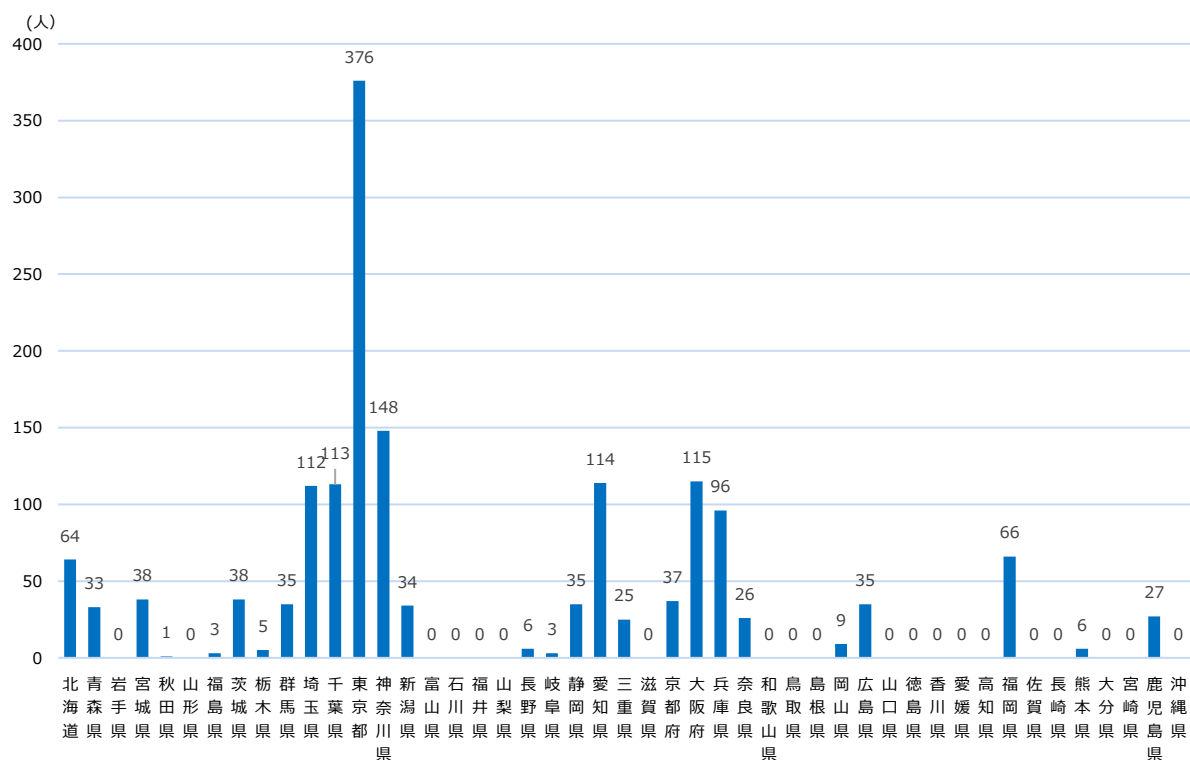
2. 調査結果

(1) 回答者属性

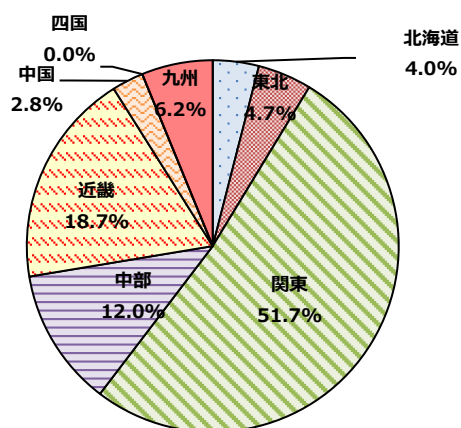
1) 居住地

①都道府県

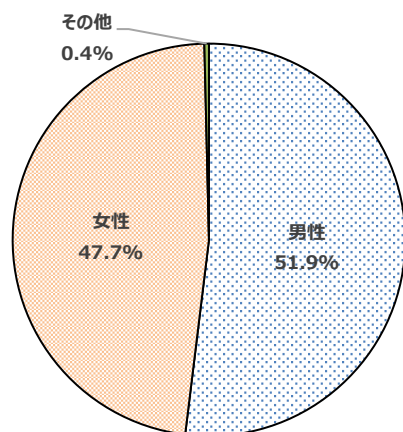
N=1,600



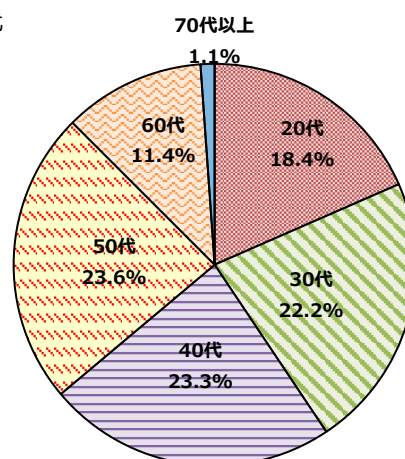
②地域別



2) 性別

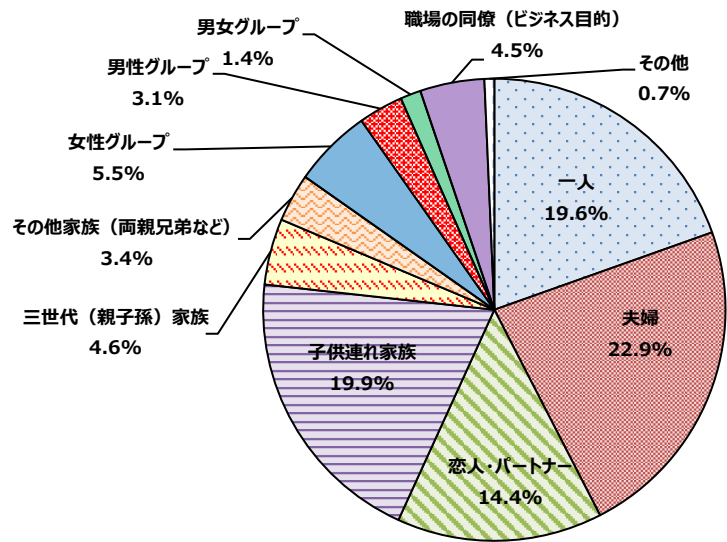


3) 年代

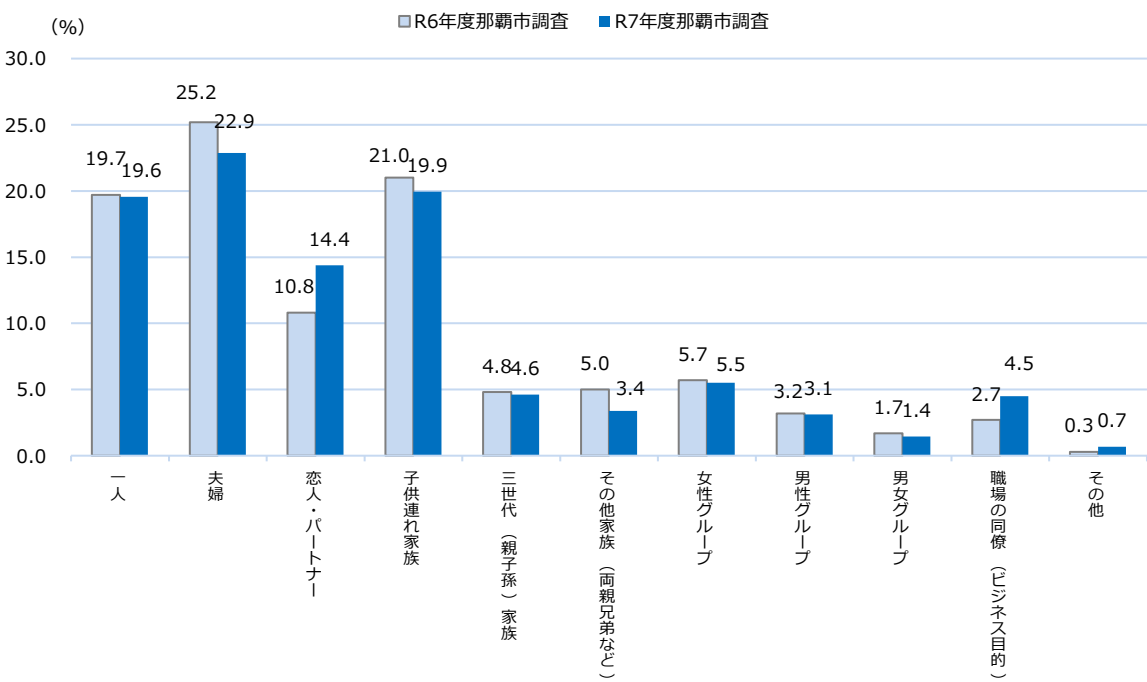


(1) 回答者属性

4) 同伴者

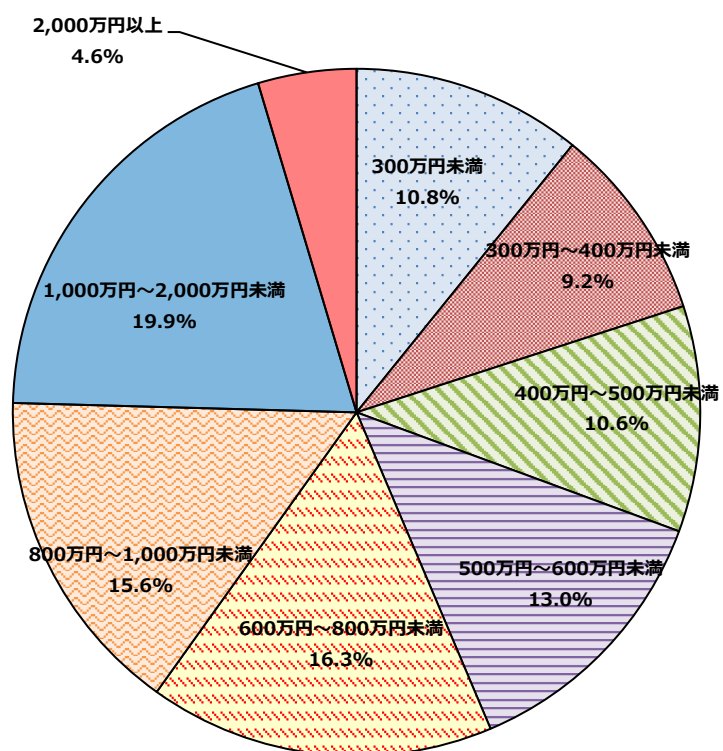


<比較対象 令和6年度那覇市調査>



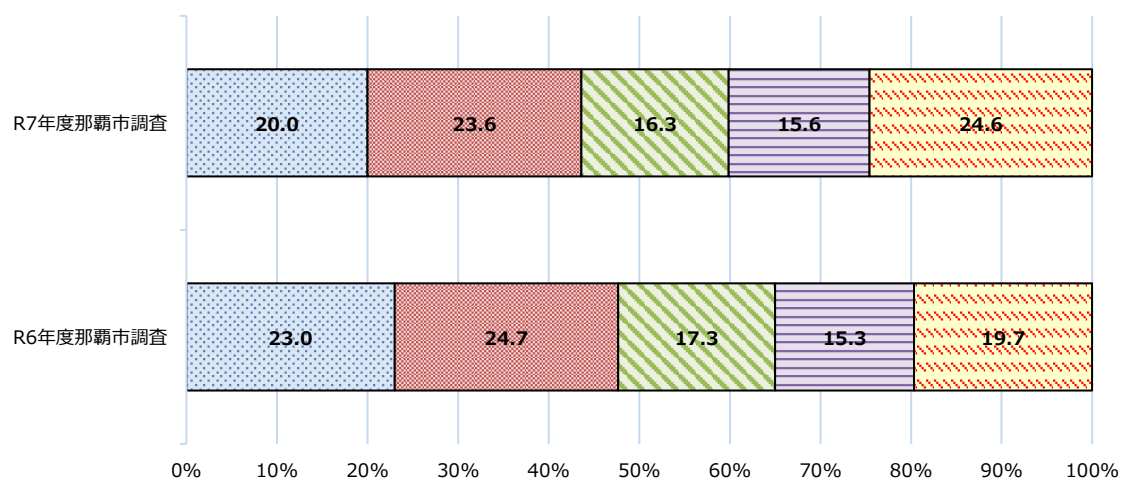
(1) 回答者属性

5) 世帯年収



<比較対象 令和6年度那覇市調査>

□400万円未満 □400～600万円未満 □600万円～800万円未満 □800万円～1,000万円未満 □1,000万円以上



(2) 旅行目的

Q3. 今回の旅行の主な目的を教えてください

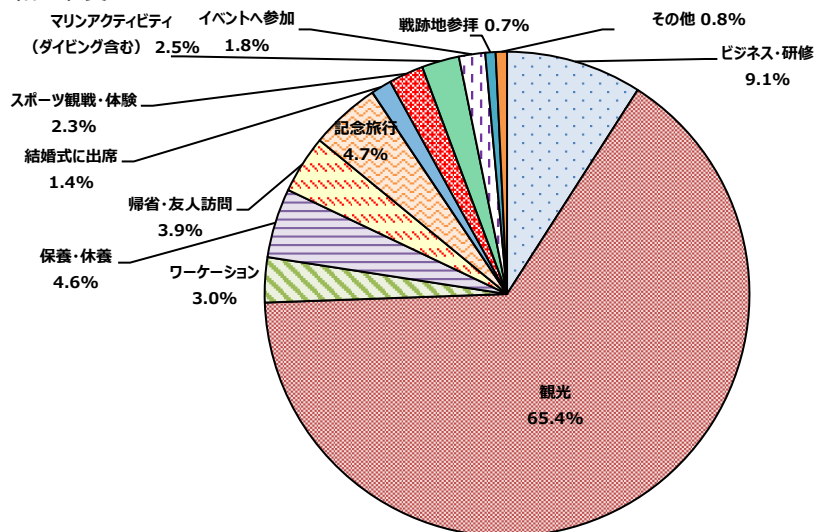
旅行目的として最も回答が多かったのが「観光」で65.4%、次いで「ビジネス・研修」の9.1%と続く。

性別で見ると「ビジネス・研修」は男性14.8%、女性2.9%と男性の比率が高くなっている。

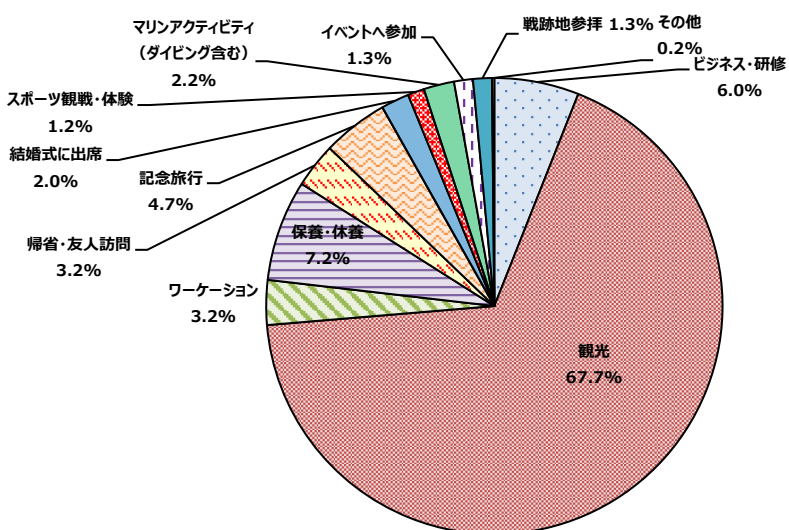
「保養・休養」が男性5.5%、女性3.7%と男性の比率が高い。

<旅行目的>

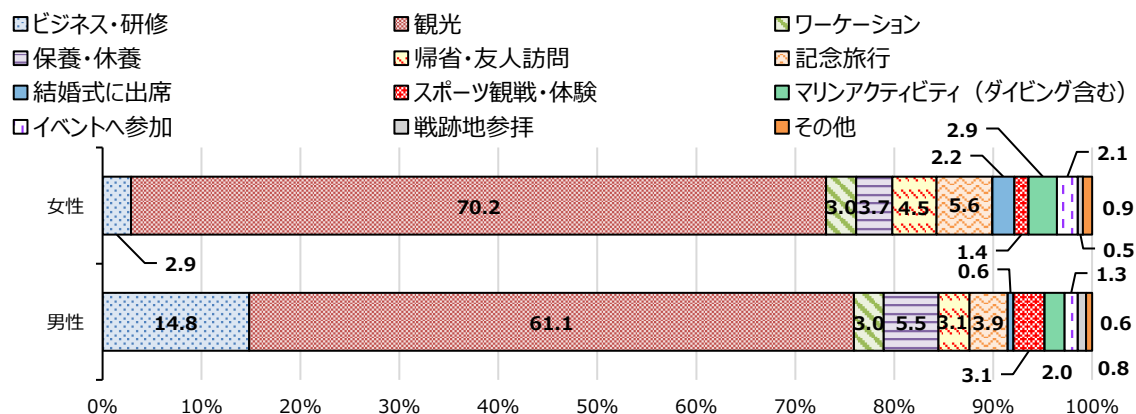
<令和7年度>



<令和6年度>

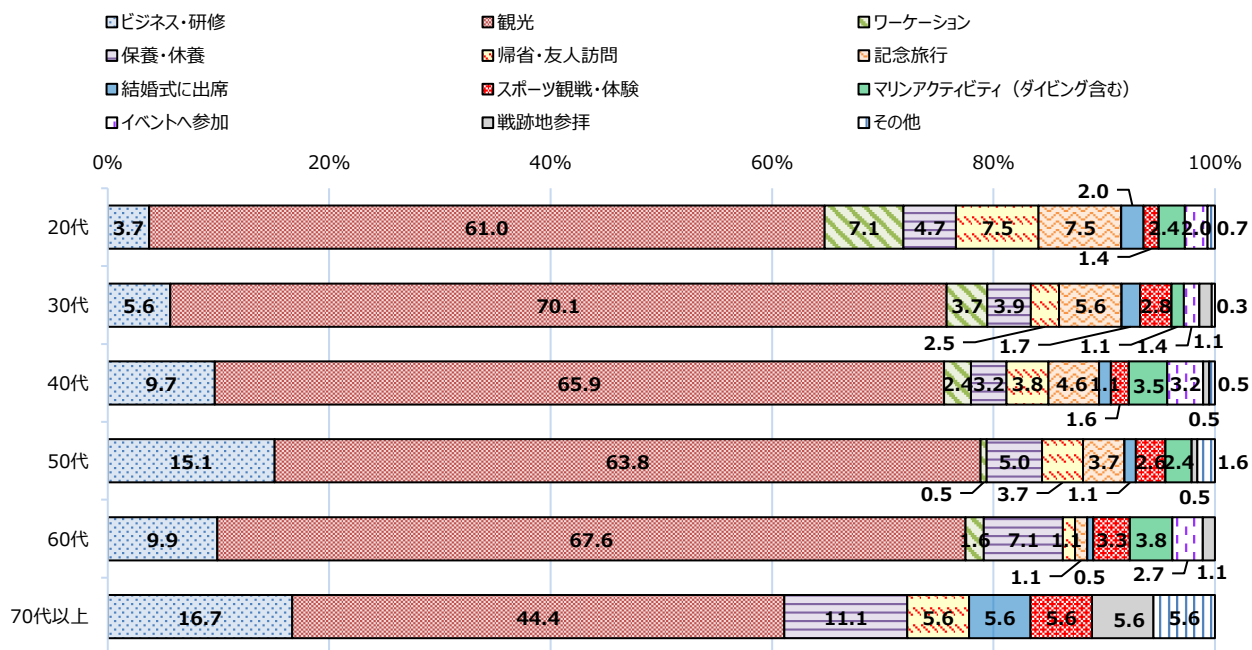


<性別>



(2) 旅行目的

<年代別>



	ビジネス・研修	観光	ワーケーション	保養・休養	帰省・友人訪問	記念旅行	結婚式に出席	スポーツ観戦・体験	マリンアクティビティ (ダイビング含む)	イベントへ参加	戦跡地参拝	その他
10代	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20代	3.7	61.0	7.1	4.7	7.5	7.5	2.0	1.4	2.4	2.0	0.0	0.7
30代	5.6	70.1	3.7	3.9	2.5	5.6	1.7	2.8	1.1	1.4	1.1	0.3
40代	9.7	65.9	2.4	3.2	3.8	4.6	1.1	1.6	3.5	3.2	0.5	0.5
50代	15.1	63.8	0.5	5.0	3.7	3.7	1.1	2.6	2.4	0.0	0.5	1.6
60代	9.9	67.6	1.6	7.1	1.1	1.1	0.5	3.3	3.8	2.7	1.1	0.0
70代以上	16.7	44.4	0.0	11.1	5.6	0.0	5.6	5.6	0.0	0.0	5.6	5.6

(3) 来訪回数

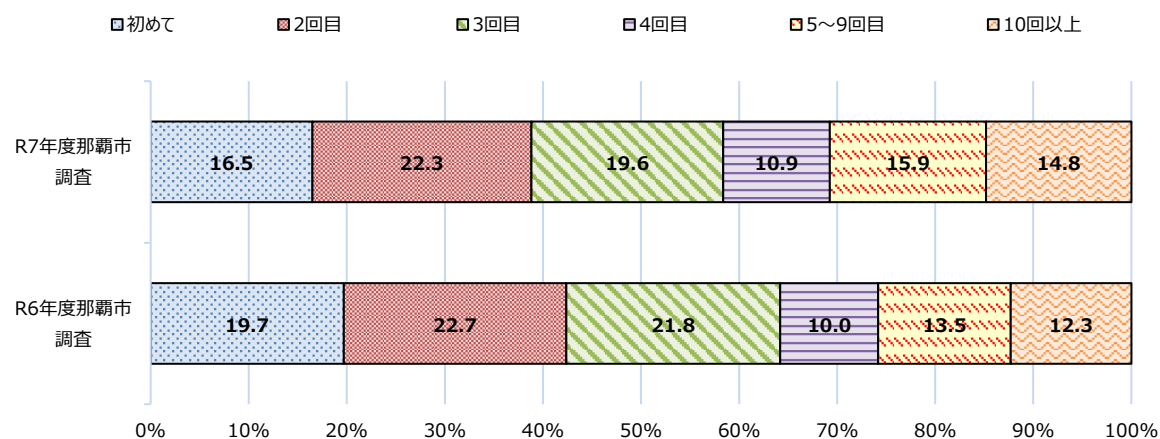
Q4. 那覇市内への宿泊は今回で何回目ですか

那覇市への宿泊が2回目以上の人の割合が83.5%と令和6年度に比べ3.2ポイント増加している。

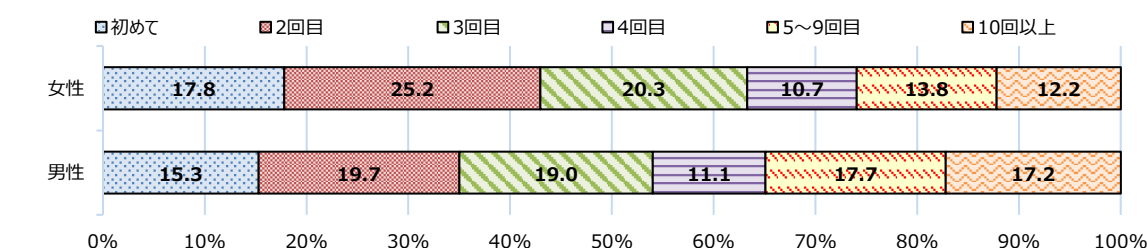
性別で見ると、男性は女性に比べて訪問回数「10回以上」のリピーターが多い傾向にある。

年代別に見ると、年代が上がるにつれ来訪回数が多くなる傾向にあり、60代では訪問回数「10回以上」のヘビーリピーターの割合が最も高い。

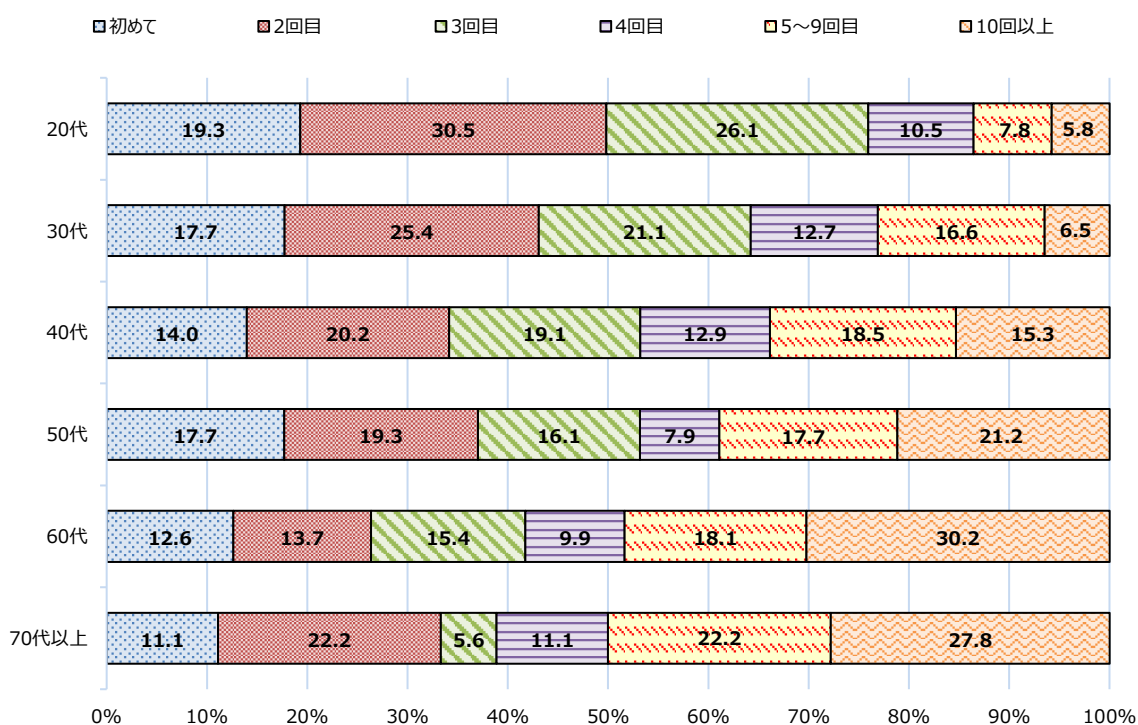
<那覇市内への宿泊回数>



<性別>



<年代別>



(3) 来訪回数

過去の調査結果と比較すると、令和7年度調査は「4回以上」の比率が41.6%で昨年度から増加しているものの過年度の中では低い。

<比較対象 過去的那覇市調査>

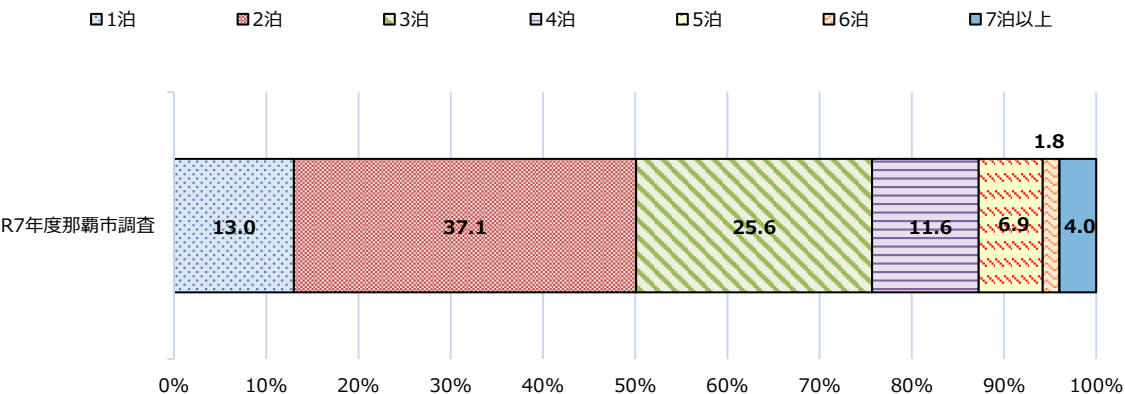


（４）今回の旅行全体宿泊数

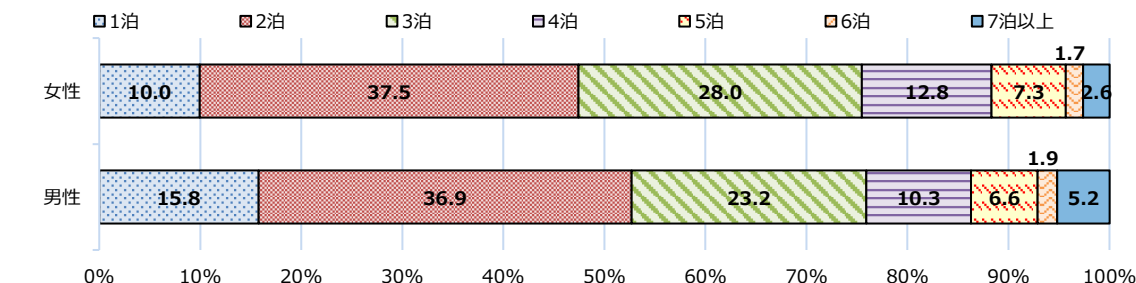
Q5. 今回の旅行全体における沖縄県での宿泊数を教えてください

県内での宿泊数は「2泊」が37.1%、「3泊」が25.6%の順で高い。
性別で見ると「3泊以上」の合計は女性が52.4%、男性が47.2%と、女性の方が滞在日数が多い傾向がある。
年代別で見ると、「3泊以上」の合計は、60代が63.6%と他の年代と比べ旅行全体の泊数が長い。

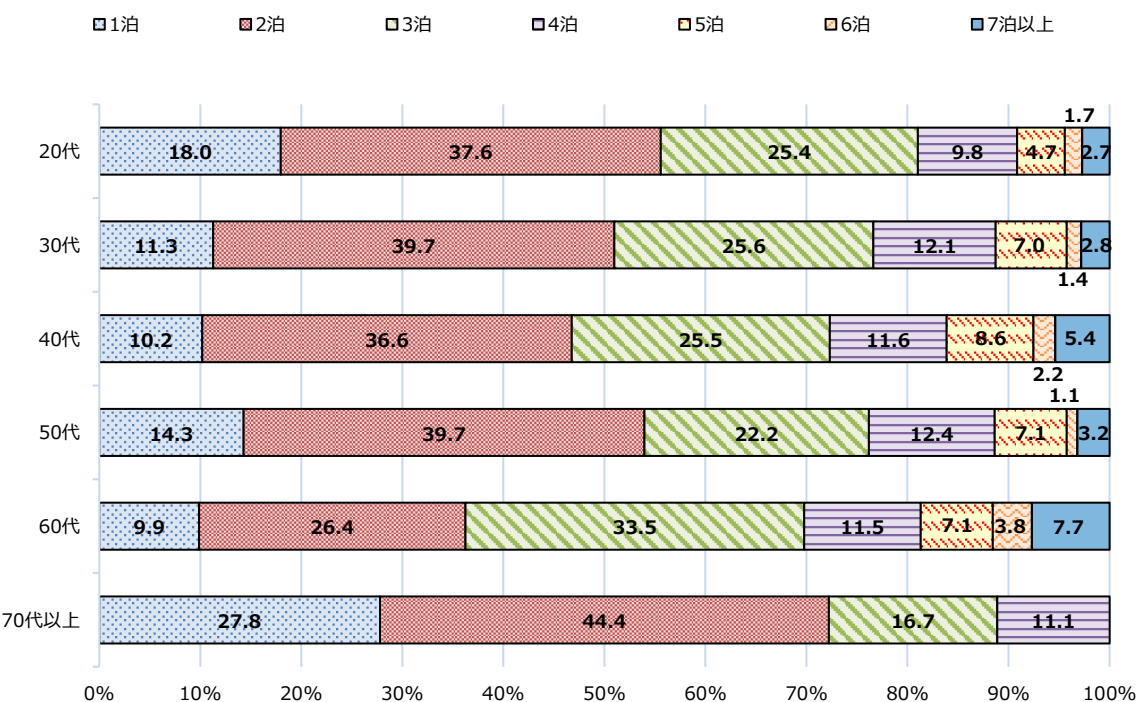
＜県内宿泊数＞



＜性別＞



＜年代別＞



（５）宿泊時期（複数回答可）

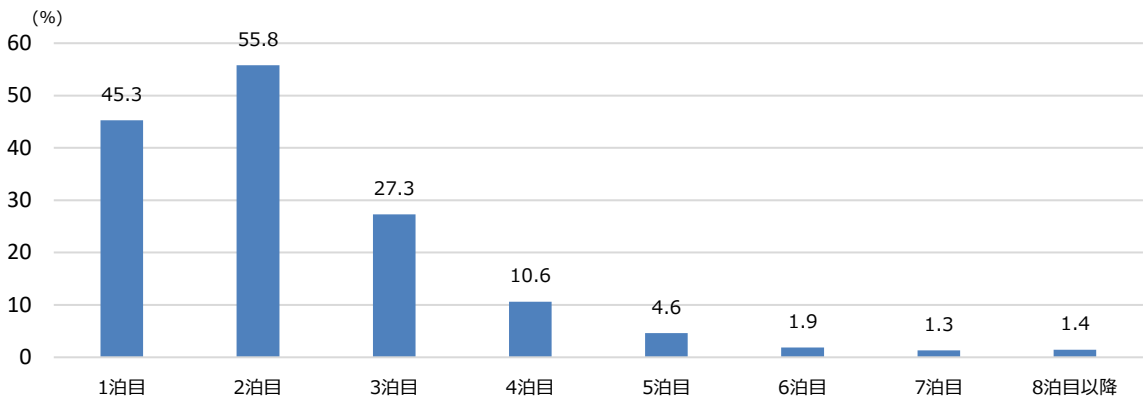
Q6. 今回の旅行期間中の那覇市滞在の宿泊時期について教えてください

市内での宿泊時期について「2泊目」が55.8%、「1泊目」が45.3%の順で多い。

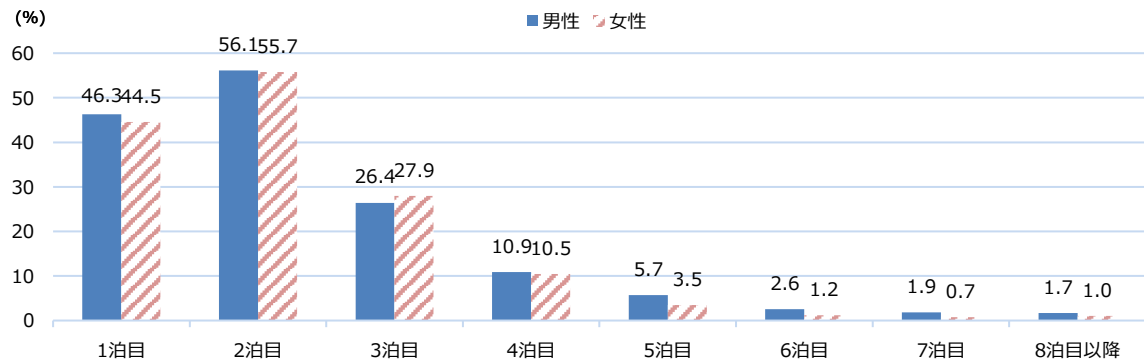
性別にみると男性、女性で傾向の違いは見られず、どちらも「2泊目」が56%前後で最多である。

年代別に見ると、20～50代において「2泊目」に那覇に宿泊する人が多くなっている。

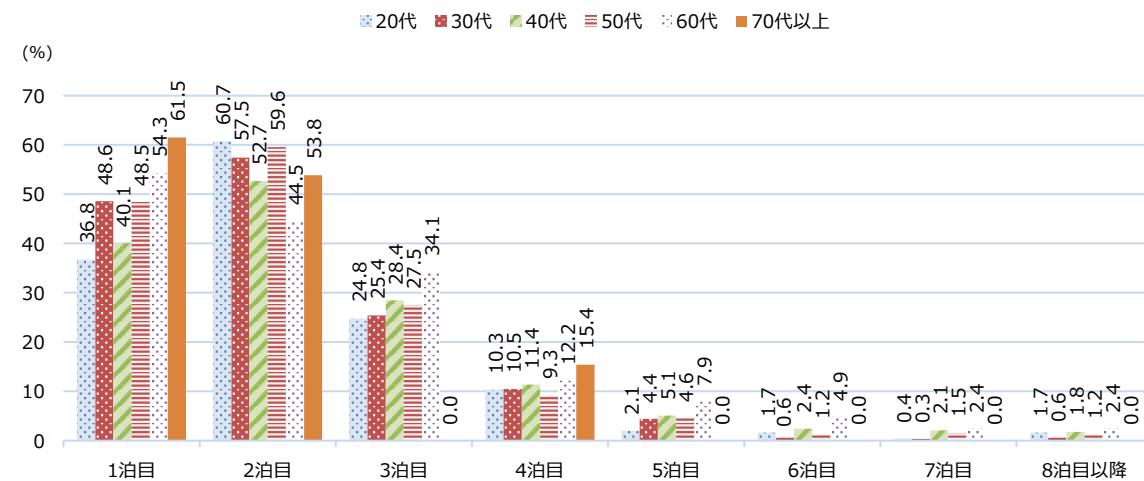
＜宿泊時期＞



＜性別＞



＜年代別＞



（６）宿泊施設

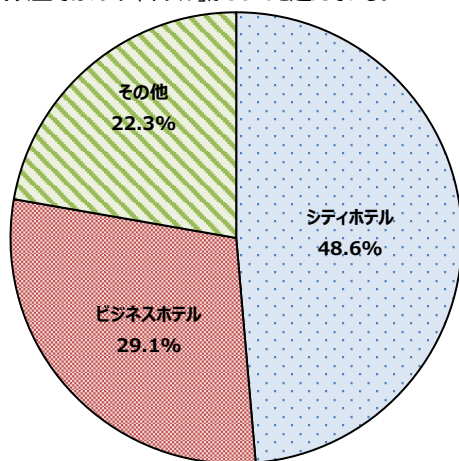
Q7. 今回、那覇市内で宿泊した施設の種類を教えてください

宿泊した施設は「シティホテル」が48.6%、「ビジネスホテル」が29.1%、「別荘・リゾートマンション」が5.8%となっている。

性別で見ると、「ビジネスホテル」は男性36.1%、女性21.5%で女性よりも男性が高くなっている。

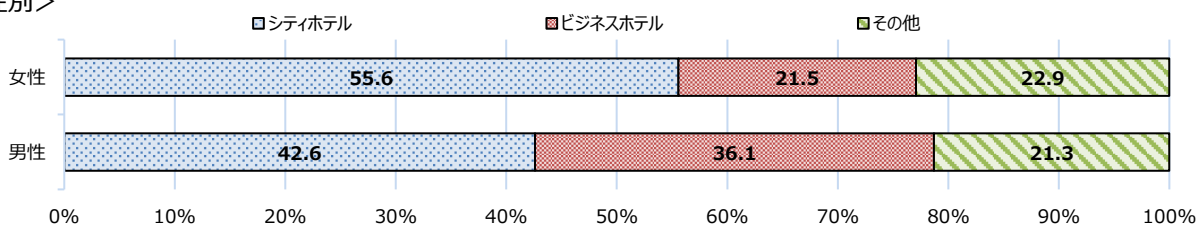
年代別に見ると、50代以上では「シティホテル」が50%を超えている。

＜宿泊施設＞

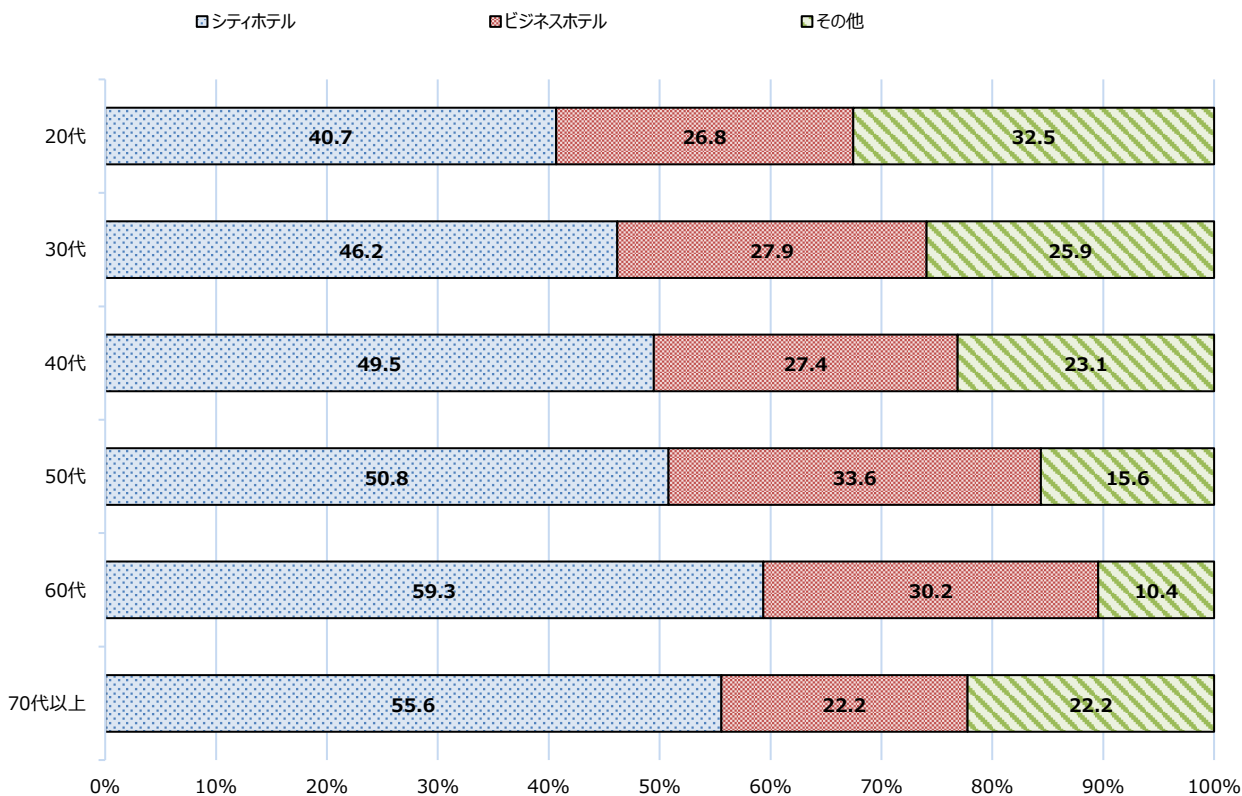


その他	%
別荘・リゾートマンション	5.8
ドミトリー	4.1
ウィークリーマンション	2.8
民宿	2.5
実家・親戚・知人宅	2.4
ペンション	2.1
民泊施設	1.1
会員制宿泊施設	0.6
その他	0.6
保養所・研修所	0.3

＜性別＞



＜年代別＞

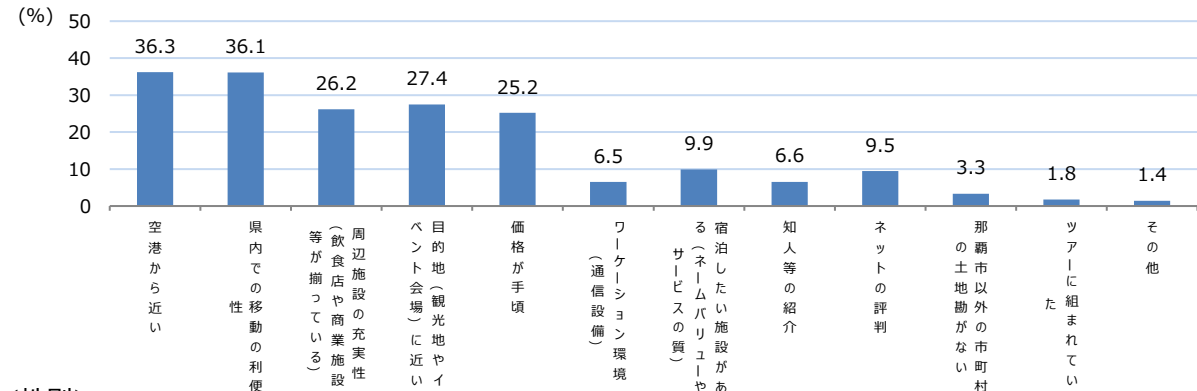


(7) 那覇市内宿泊理由(複数回答可)

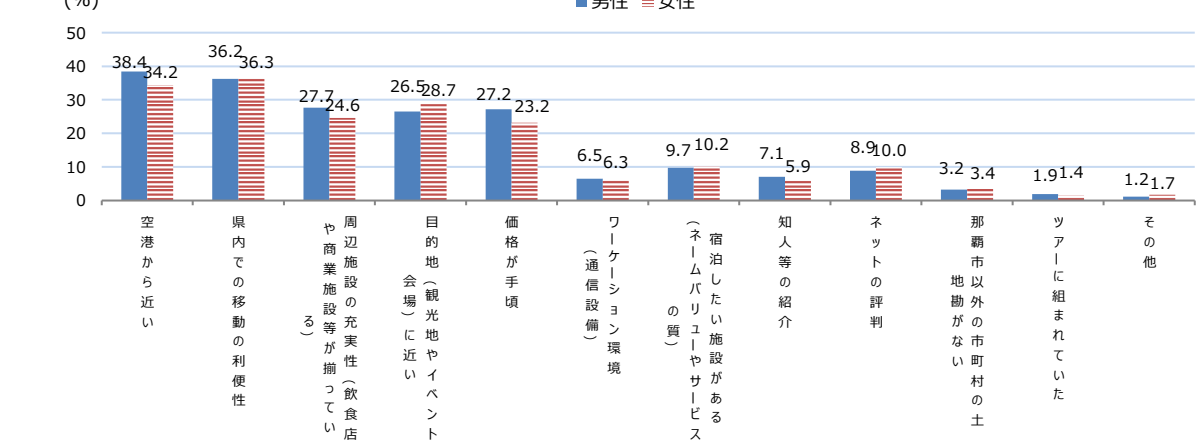
Q8. 那覇市内に宿泊された理由を次の中からお選び下さい

那覇市内に宿泊した理由は、「空港から近い」が最も多く36.3%、次いで「県内での移動の利便性」36.1%、「目的地に近い」27.4%、「周辺施設の充実性」26.2%、「価格が手頃」25.2%と続く。
性別で見ても傾向に大きな差はみられない。

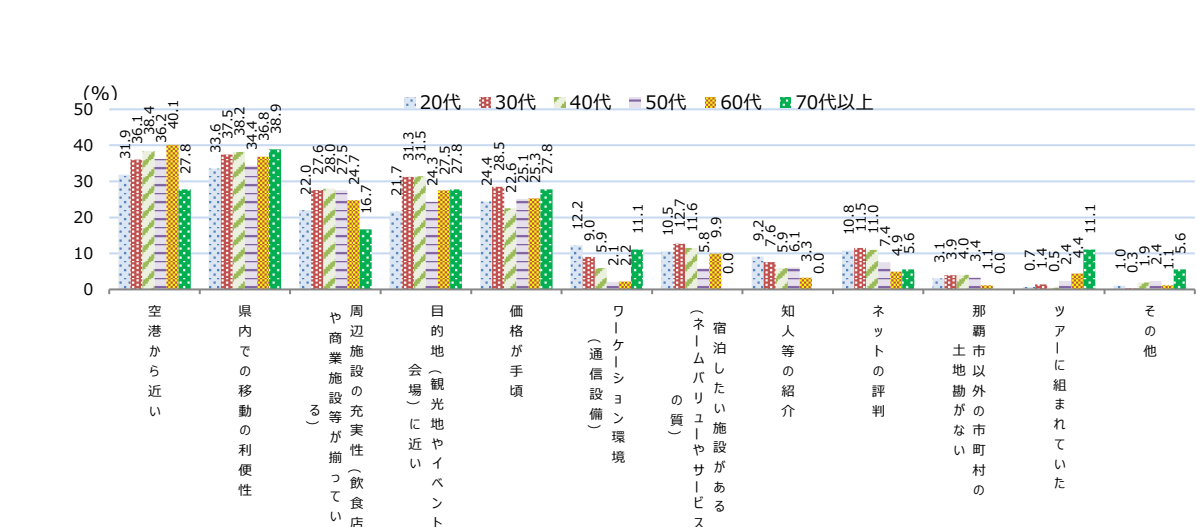
<宿泊理由>



<性別>



<年代別>

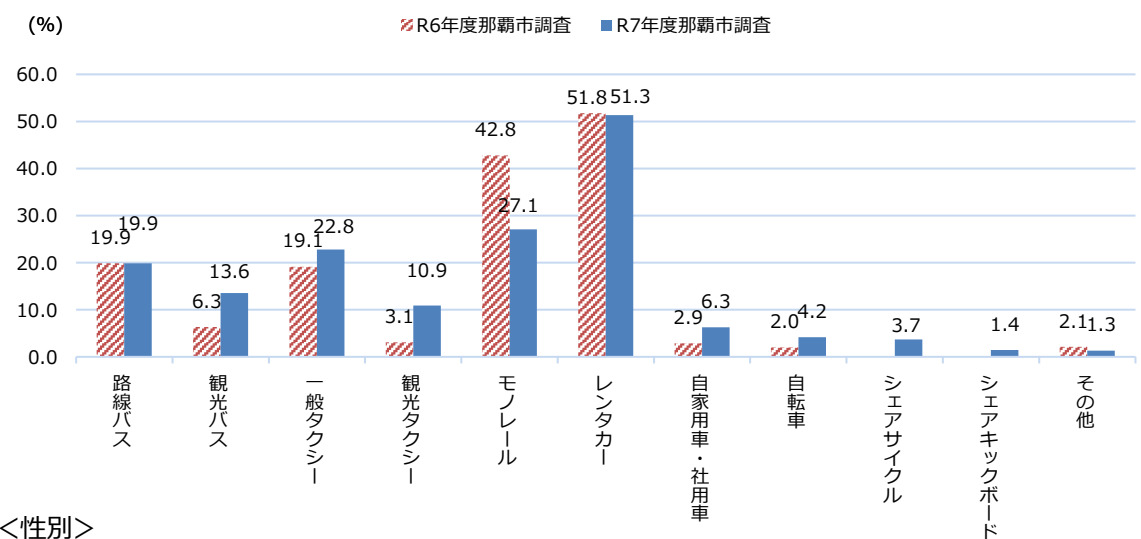


(8) 市内移動手段(複数回答可)

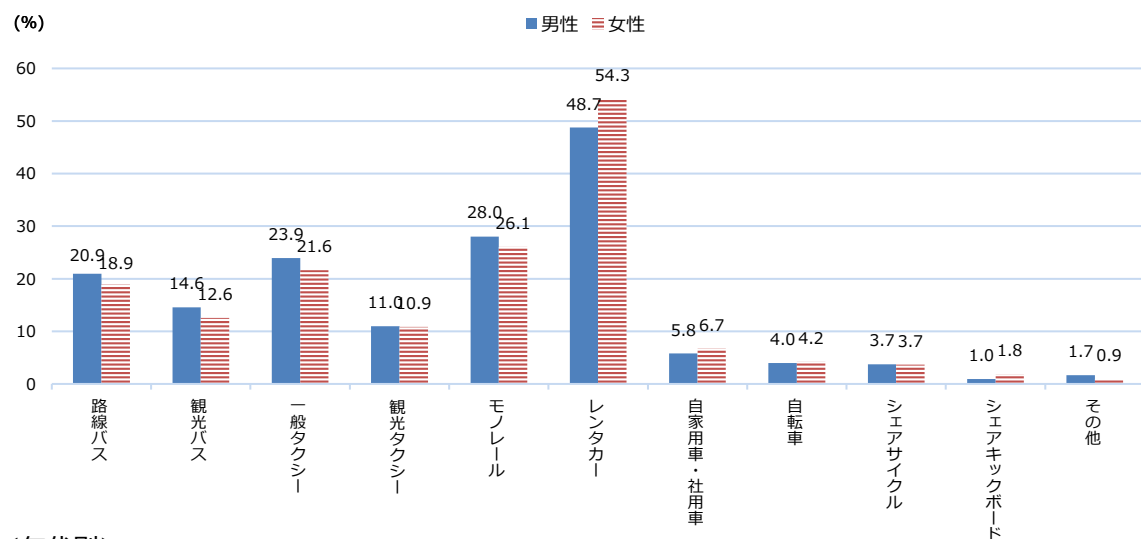
Q9. 那覇市内における移動手段を教えてください

那覇市内での移動手段は「レンタカー」が最も多く51.3%と過半数を占め、次いで「モノレール」の27.1%、「一般タクシー」の22.8%と続く。
令和6年度那覇市調査と比較すると、「モノレール」が15.7ポイント減少している。

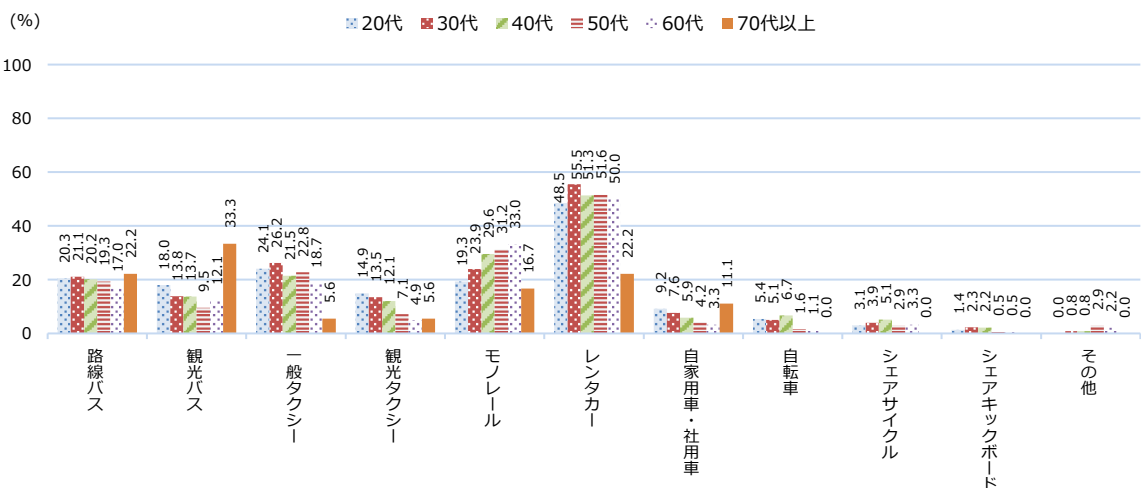
＜市内移動手段・比較対象 令和6年度調査＞



＜性別＞



＜年代別＞



シェアサイクル、シェアキックボードはR7年度調査より把握

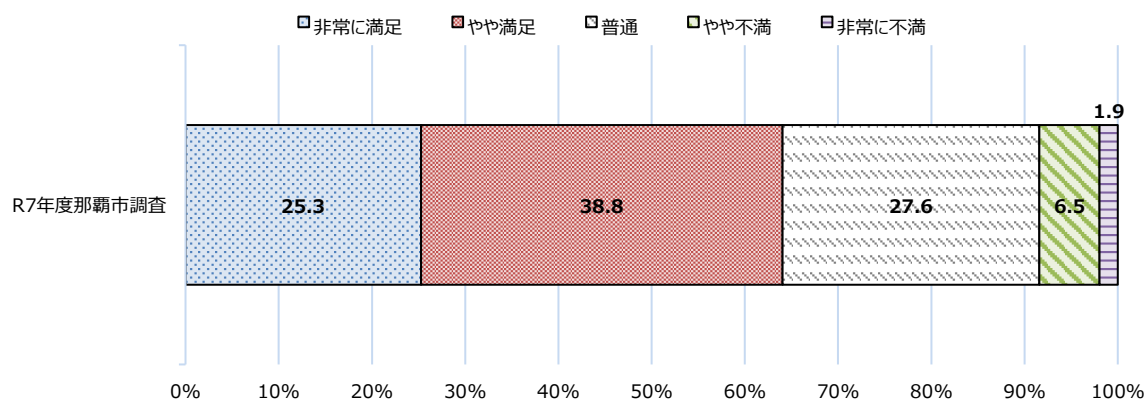
（９）二次交通の満足度

Q10. 那覇市で利用した二次交通（路線バス、観光バス、タクシー、モノレール、レンタカー、シェアサイクル、シェアキックボード）の利便性について、総合的な満足度を教えてください。

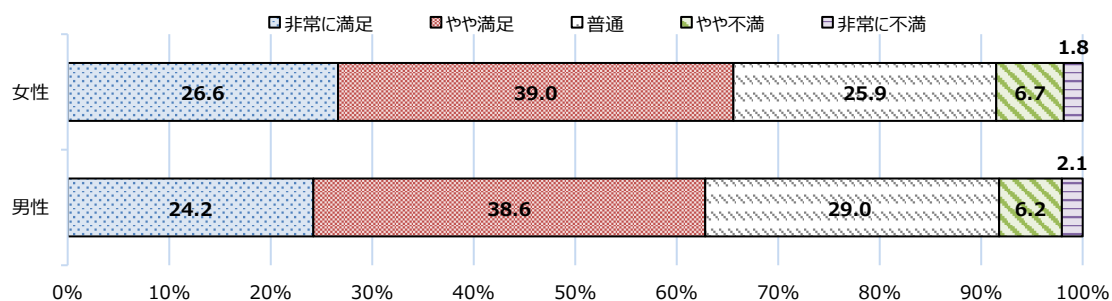
二次交通の総合的な満足度は、「非常に満足」、「やや満足」を合計すると64.1%である。

年齢別にみると、高い年齢で満足度が低くなる傾向にある。

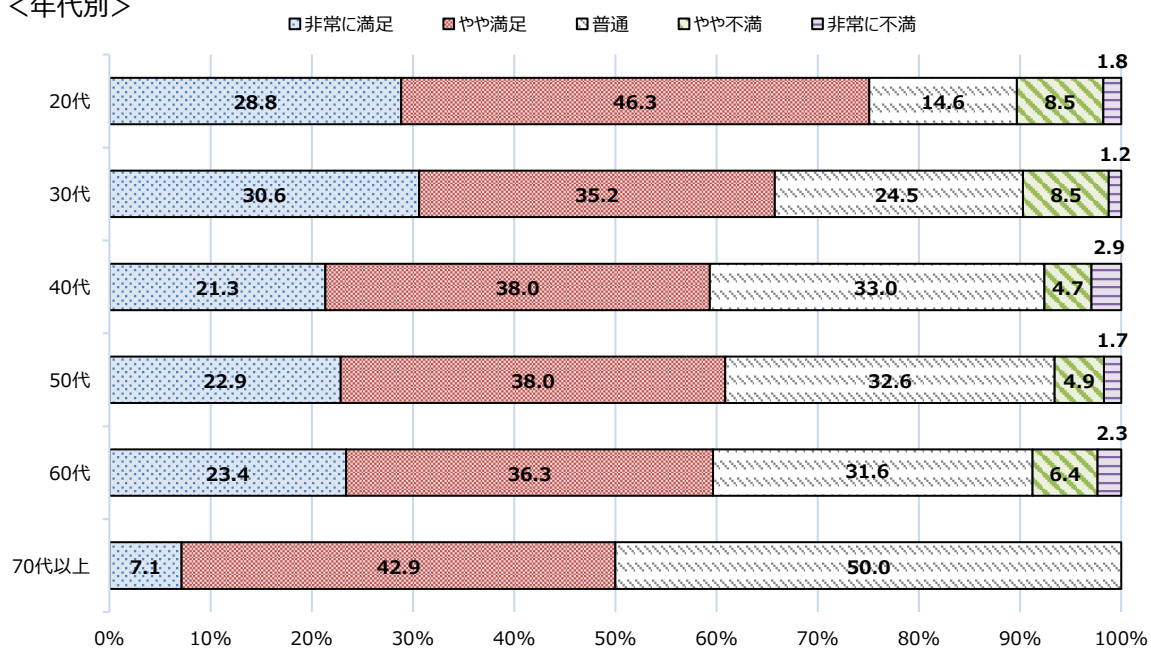
<二次交通の満足度>



<性別>



<年代別>



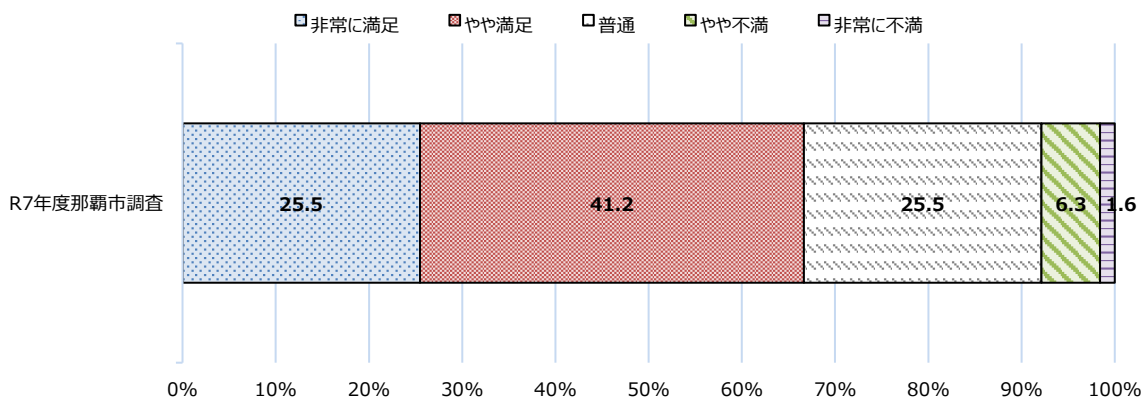
(10) 各二次交通の満足度

Q11. 二次交通（路線バス）の利便性について、満足度を教えてください。

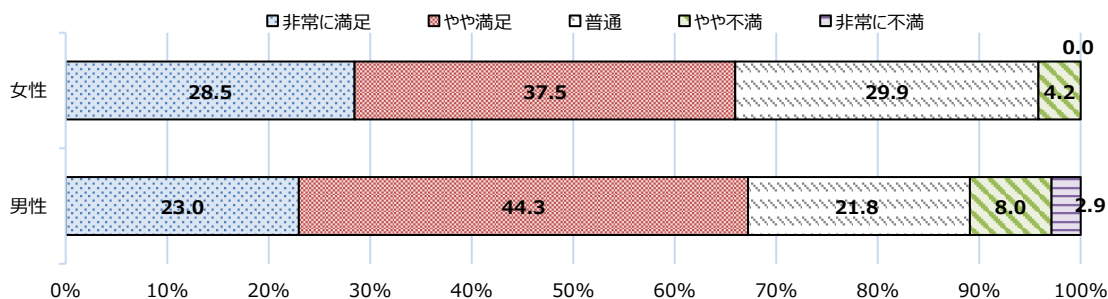
路線バスにおいて「非常に満足」、「やや満足」と回答する割合は66.7%である。

年代別にみると、年齢が上がるごとに、「非常に満足」と回答する割合が低くなる傾向にある。

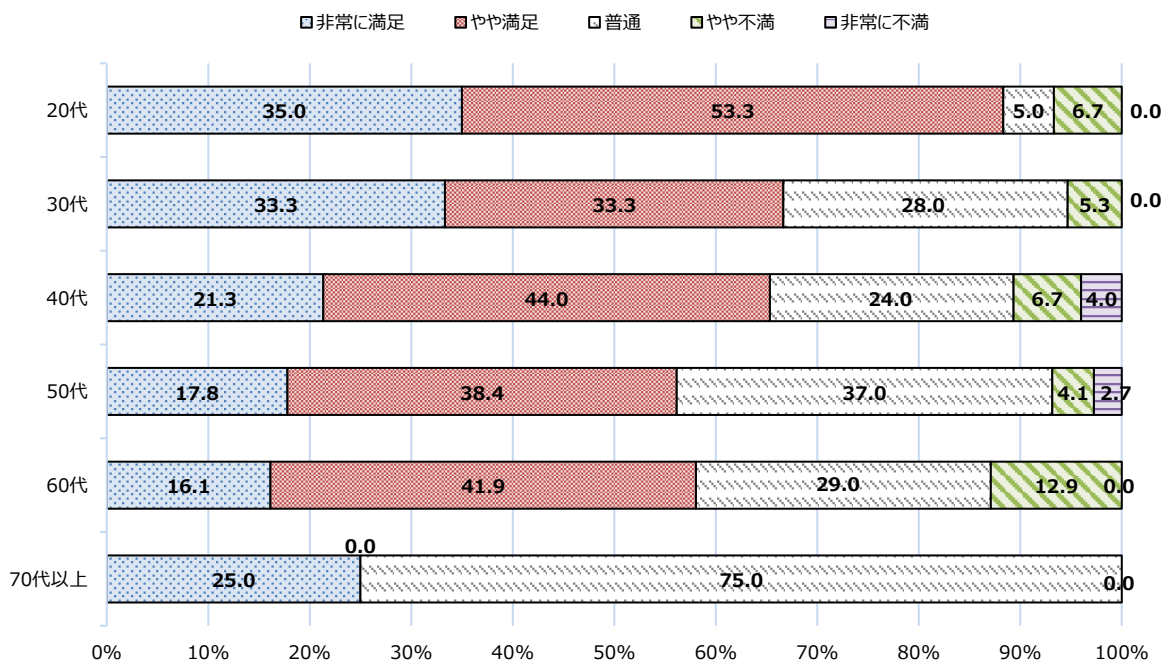
<路線バスの満足度>



<性別>



<年代別>

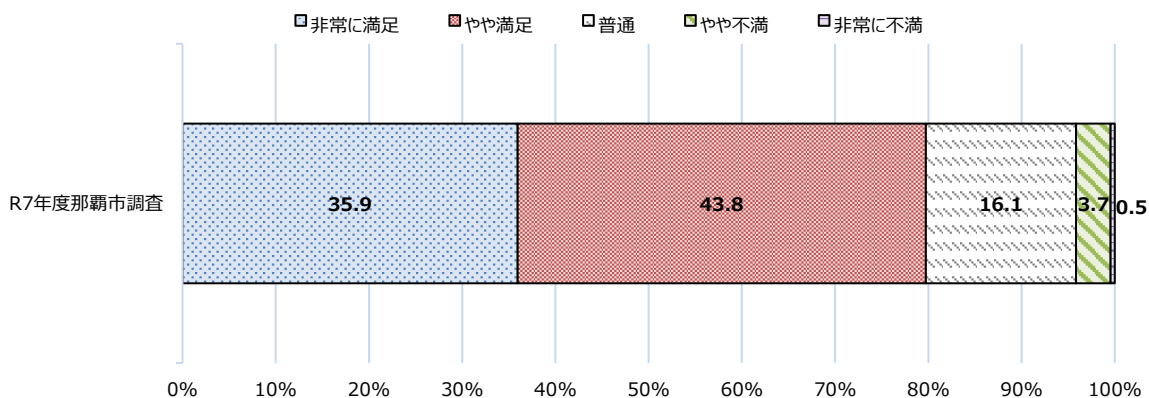


(1 0) 各二次交通の満足度

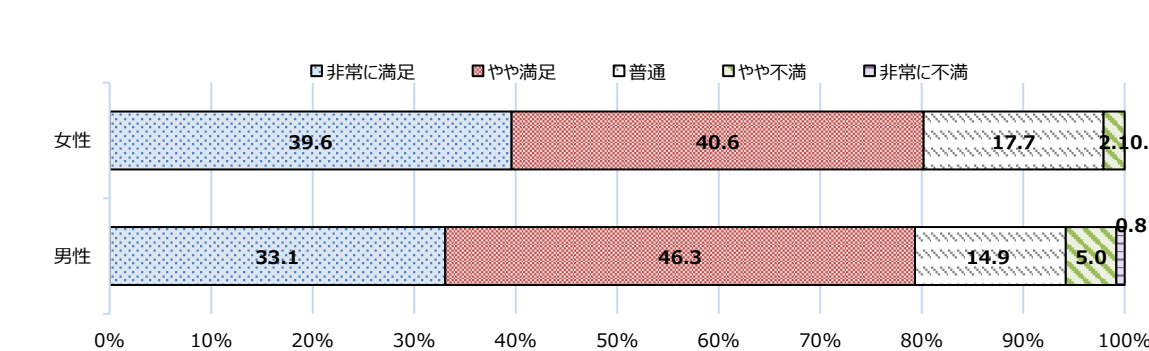
Q11. 二次交通（観光バス）の利便性について、満足度を教えてください。

観光バスにおいて、「非常に満足」、「やや満足」を合計すると79.7%であり、他の二次交通手段と比べ高い傾向を示す。

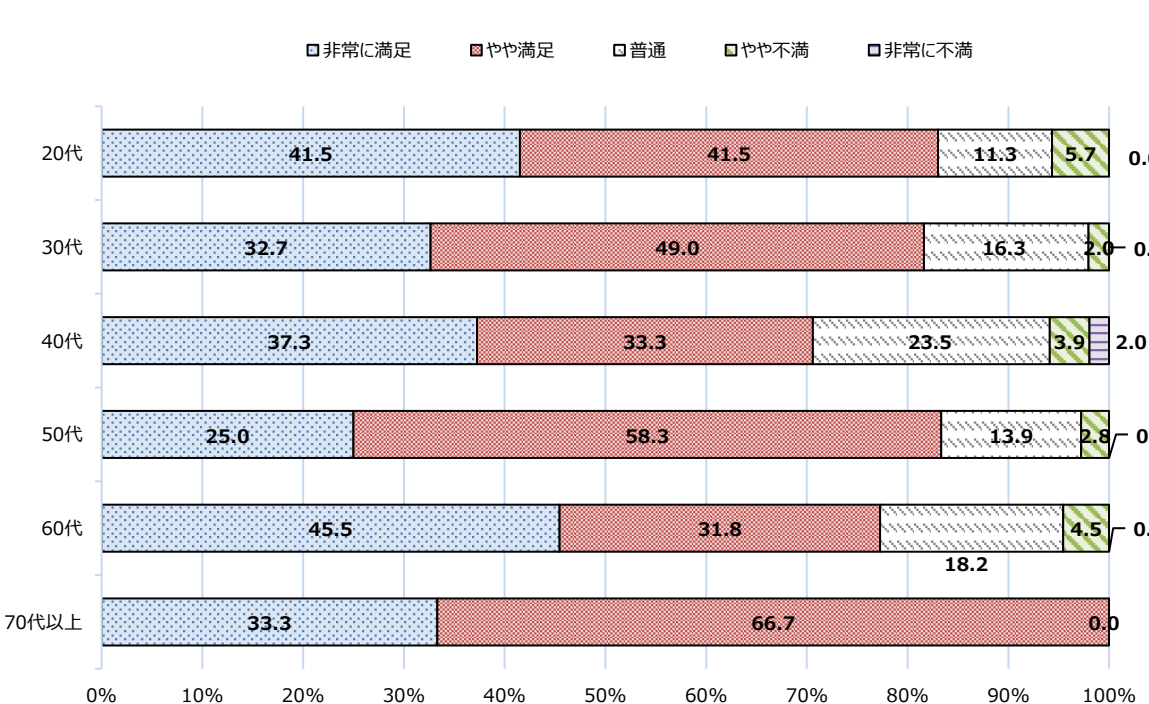
＜観光バスの満足度＞



＜性別＞



＜年代別＞



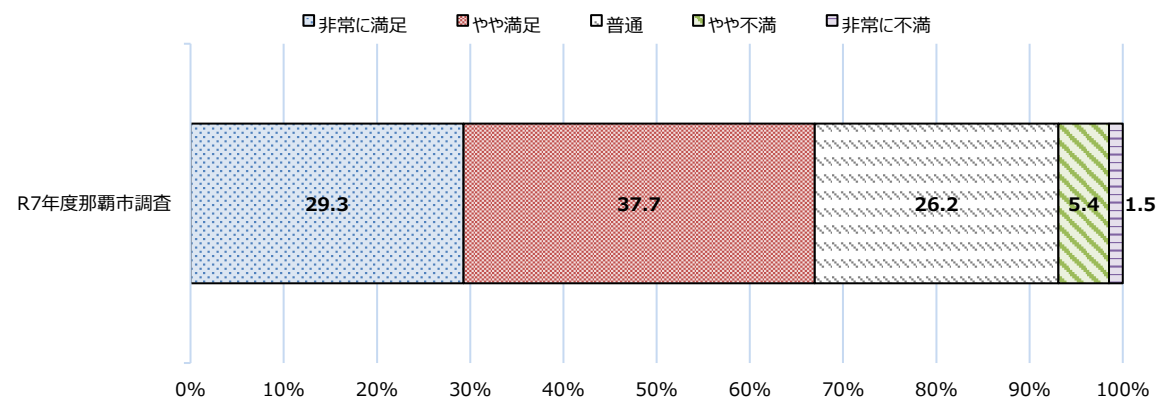
(1 0) 各二次交通の満足度

Q11. 二次交通（タクシー）の利便性について、満足度を教えてください。

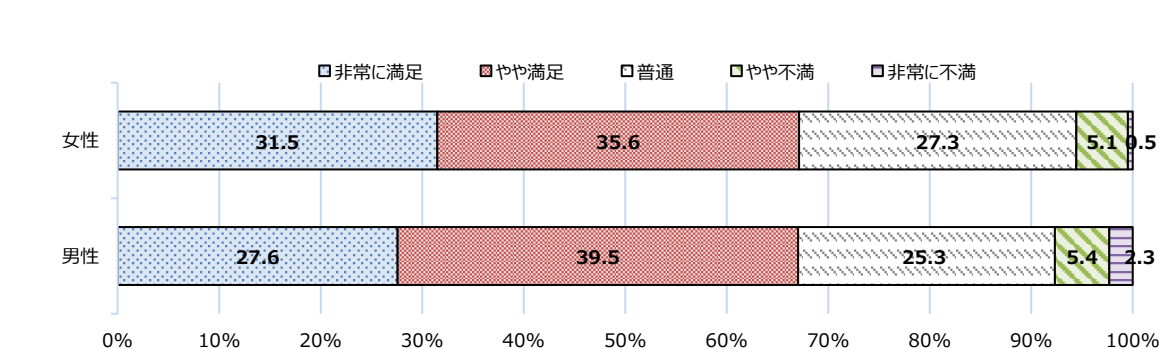
タクシーにおいて、「非常に満足」、「やや満足」と回答する割合は67%である。

年齢別では40代以上で「非常に満足」、「やや満足」と回答する割合が低くなる傾向にある。

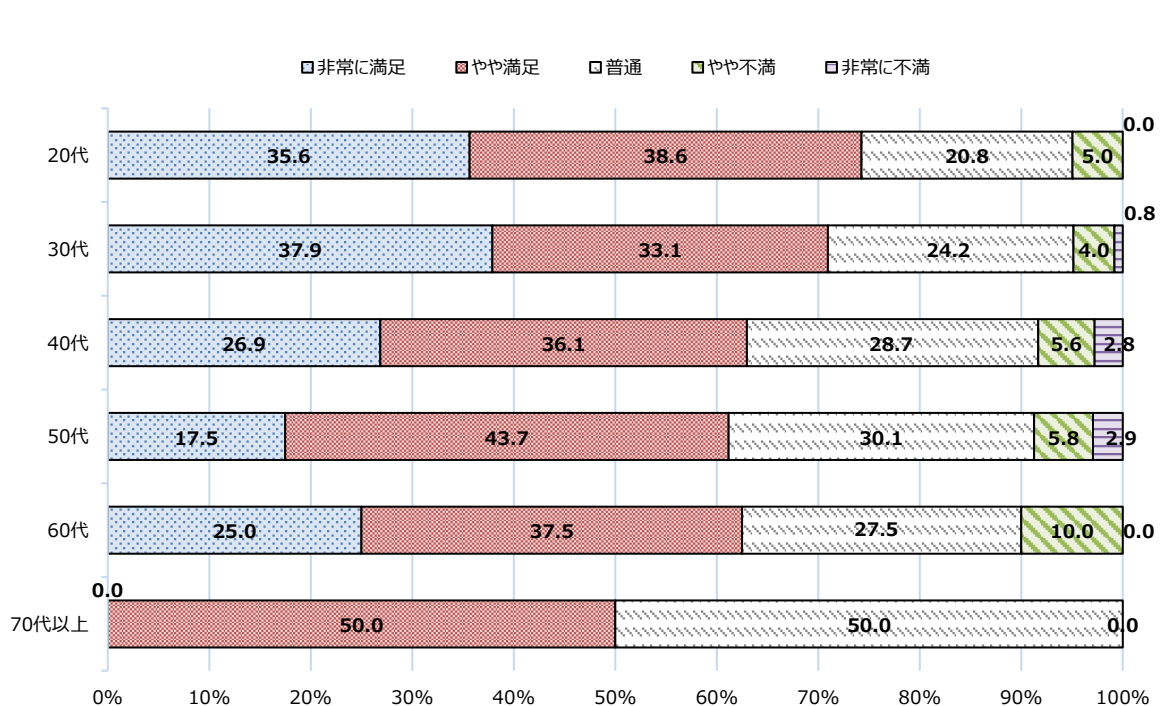
<タクシーの満足度>



<性別>



<年代別>



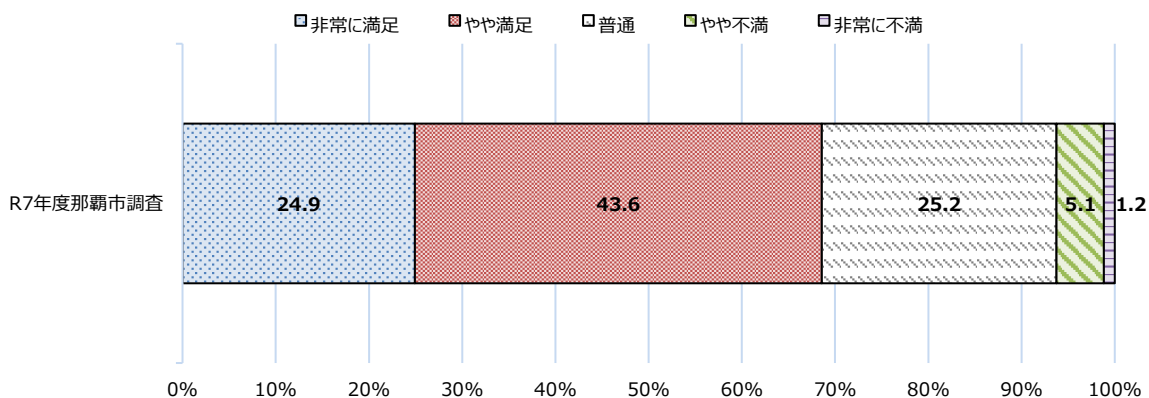
(1 0) 各二次交通の満足度

Q11. 二次交通（モノレール）の利便性について、満足度を教えてください。

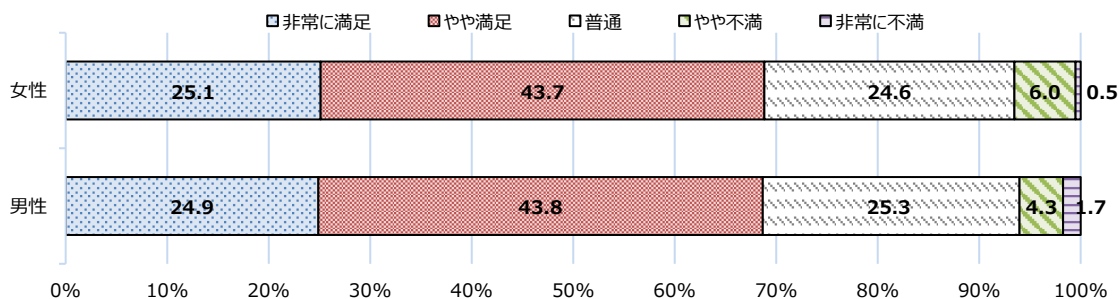
モノレールにおいて、「非常に満足」、「やや満足」を合計すると68.5%である。

年代別において、40代は「非常に満足」「やや満足」と回答する割合が1割程度低い傾向がある。

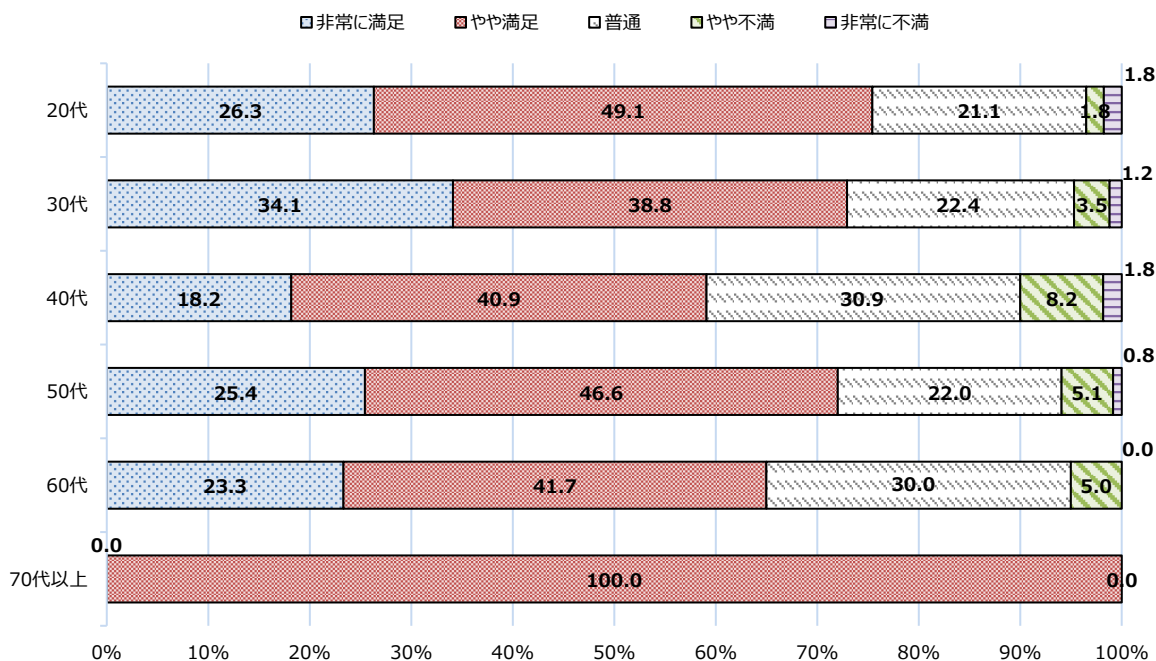
＜モノレールの満足度＞



＜性別＞



＜年代別＞



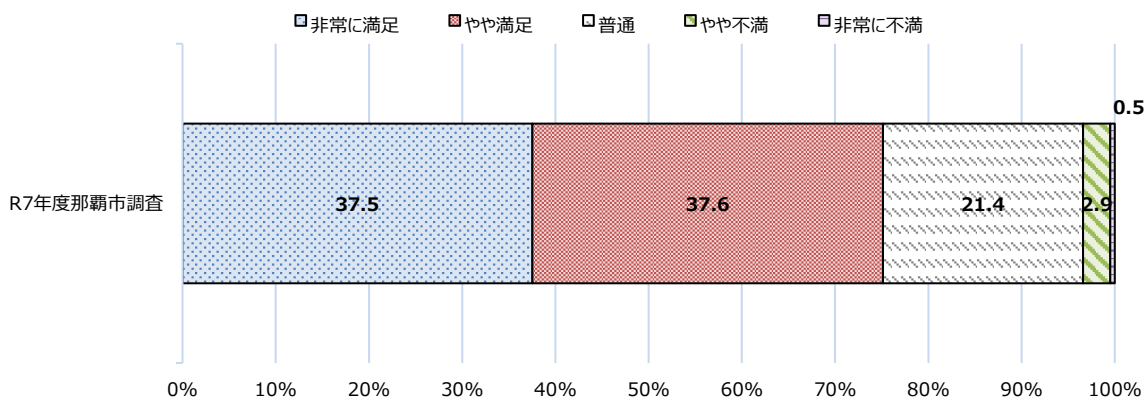
(1 0) 各二次交通の満足度

Q11. 二次交通（レンタカー）の利便性について、満足度を教えてください。

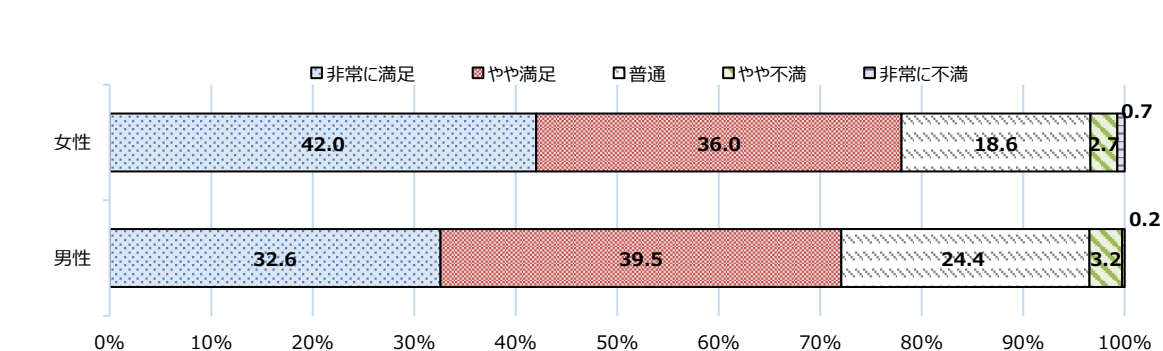
レンタカーにおいて、「非常に満足」、「やや満足」を合計すると75.1%になり、他の二次交通手段と比べ高い。

性別で見ると、女性は「非常に満足」「やや満足」と回答する割合が男性より6ポイント程高い。

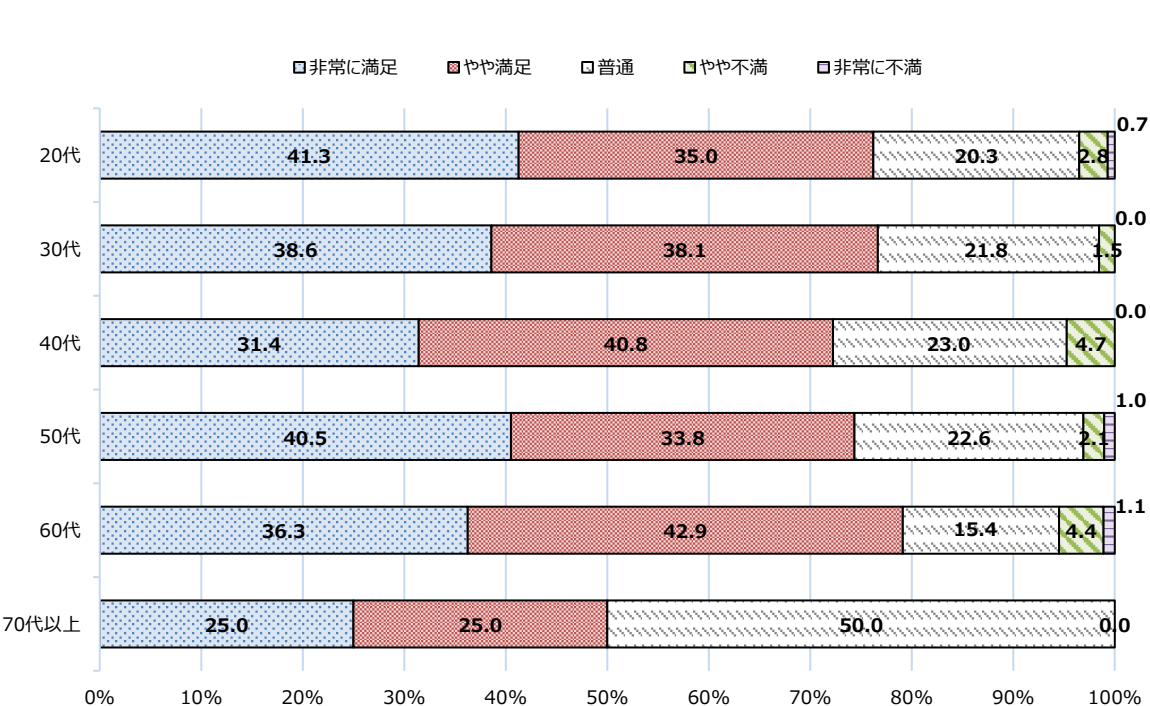
＜レンタカーの満足度＞



＜性別＞



＜年代別＞

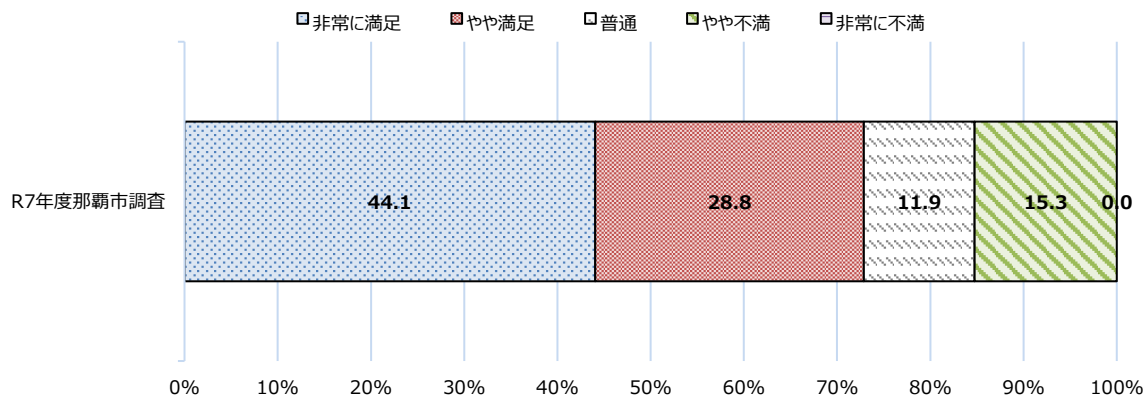


（１０）各二次交通の満足度

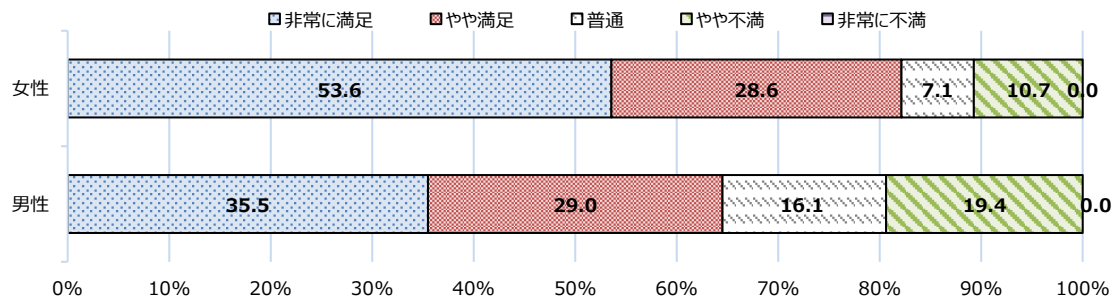
Q11. 二次交通（シェアサイクル）の利便性について、満足度を教えてください。

シェアサイクルにおいて、「非常に満足」、「やや満足」を合計すると72.9%である。

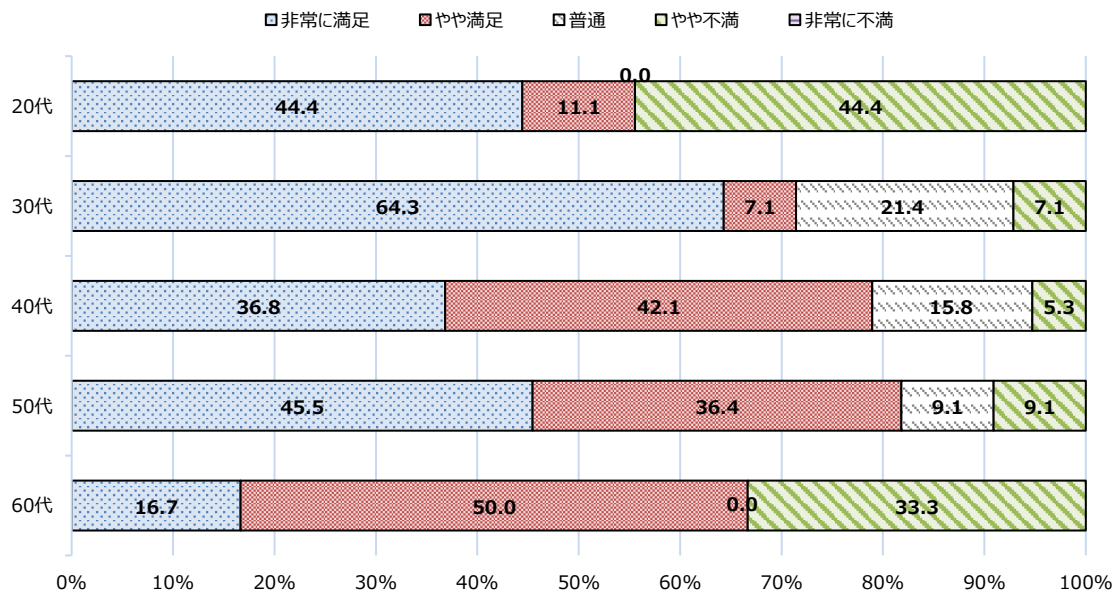
<シェアサイクルの満足度>



<性別>



<年代別>



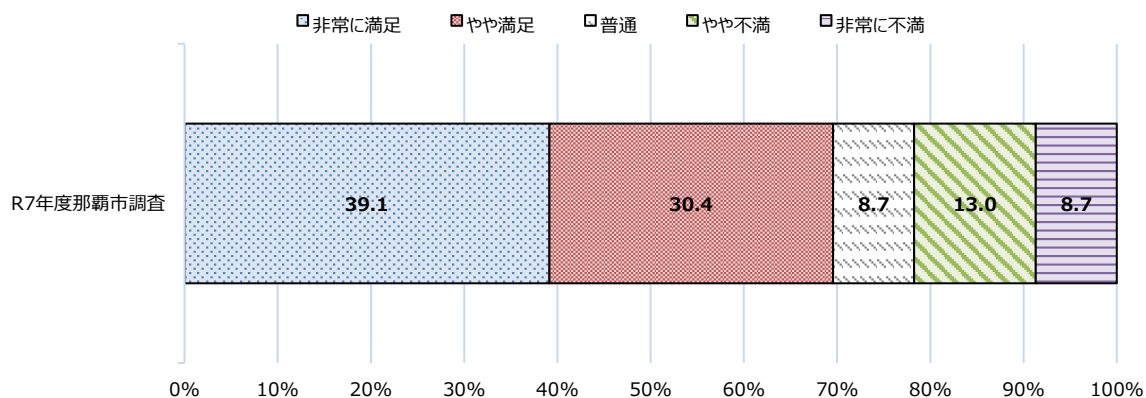
70代の回答は0件のため記載なし。

(1 0) 各二次交通の満足度

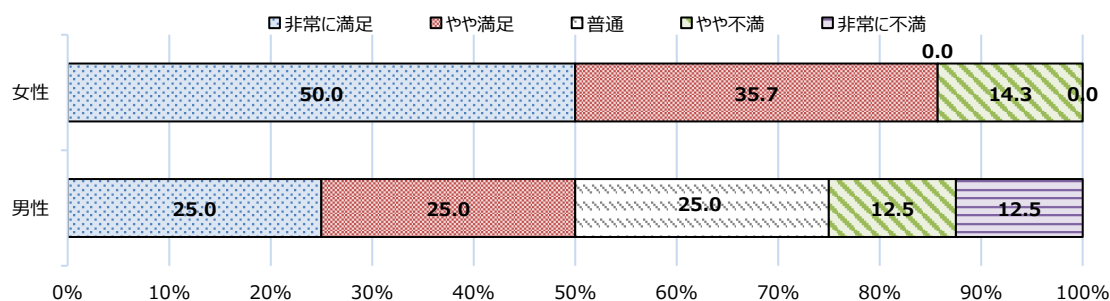
Q11. 二次交通（シェアキックボード）の利便性について、満足度を教えてください。

シェアキックボードにおいて、「非常に満足」、「やや満足」と回答する割合は69.5%である。

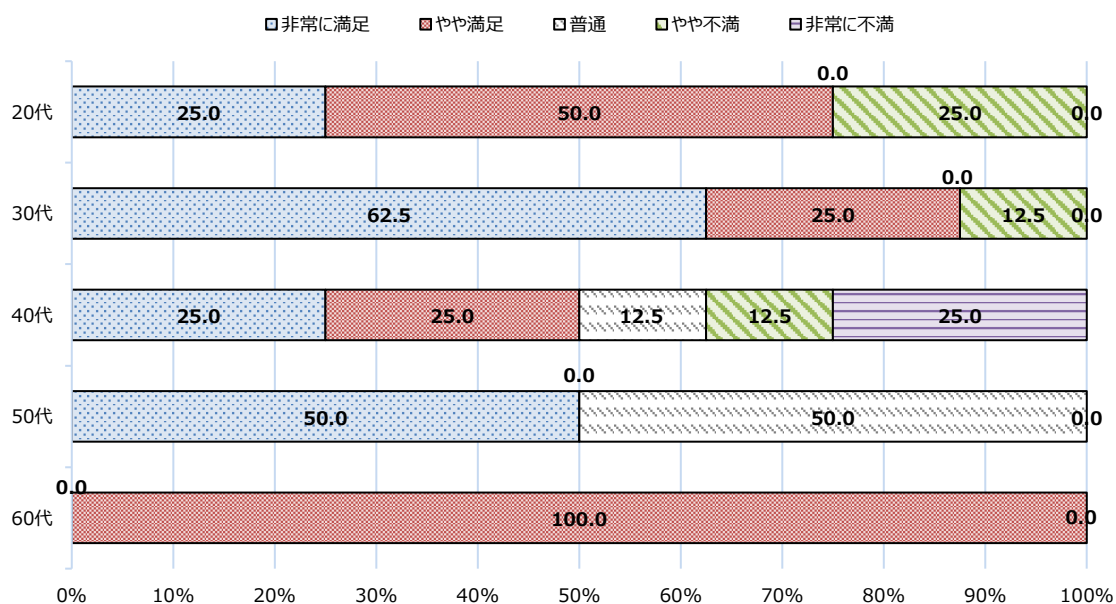
＜シェアキックボードの満足度＞



＜性別＞



＜年代別＞



70代の回答は0件のため記載なし。

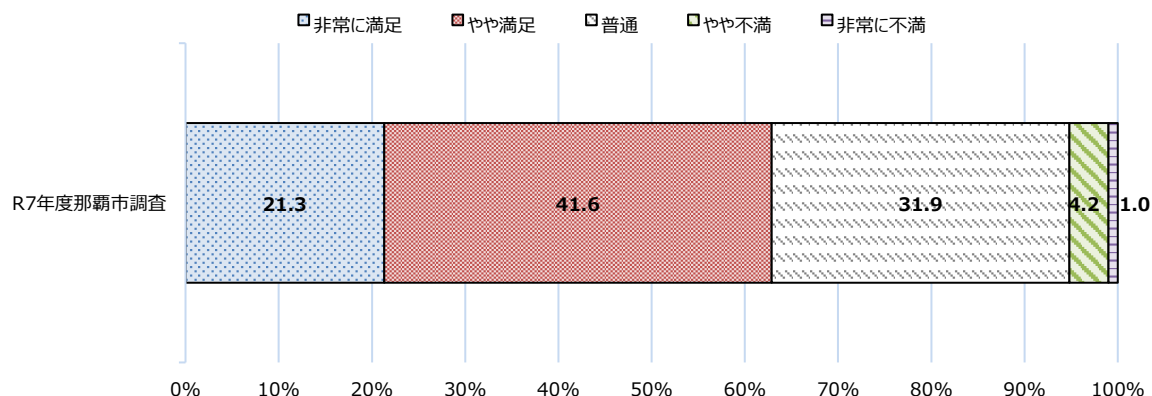
（１１）交通施設の満足度

Q12. 那覇市の主要交通施設（那覇空港、クルーズターミナル、バスターミナル、モノレール駅）を利用した際の総合的な満足度を教えてください。

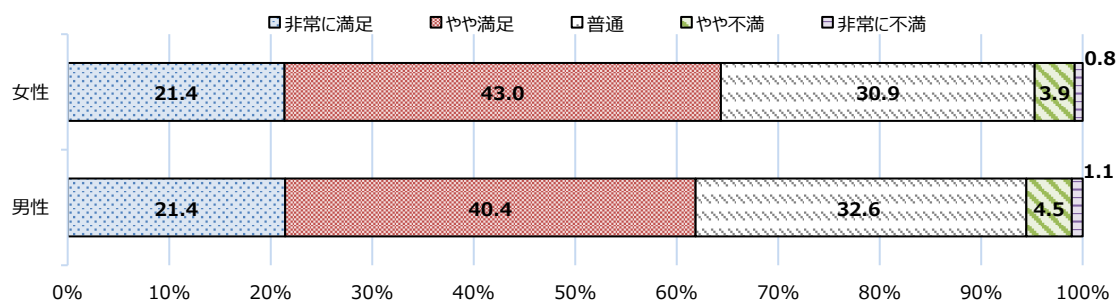
那覇市の主要交通施設の満足度は、「非常に満足」、「やや満足」を合計すると62.9%である。

性別で満足度の回答構成に違いはないが、年齢別では年齢が上がるごとに「非常に満足」「やや満足」と回答する割合が低い傾向がある。

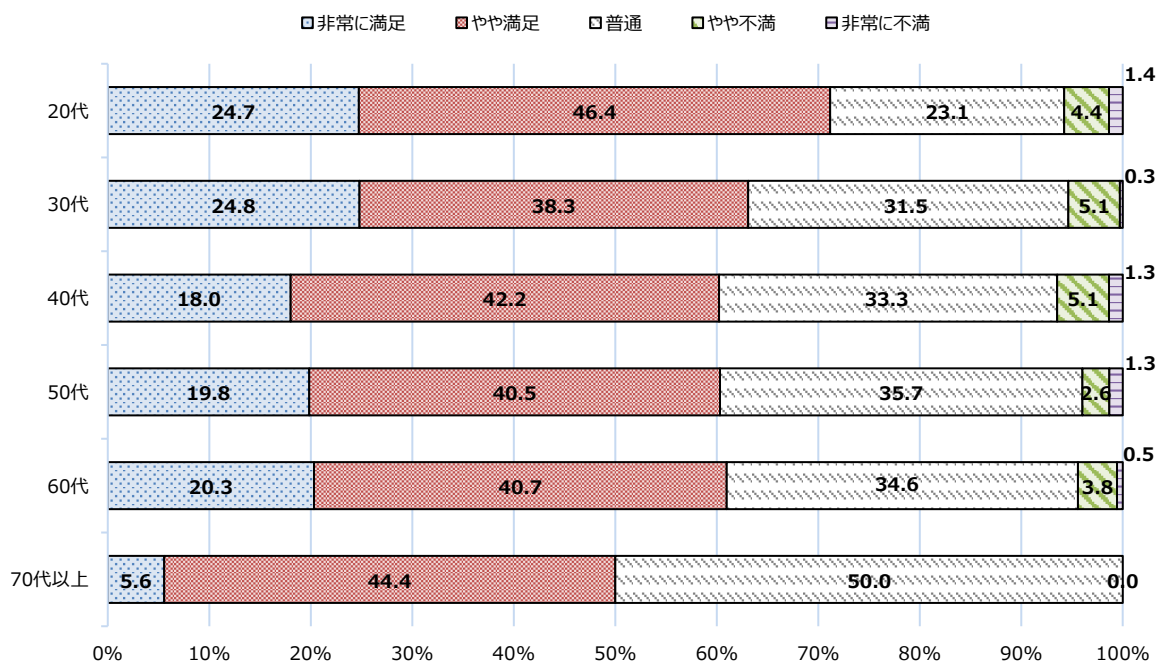
<交通施設の満足度>



<性別>



<年代別>



（１２）各交通施設の満足度

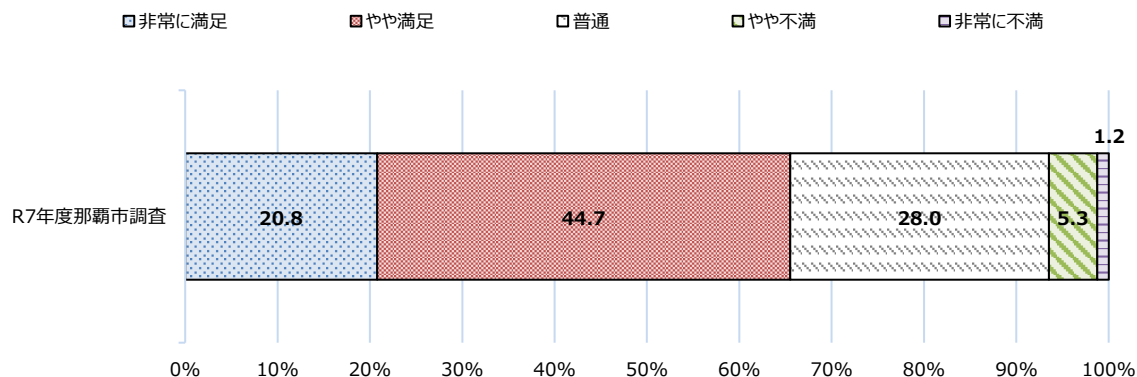
Q13. 那覇市観光の主な満足度を教えてください。

那覇空港での物販（特産品やお土産等）の充実度や観光情報の取得しやすさ、交通結節点（市内の交通機関への「乗り換え」や「乗り継ぎ」の拠点）としての機能に対する満足度を教えてください。

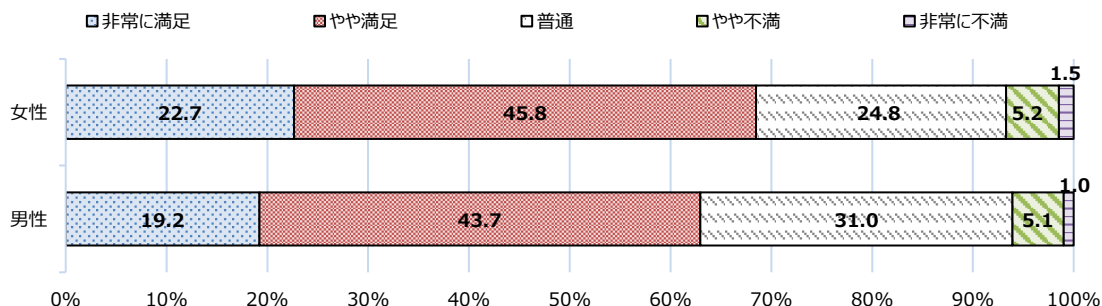
那覇空港での物販（特産品やお土産等）の充実度や観光情報の取得しやすさ、交通結節点（市内の交通機関への「乗り換え」や「乗り継ぎ」の拠点）としての機能に対する満足度は、「非常に満足」、「やや満足」を合計すると65.5%である。

年代別に見ると、年代が上がるにつれて「普通」と回答する割合が増え、「非常に満足」、「やや満足」の回答割合が減少傾向である。

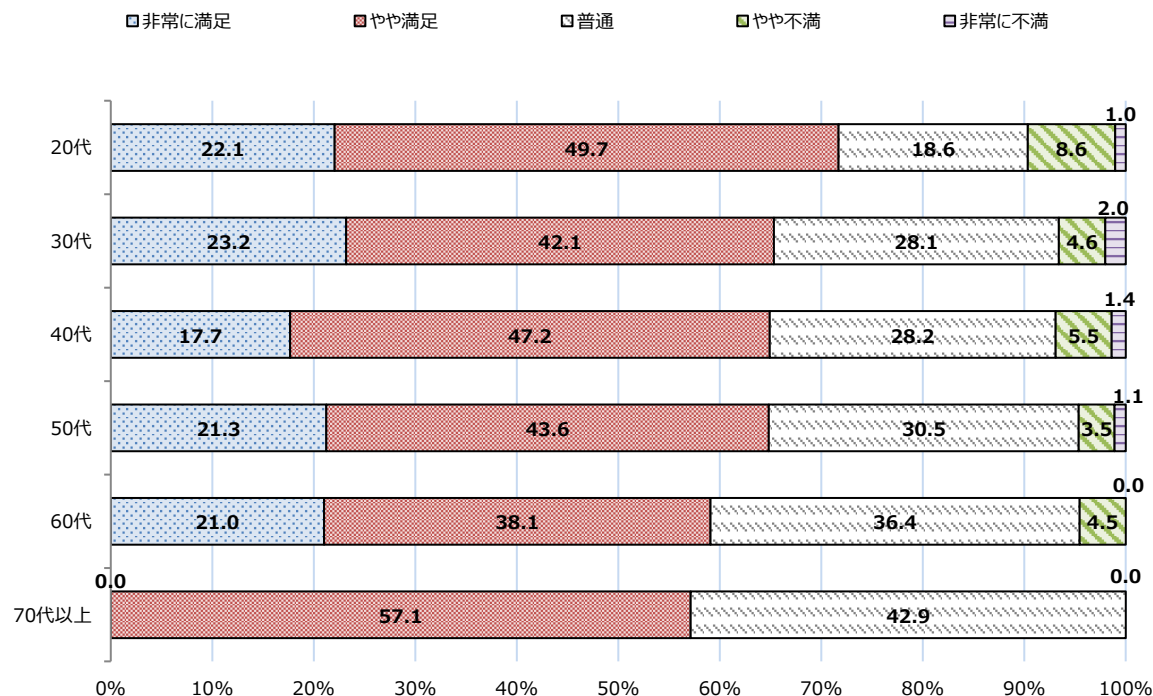
<那覇空港>



<性別>



<年代別>



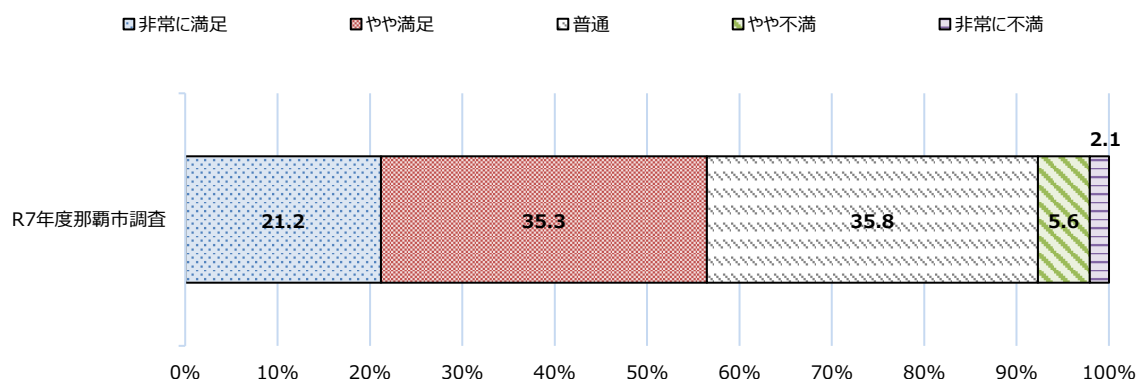
（１２）各交通施設の満足度

Q13. 那覇市観光の主な満足度を教えてください。

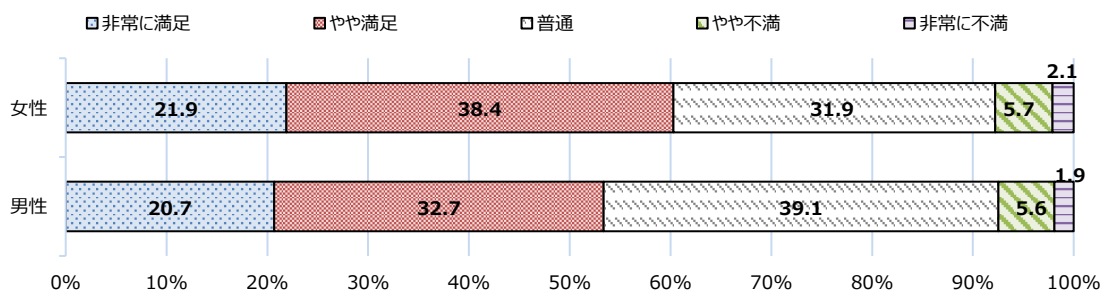
クルーズターミナルで受けたおもてなし（歓迎式典等）や、観光情報の取得しやすさ、交通結節点としての機能に対する満足度を教えてください。

クルーズターミナルで受けたおもてなし（歓迎式典等）や、観光情報の取得しやすさ、交通結節点としての機能に対する満足度は「非常に満足」、「やや満足」を合計すると56.5%である。

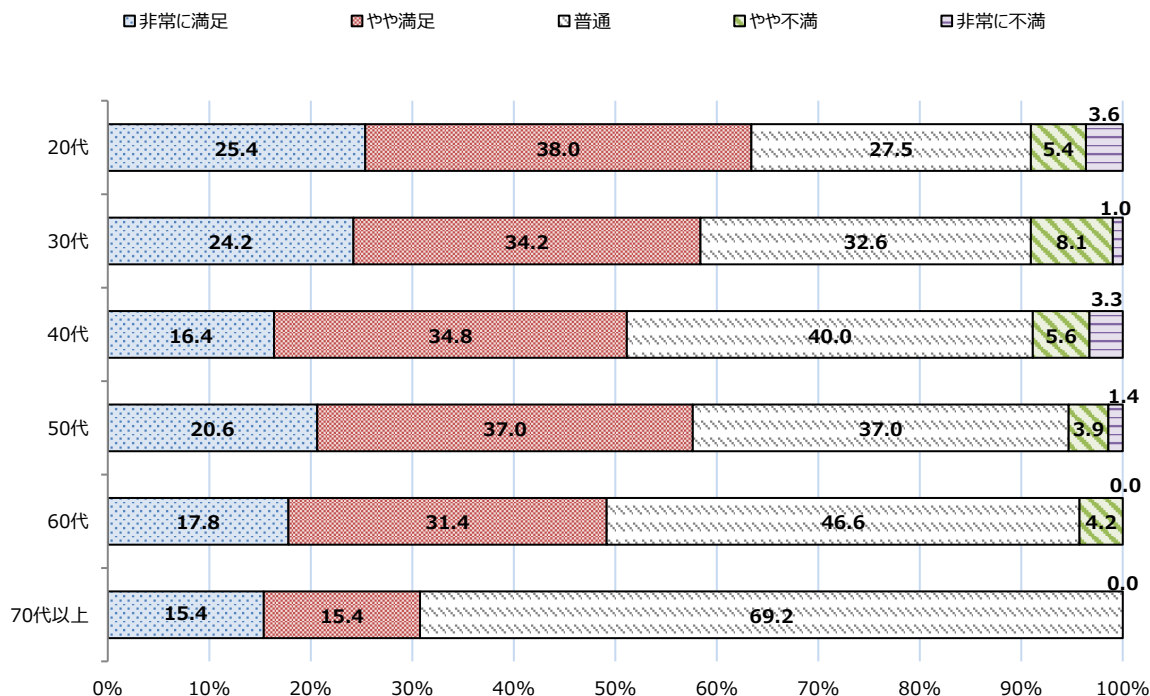
<クルーズターミナル>



<性別>



<年代別>



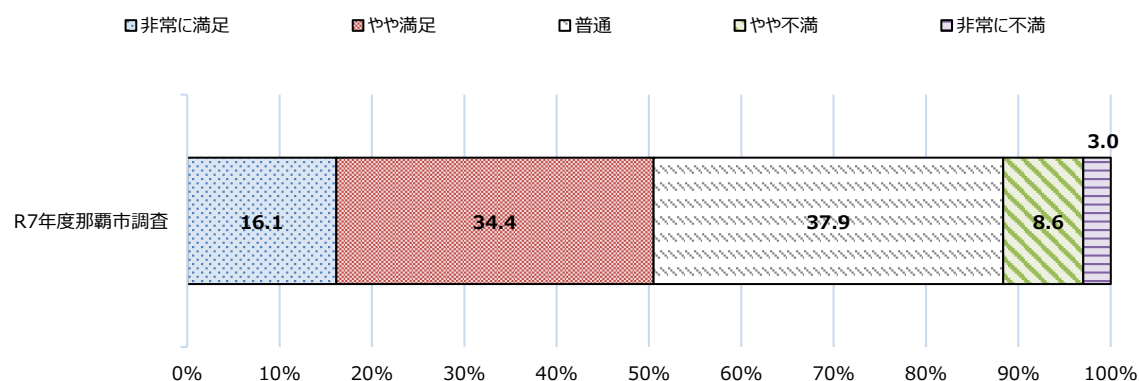
（１２）各交通施設の満足度

Q13. 那覇市観光の主な満足度を教えてください。

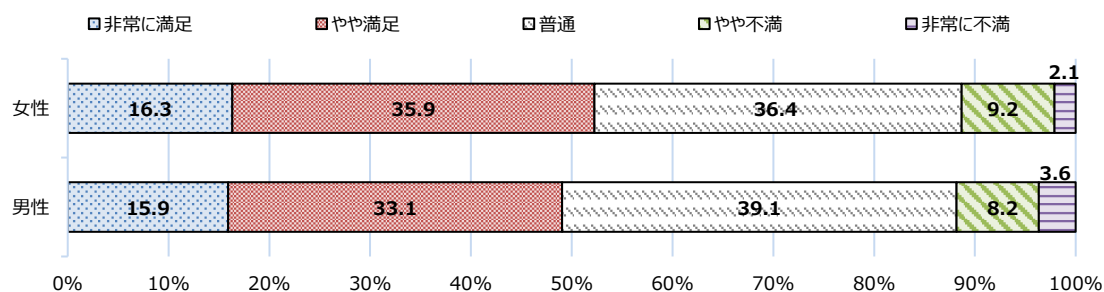
バスターミナルでの観光情報の取得しやすさ、交通結節点としての機能に対する満足度を教えてください。

バスターミナルでの観光情報の取得しやすさ、交通結節点としての機能に対する満足度は「非常に満足」、「やや満足」を合計すると50.5%である。

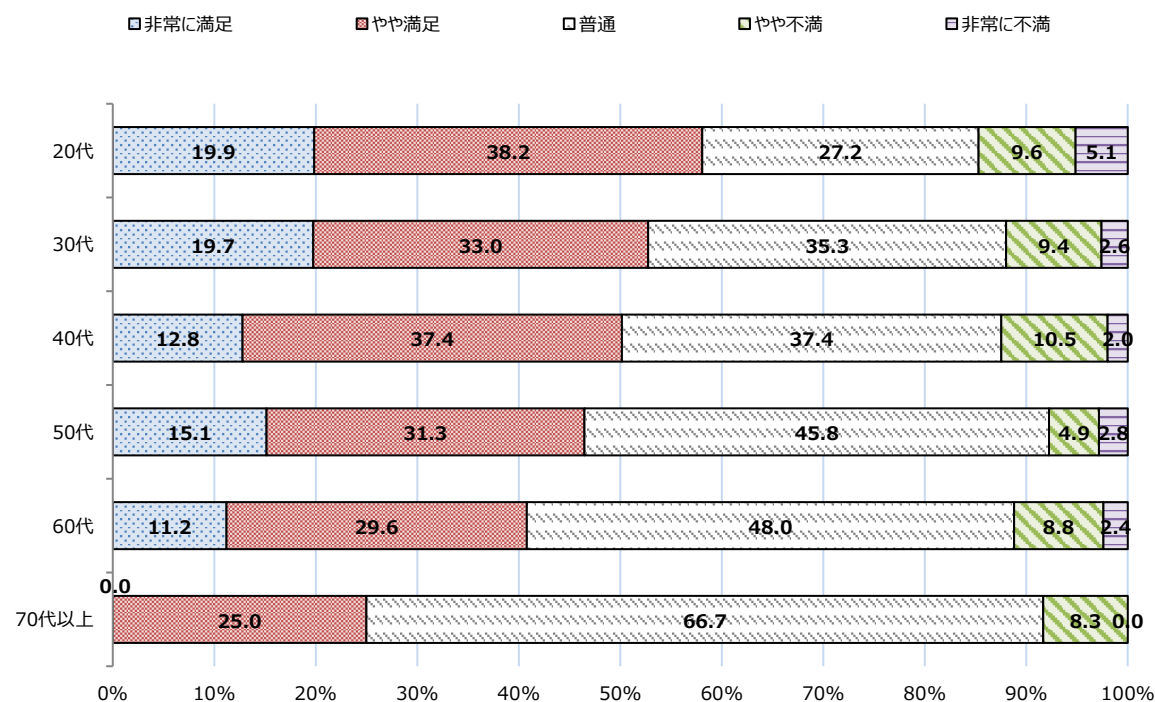
<バスターミナル>



<性別>



<年代別>



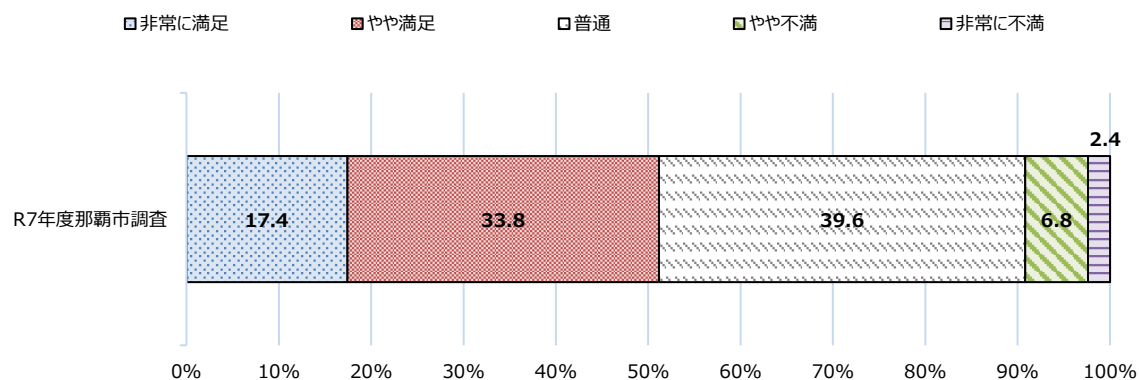
（１２）各交通施設の満足度

Q13. 那覇市観光の主な満足度を教えてください。

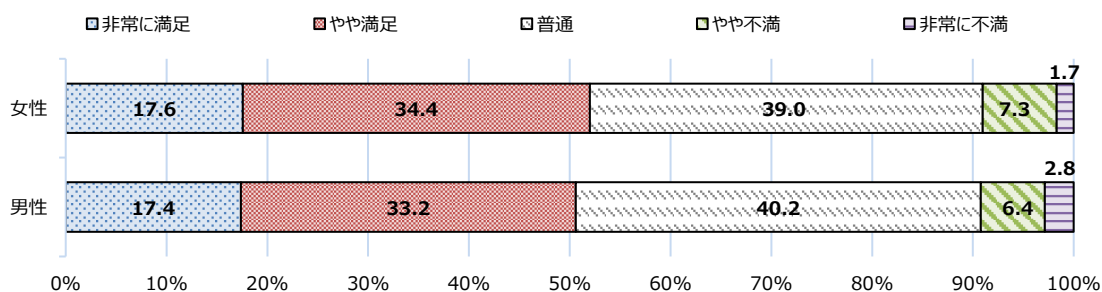
モノレール駅での観光情報の取得しやすさ、交通結節点としての機能に対する満足度を教えてください。

モノレール駅での観光情報の取得しやすさ、交通結節点としての機能に対する満足度は「非常に満足」、「やや満足」を合計すると51.2%である。また、年齢が上がるごとに、満足度が低くなる傾向にある。

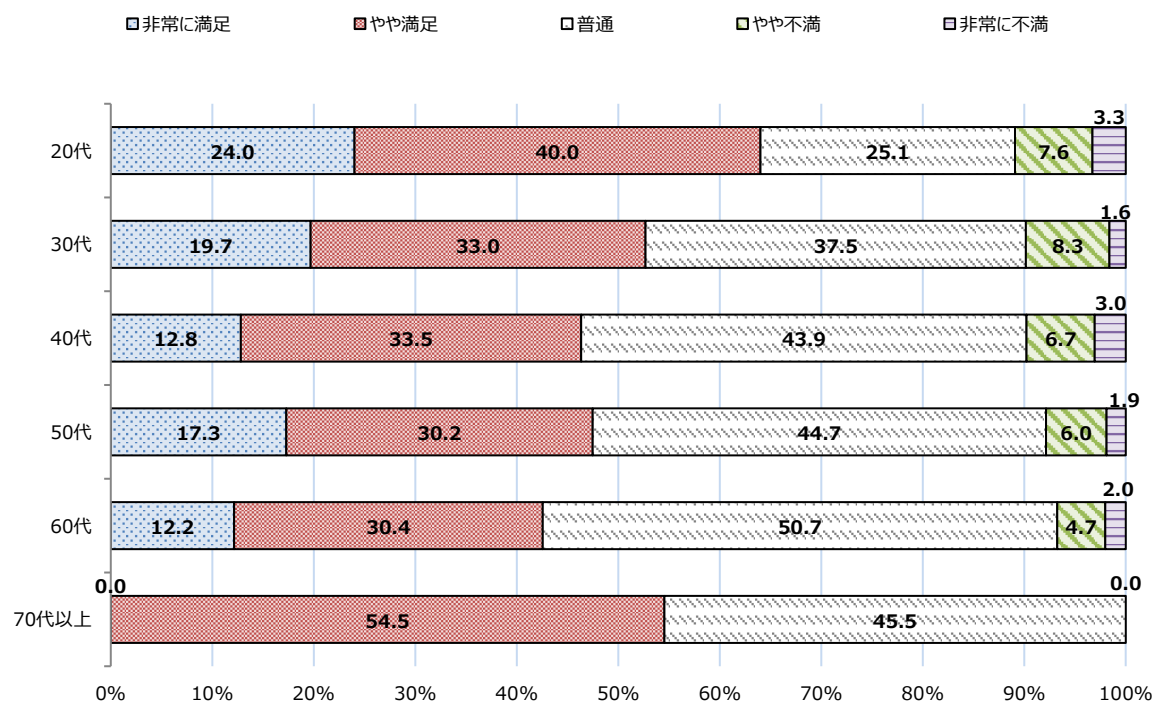
<モノレール駅>



<性別>



<年代別>



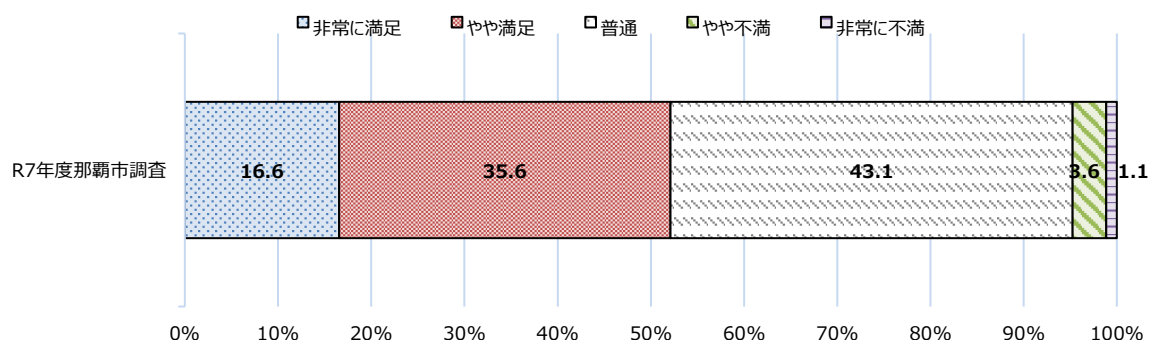
（１３）受入環境の満足度

Q14. バリアフリー対応等の安全・安心・快適に係る受入環境整備についての総合的な満足度を教えてください。

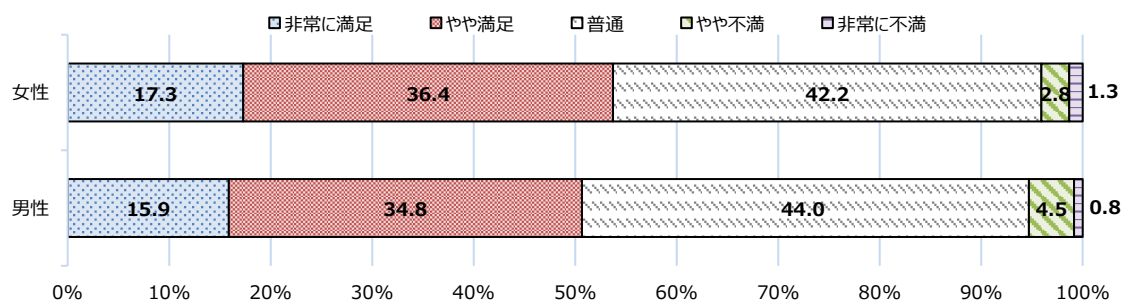
バリアフリー対応等の安全・安心・快適に係る受入環境整備についての総合的な満足度は、「非常に満足」、「やや満足」を合計すると52.2%である。

年齢が上がるごとに、「非常に満足」「やや満足」と回答する割合が低くなる傾向にある。

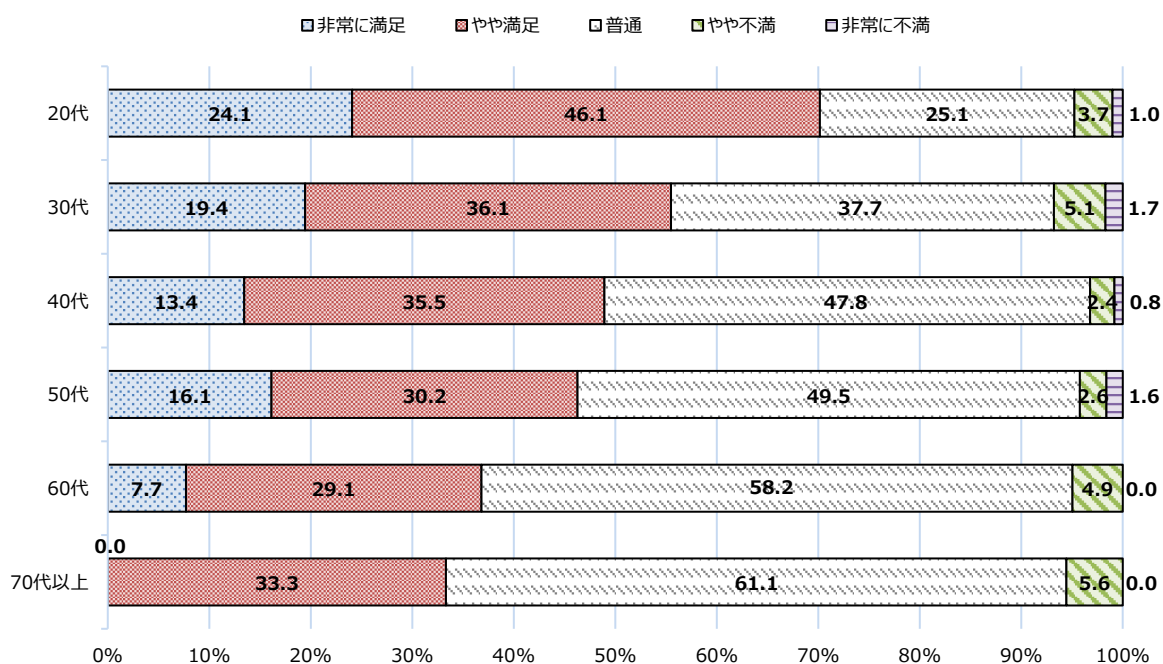
＜受入環境の満足度＞



＜性別＞



＜年代別＞

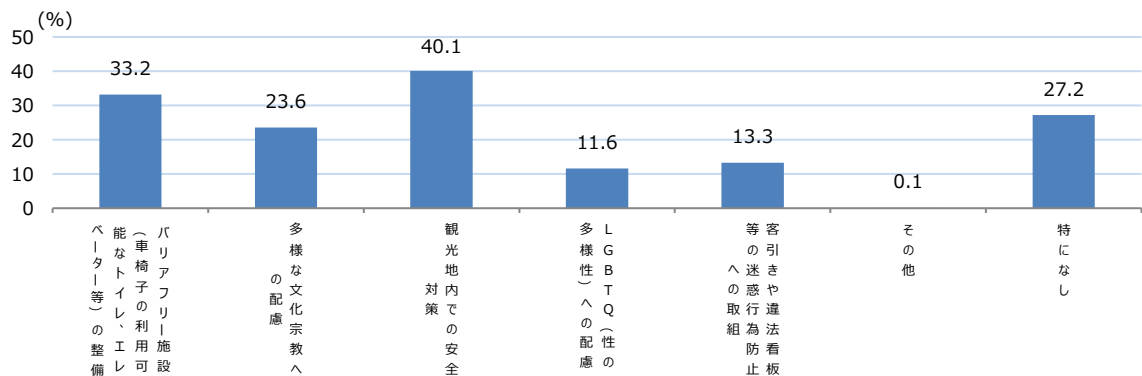


（１４）受入環境ができていない項目（複数回答可）

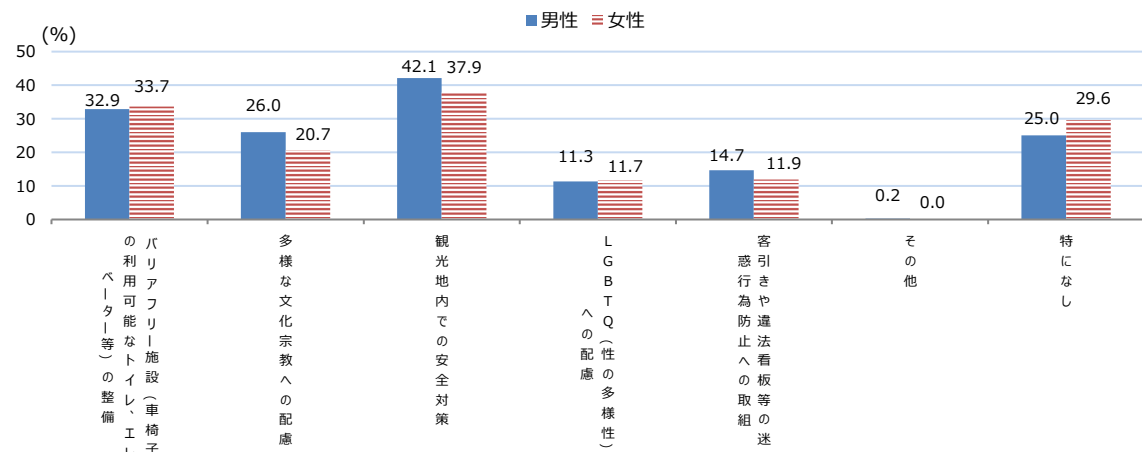
Q15. 安全・安心・快適に係る受入環境整備について、十分な対応ができていないと思った項目があれば、選択してください。

安全・安心・快適に係る受入環境整備について、十分な対応ができていないと思った項目は、「観光地内の安全対策」が最も多く40.1%、次いで「バリアフリー施設（車椅子の利用可能なトイレ、エレベーター等）の整備」33.2%と続く。一方で、「客引きや違反看板等の迷惑行為防止への取組」、「LGBTQ(性の多様性)への配慮」は低い傾向にある。

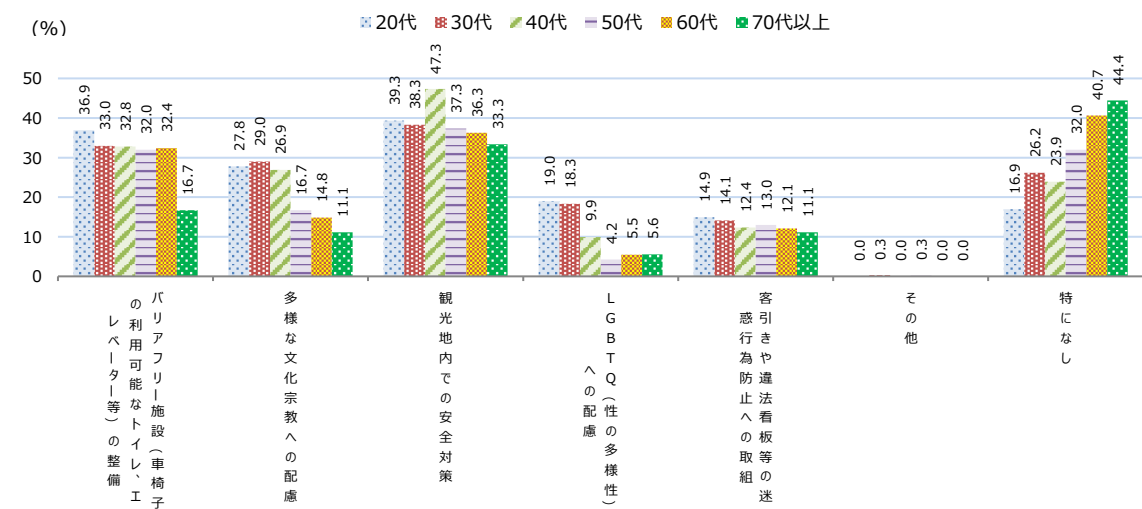
＜受入環境ができていない項目＞



＜性別＞



＜年代別＞

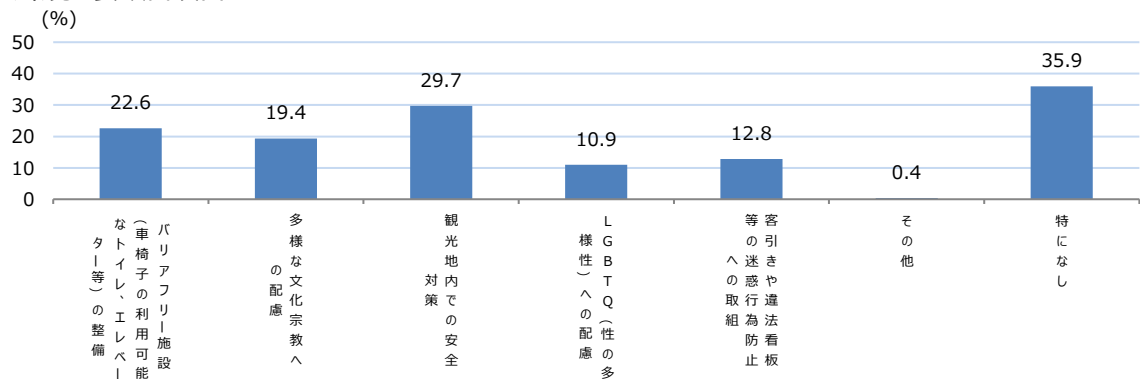


(15) 受入環境の要改善項目(複数回答可)

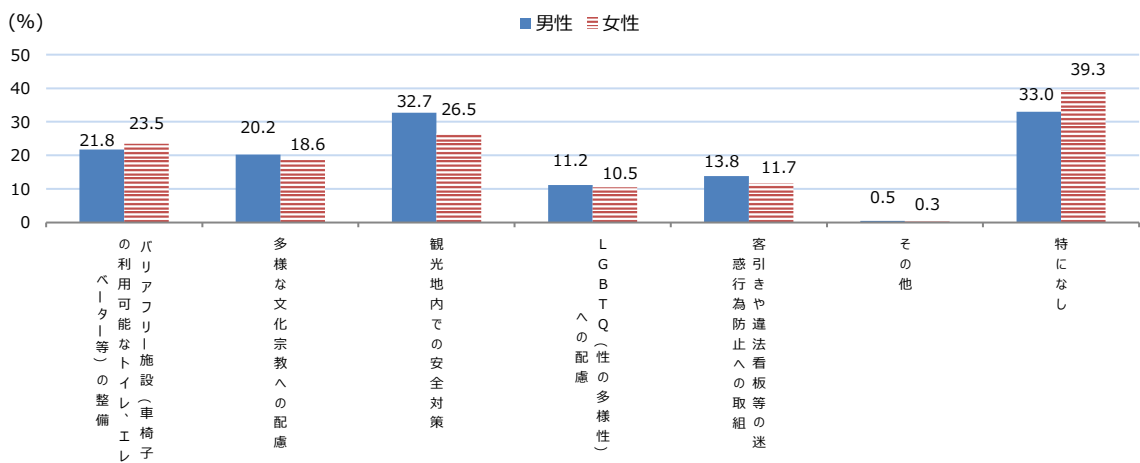
Q16. 安全・安心・快適に係る受入環境整備について、特に改善が必要と思った項目があれば、選択してください。

安全・安心・快適に係る受入環境整備について、特に改善が必要と思った項目は、「特になし」が最も多く35.9%、次いで、「観光地内での安全対策」29.7%、「バリアフリー施設（車椅子の利用可能なトイレ、エレベーター等）の整備」22.6%、「多様な文化宗教への配慮」19.4%と続く。

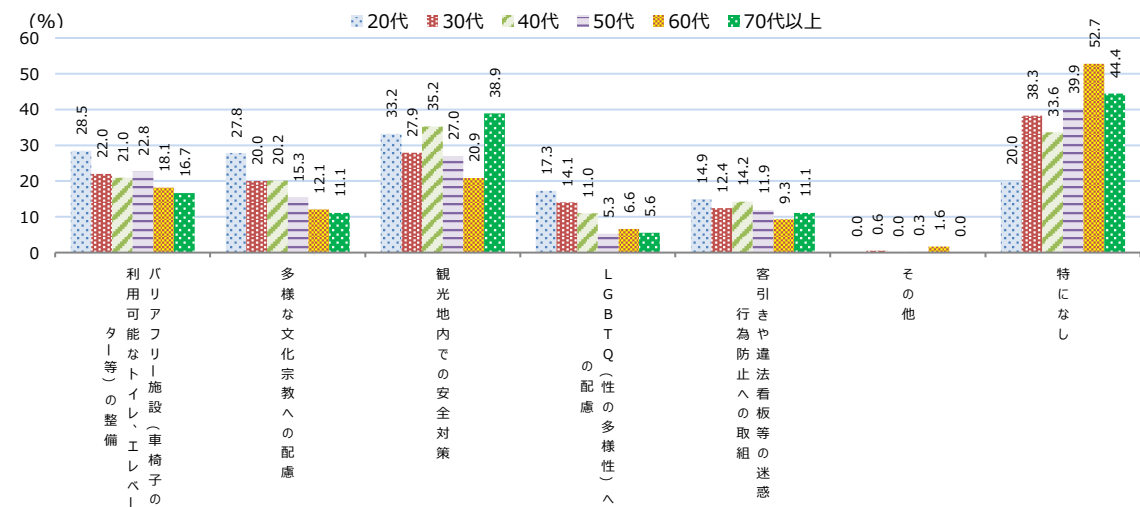
＜受入環境の要改善項目＞



＜性別＞



＜年代別＞



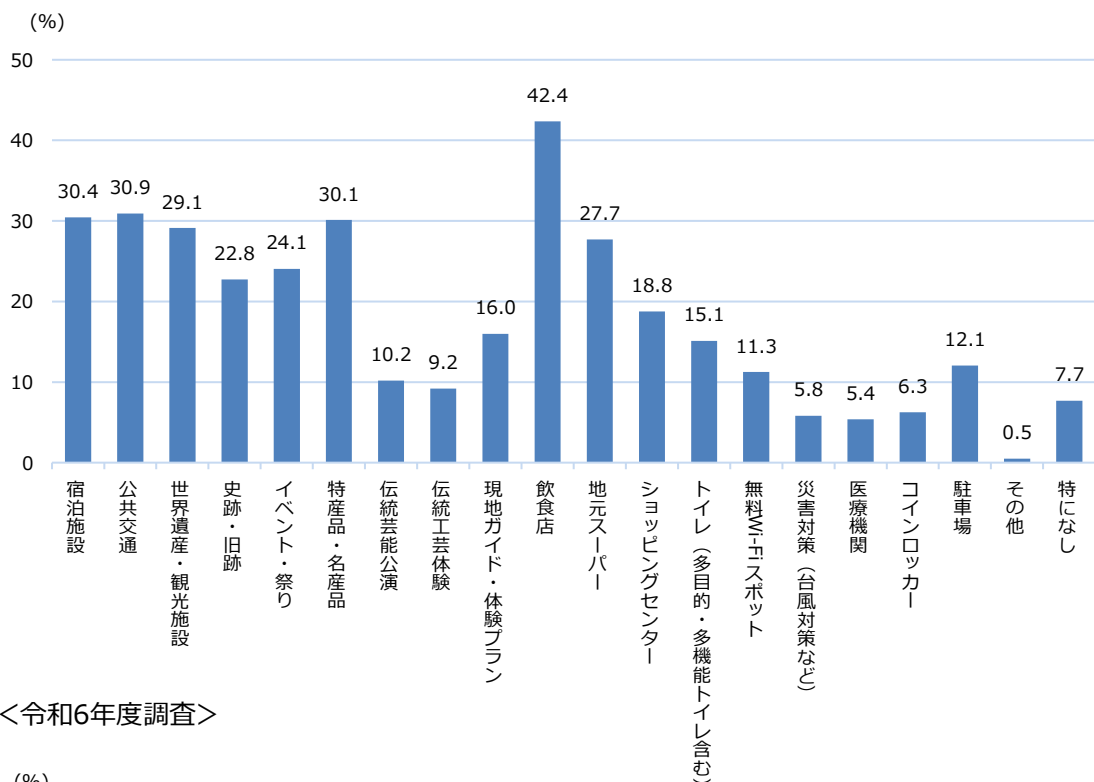
（１６）滞在中に求めた情報（複数回答可）

Q17. 滞在中、どのような情報を求めましたか。実際に入手した情報を教えてください。

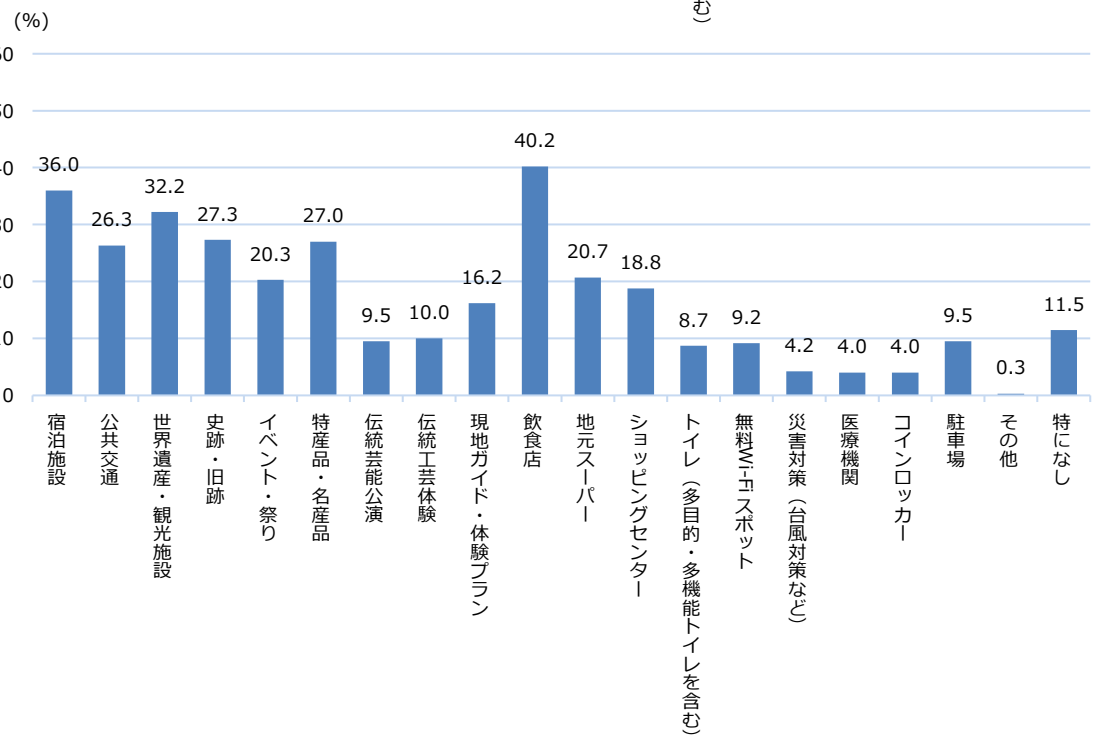
那覇市滞在中に入手した情報で最も多いのが「飲食店」で42.4%となっており、「公共交通」「宿泊施設」「特産品・名産品」と続く。
年代別では年代が高いほど「史跡・旧跡」の情報を求める傾向がある。

＜滞在中に求めた情報＞

＜令和7年度調査＞

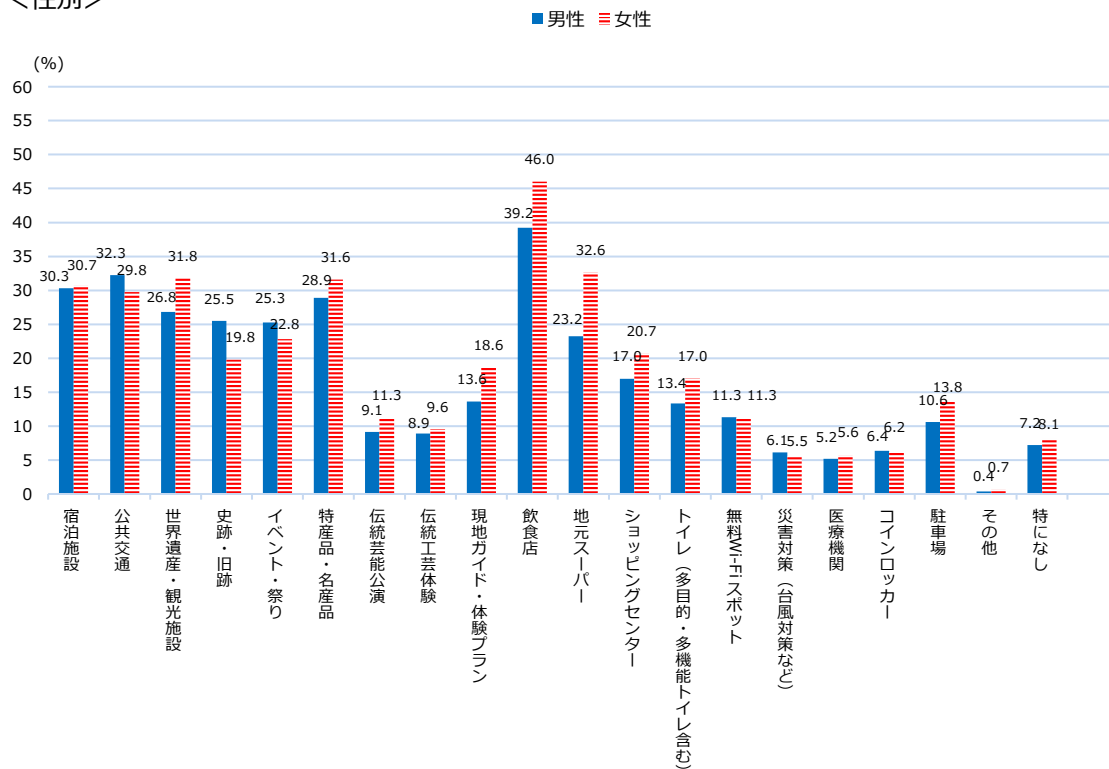


＜令和6年度調査＞

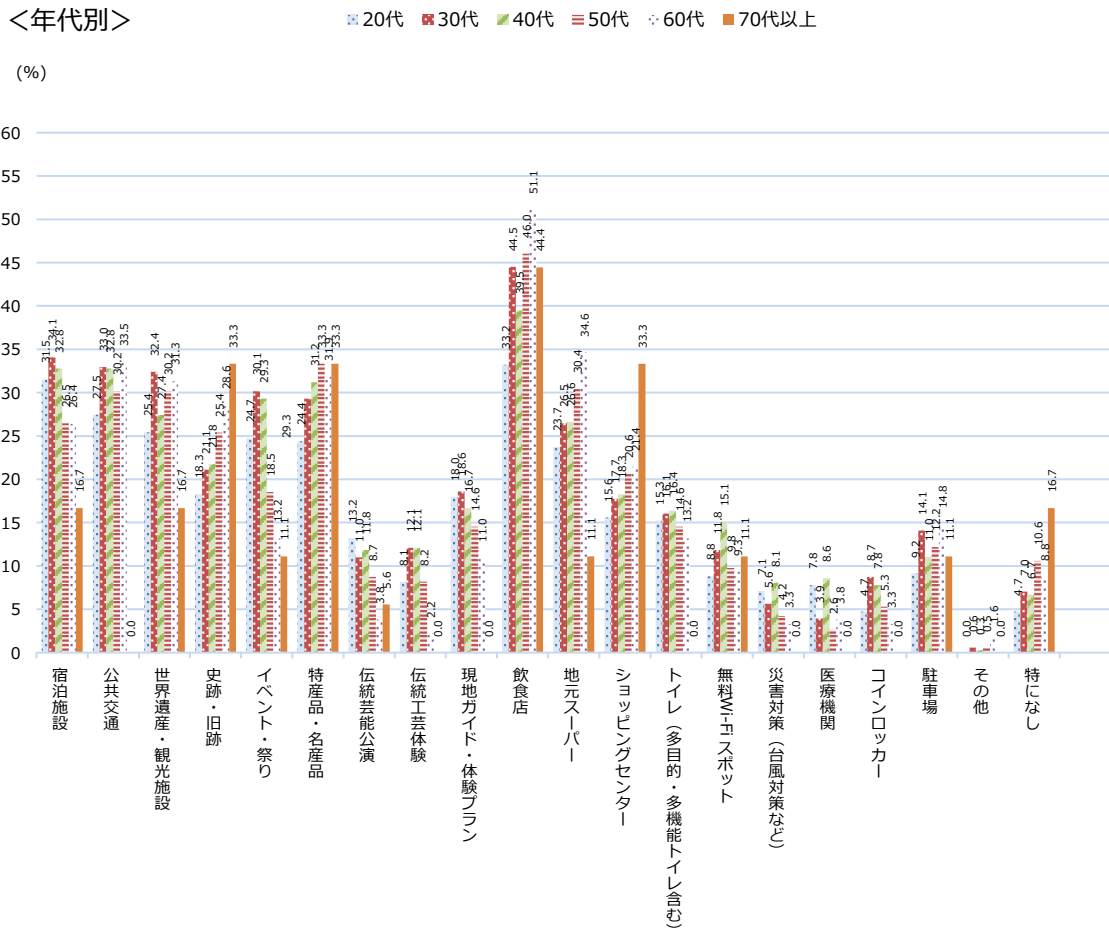


(16) 滞在中に求めた情報(複数回答可)

<性別>



<年代別>



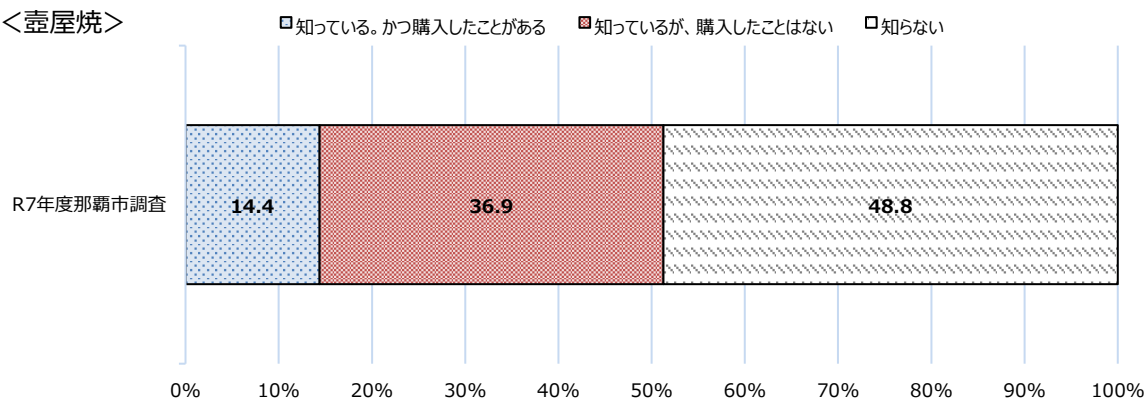
（１７）特産品認知度

Q18. 次の特産品（壺屋焼）の認知度について教えてください。

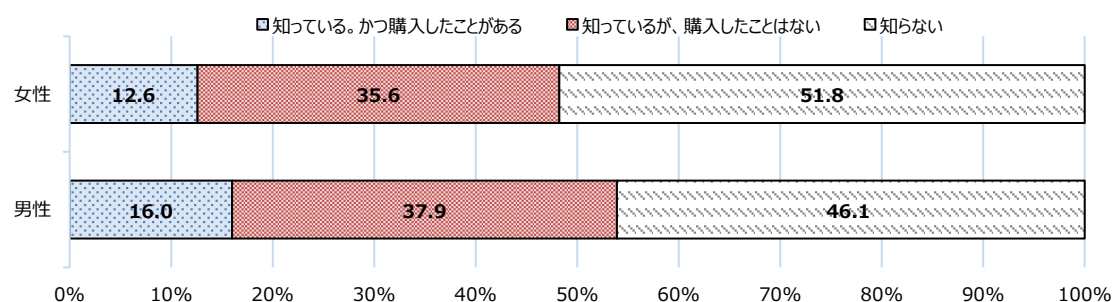
壺屋焼について、「知っている。かつ購入したことがある」「知っているが購入したことはない」の合計は51.3%である。

年代が高くなるにつれて「知らない」と回答する割合が増えており、購入経験も低い傾向が見られる。

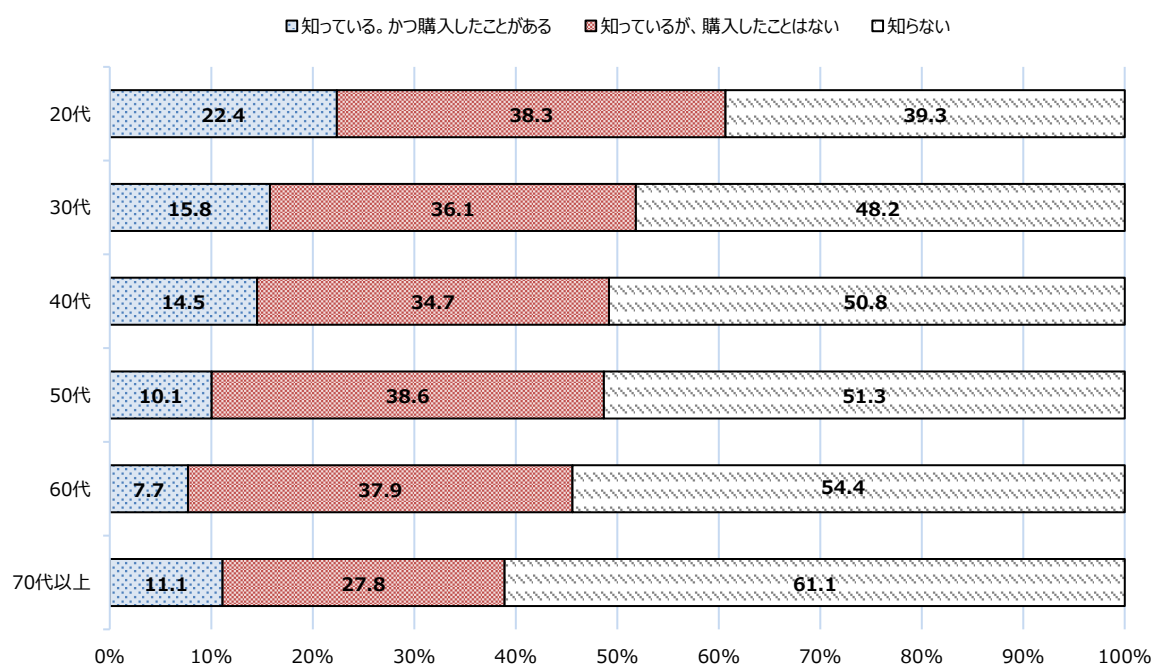
<壺屋焼>



<性別>



<年代別>

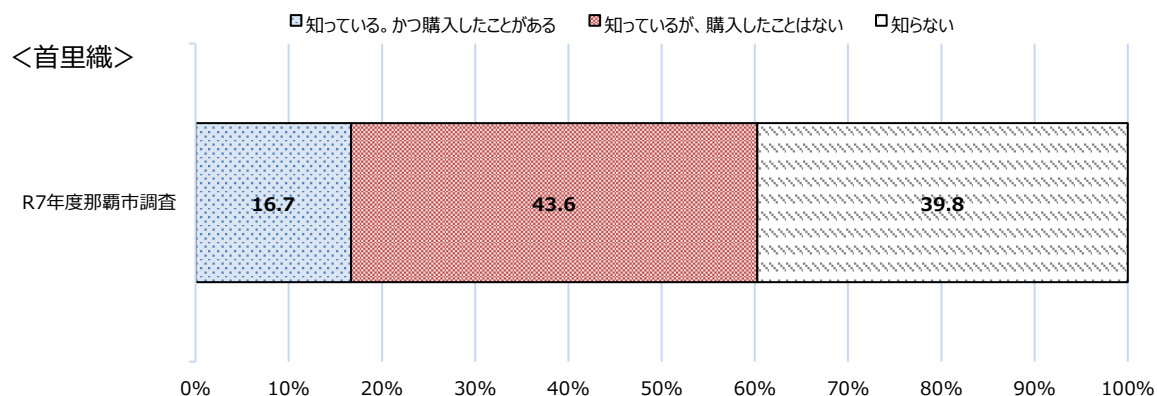


（１７）特産品認知度

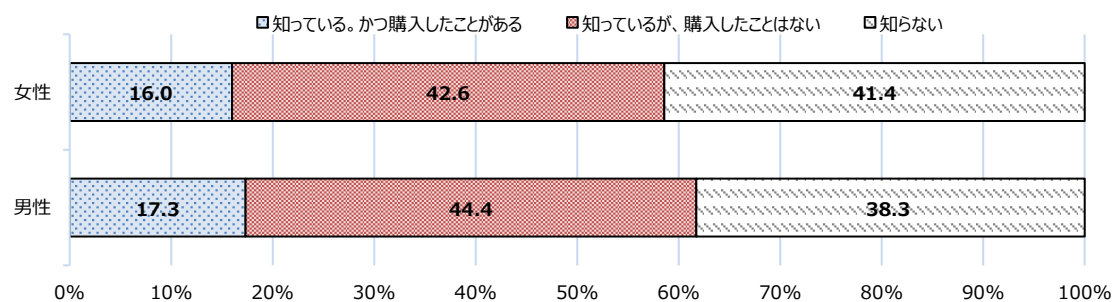
Q18. 次の特産品（首里織）の認知度について教えてください。

首里織について、「知っている。かつ購入したことがある」「知っているが購入したことはない」の合計は60.3%である。

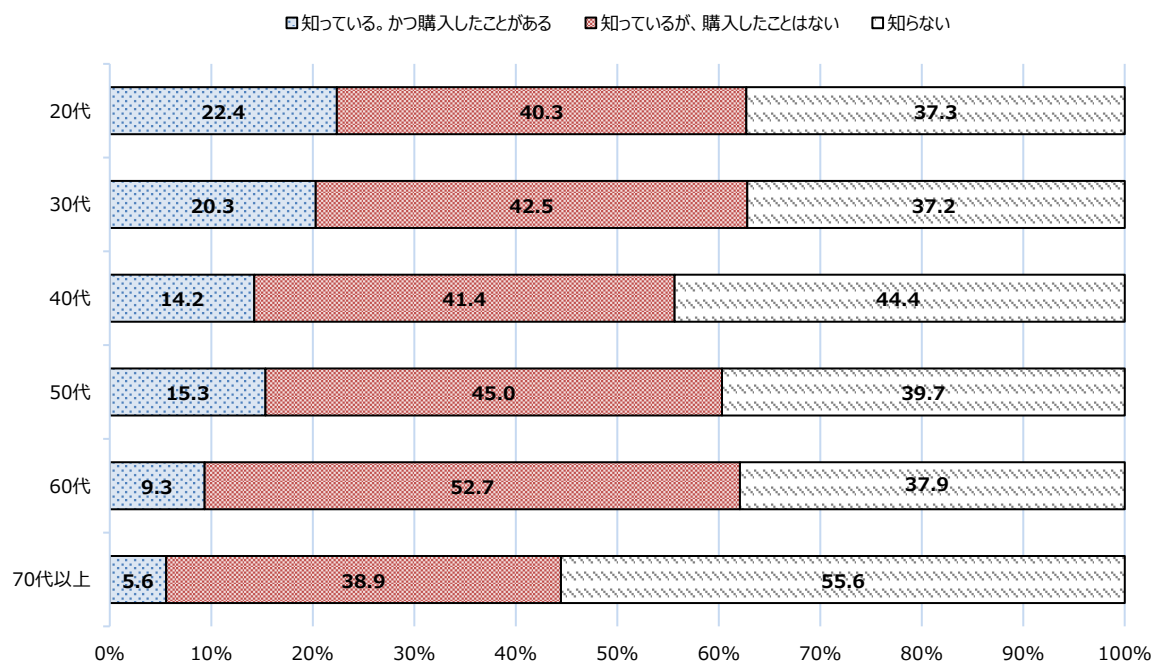
年代別において、「知っている。かつ購入したことがある」「知っているが、購入したことはない」の合計は大きく変わらないが、購入経験は20代、30代で高い傾向がある。



＜性別＞



＜年代別＞



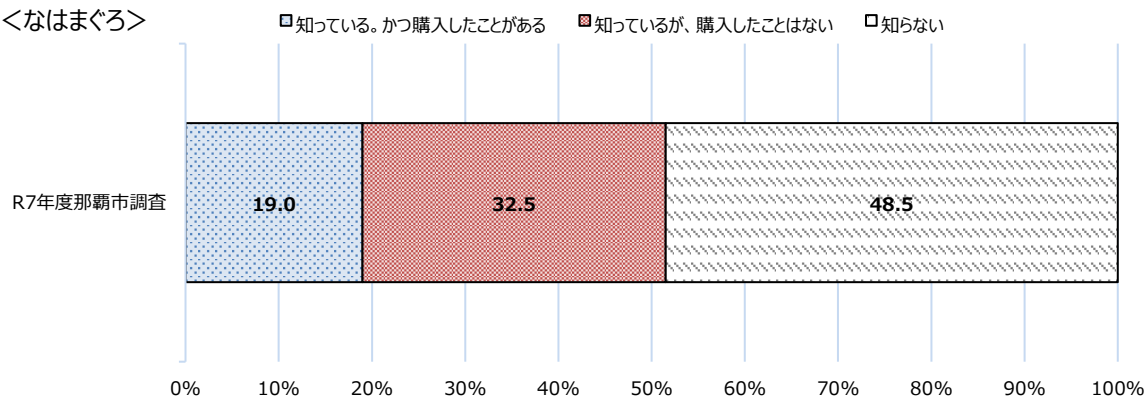
（１７）特産品認知度

Q18. 次の特産品（なはまぐろ）の認知度について教えてください。

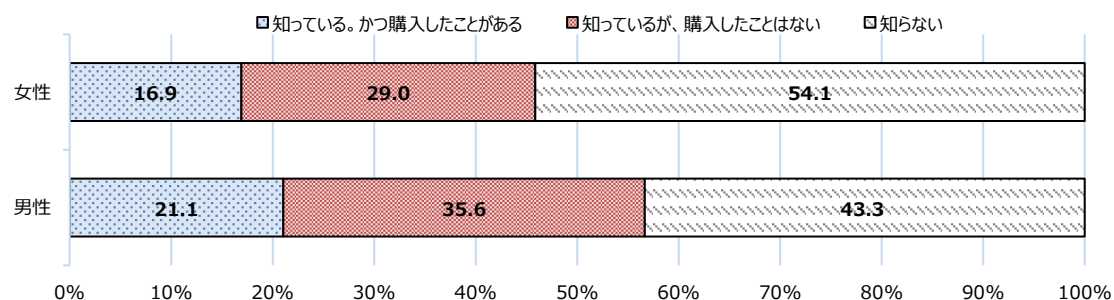
なはまぐろの認知度について、「知っている。かつ購入したことがある」「知っているが購入したことはない」の回答割合は、51.5%である。

女性や高齢層において「知らない」と回答する割合が高い傾向にある。

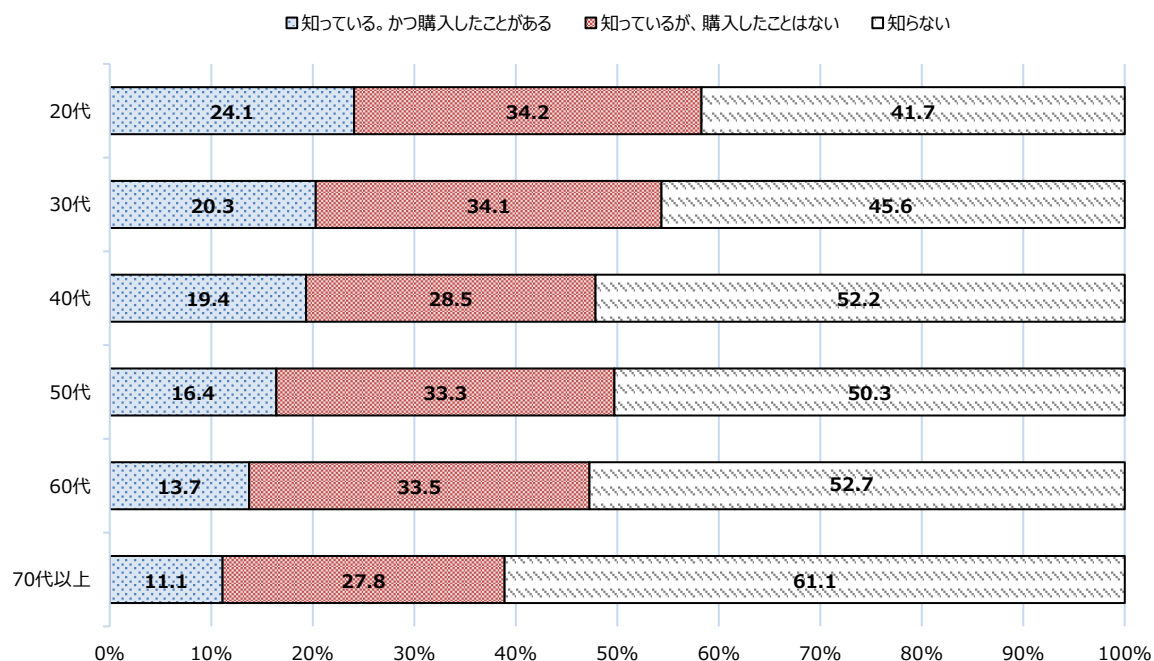
<なはまぐろ>



<性別>



<年代別>



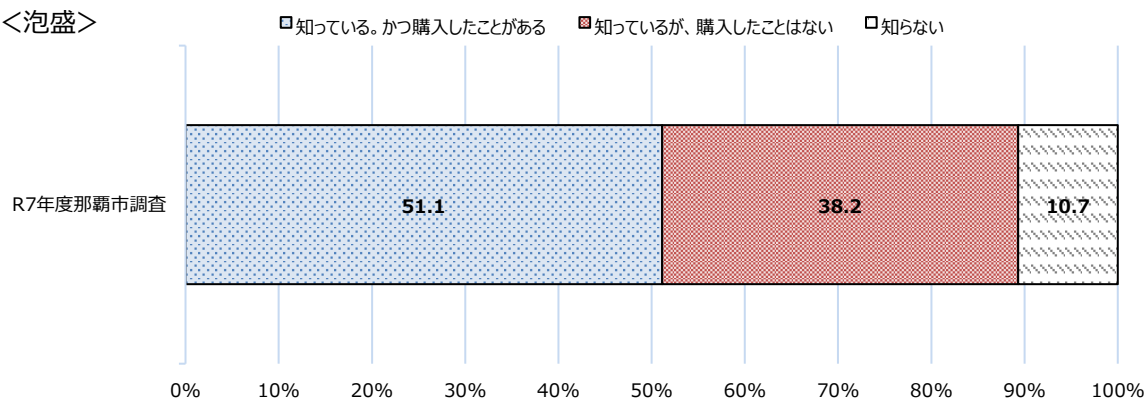
（１７）特産品認知度

Q18. 次の特産品（泡盛）の認知度について教えてください。

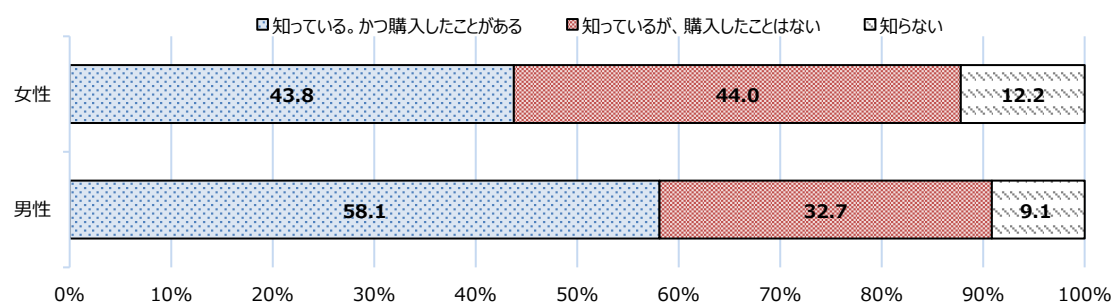
泡盛の認知度について、「知っている。かつ購入したことがある」、「知っているが、購入したことはない」の回答割合は89.3%と高い。

男性、高年齢層において「知っている。かつ購入したことがある」と回答する割合が高くなっている。

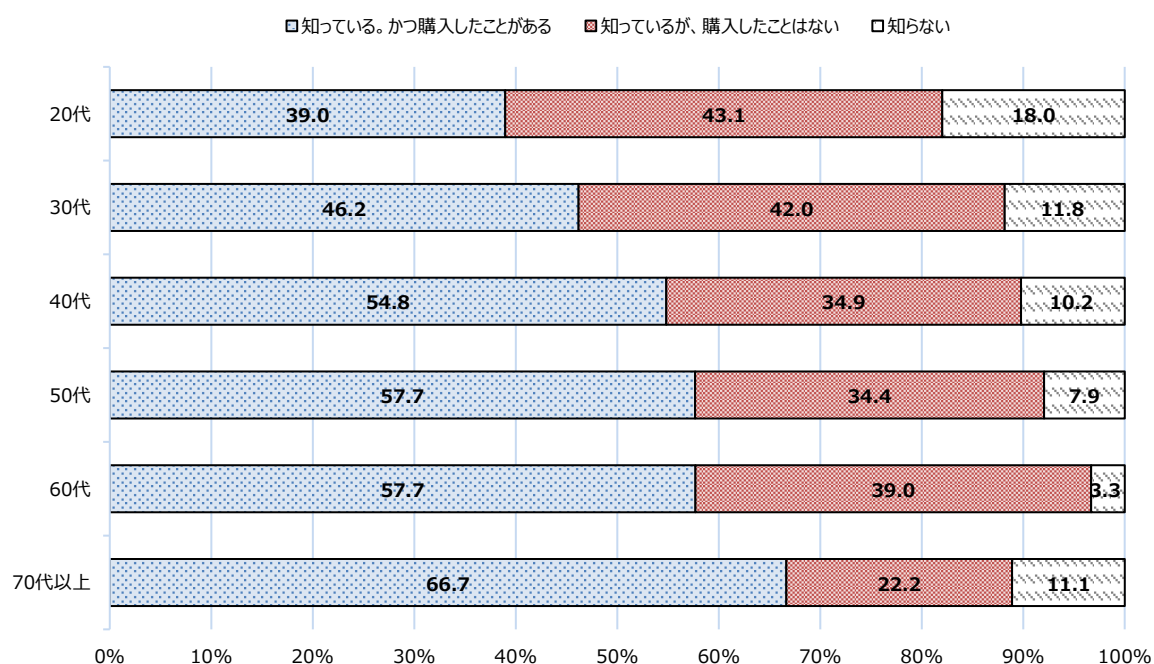
<泡盛>



<性別>



<年代別>



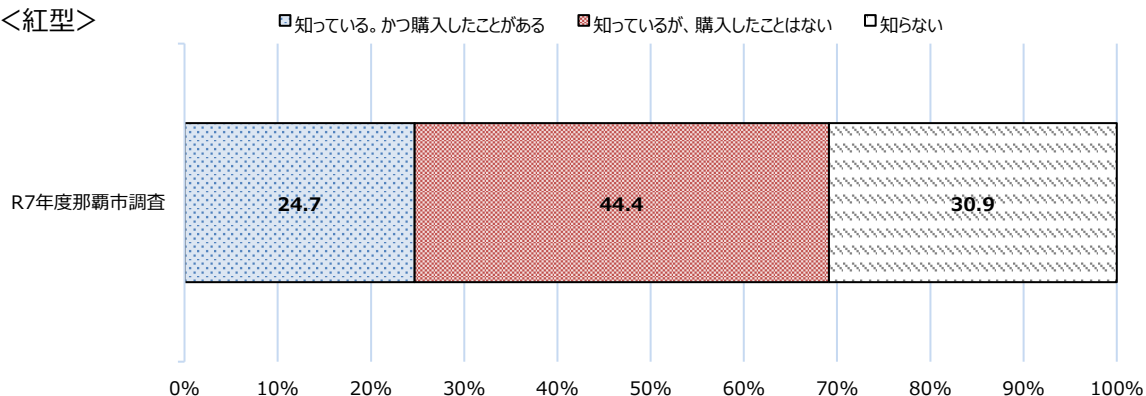
（１７）特産品認知度

Q18. 次の特産品（紅型）の認知度について教えてください。

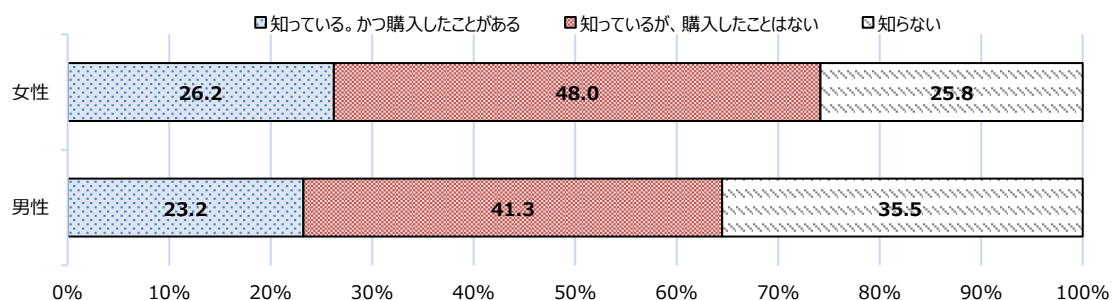
紅型の認知度について、「知っている。かつ購入したことがある」と「知っているが、購入したことはない」と回答する割合は69.1%である。

女性において、「知っている。かつ購入したことがある」「知っているが購入したことはない」の回答割合は74.2%を占め、男性より9.7ポイント高い。

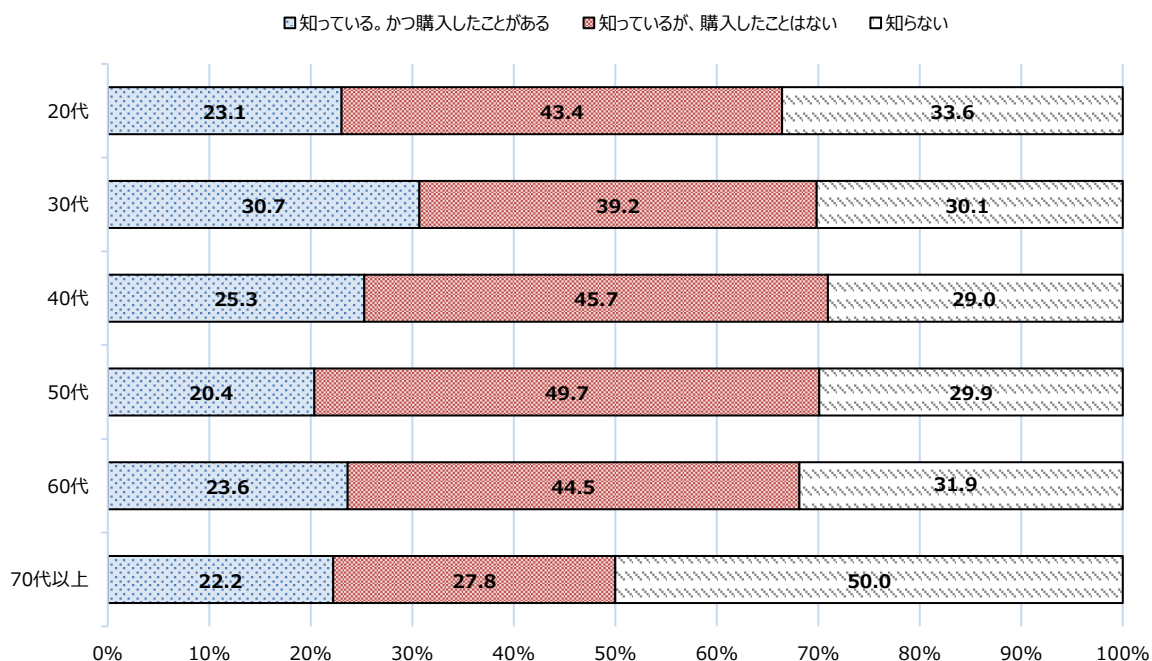
<紅型>



<性別>



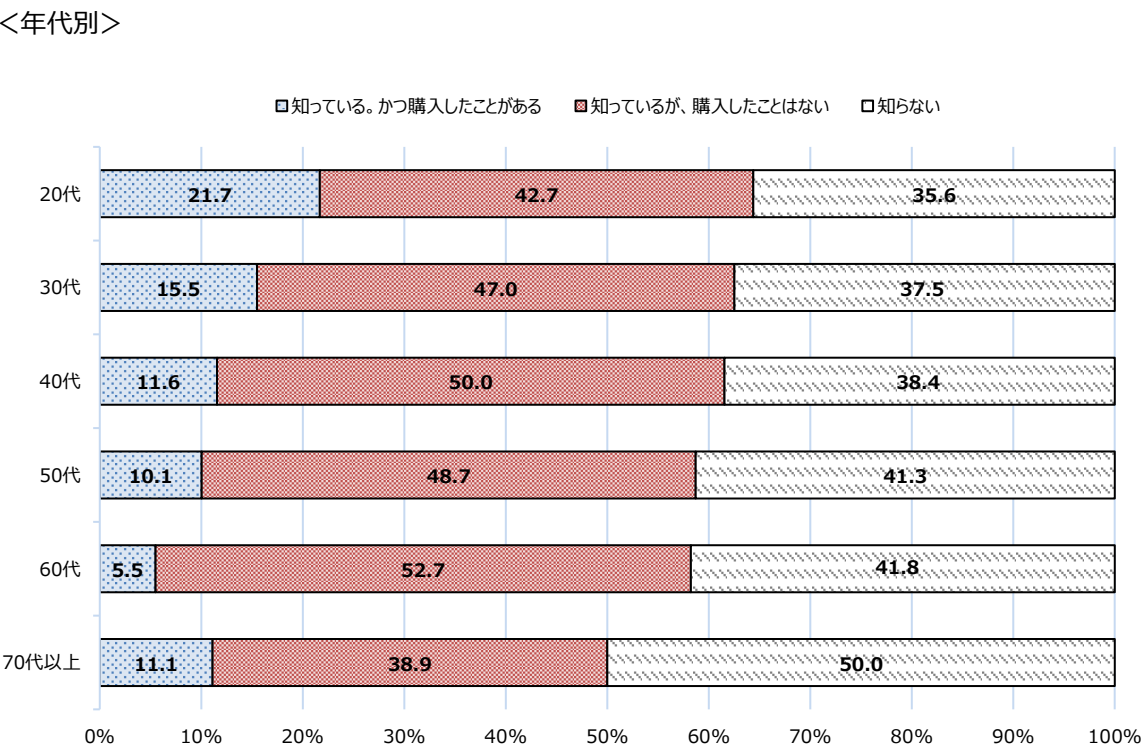
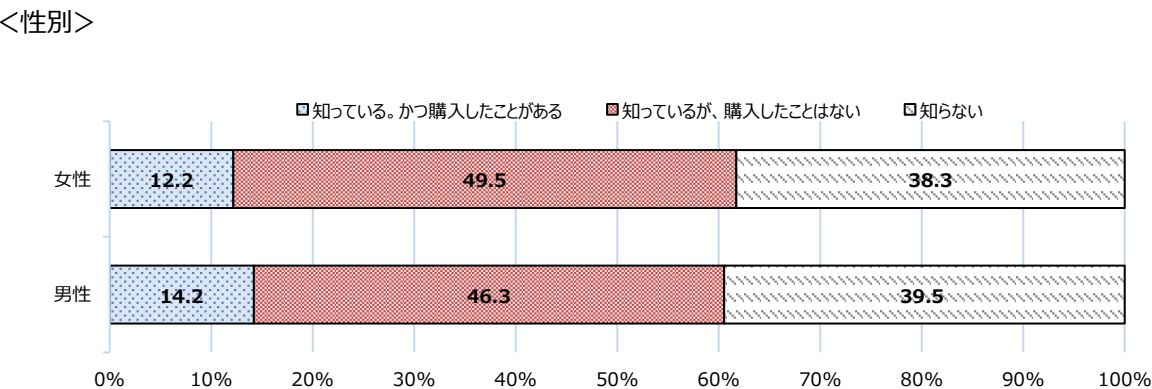
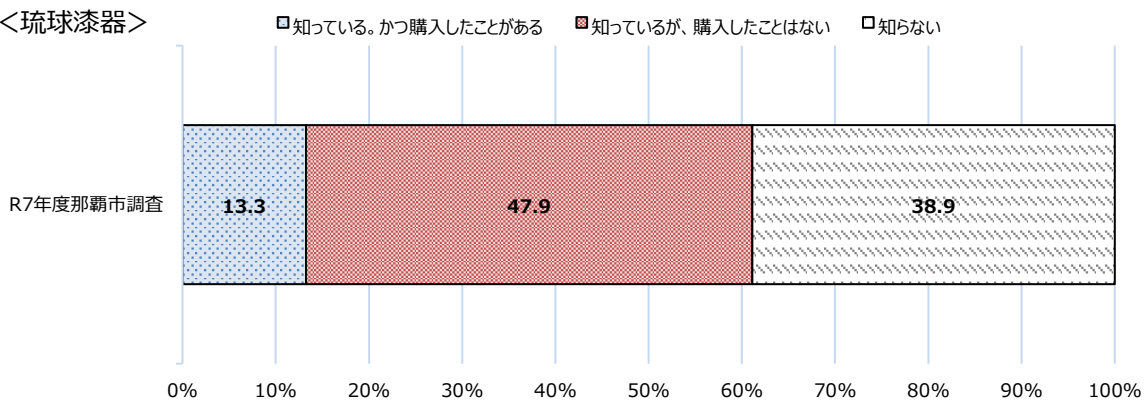
<年代別>



(1 7) 特産品認知度

Q18. 次の特産品（琉球漆器）の認知度について教えてください。

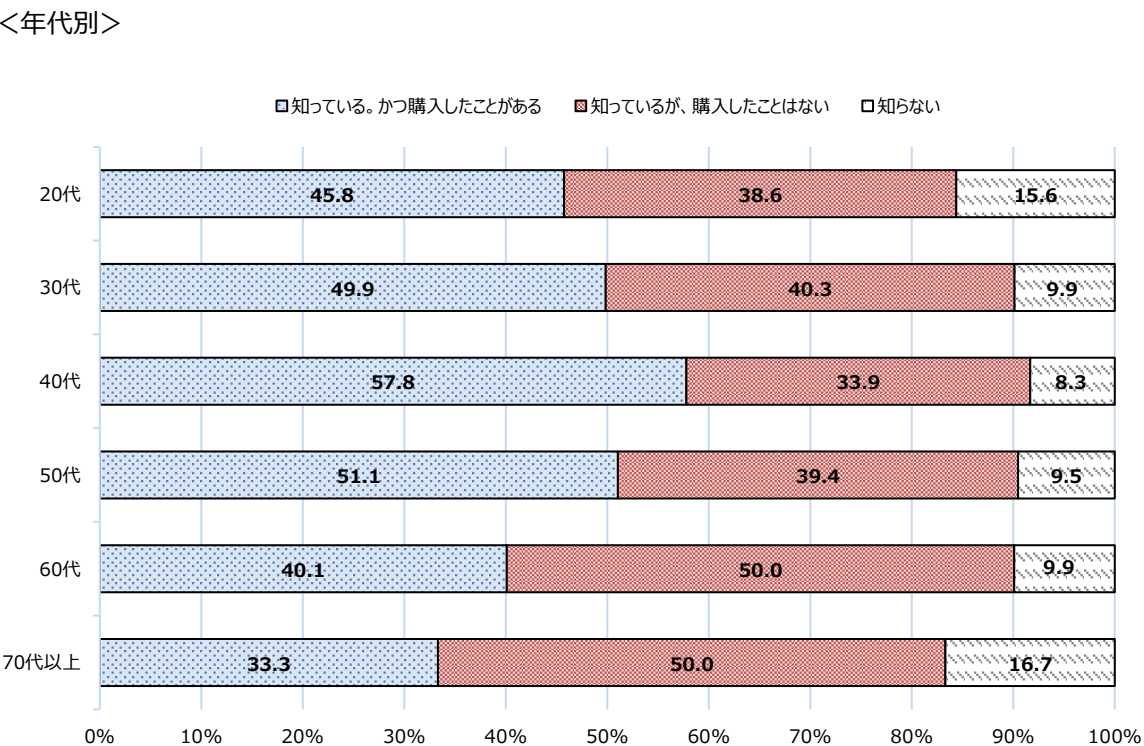
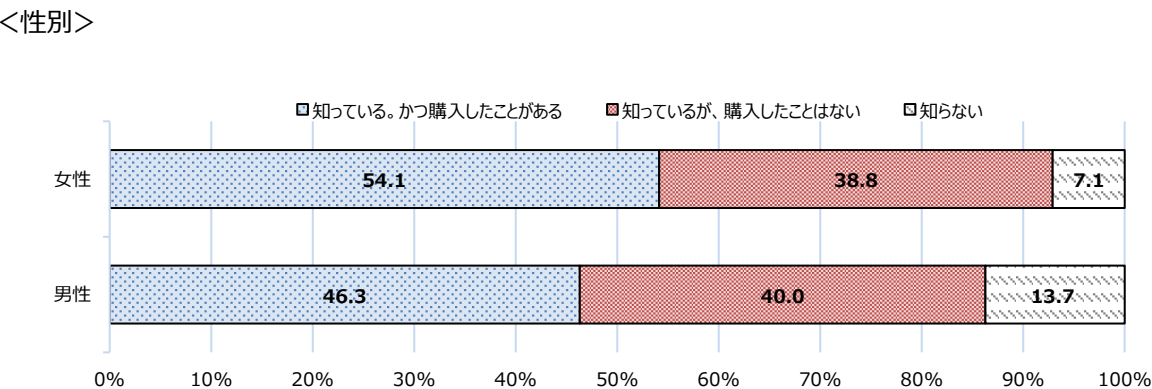
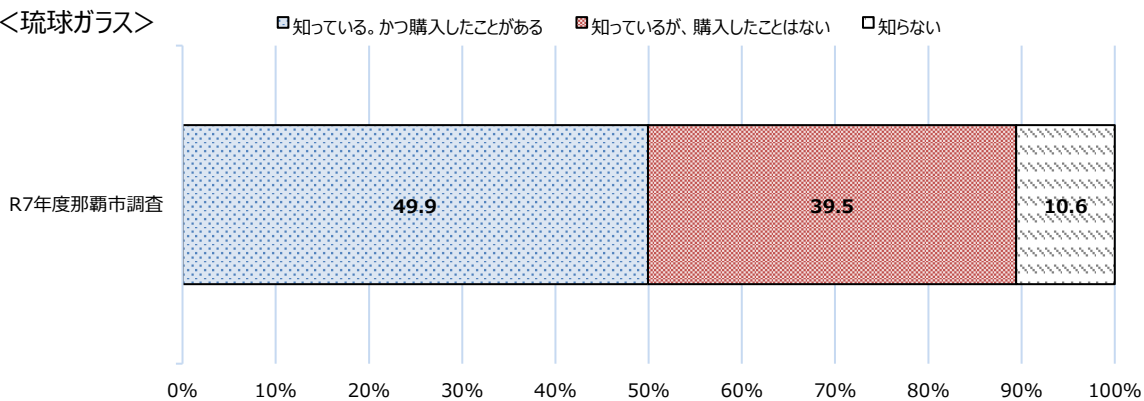
琉球漆器の認知度について、「知っている。かつ購入したことがある」「知っているが購入したことはない」の回答割合は、61.2%である。
年齢が上がるごとに「知らない」と回答する割合が高くなる傾向にある。



(1 7) 特産品認知度

Q18. 次の特産品（琉球ガラス）の認知度について教えてください。

琉球ガラスにおいて、「知っている。かつ購入したことがある」と「知っているが、購入したことはない」の回答割合は89.4%と高い。
女性、30～50代において「知っている。かつ購入したことがある」と回答する割合が高くなっている。



（１８）旅行形態

Q19. 今回はどのような形態で旅行されましたか。

Q20. 前問で回答された旅行形態の一人あたりの旅費等をご記入ください。

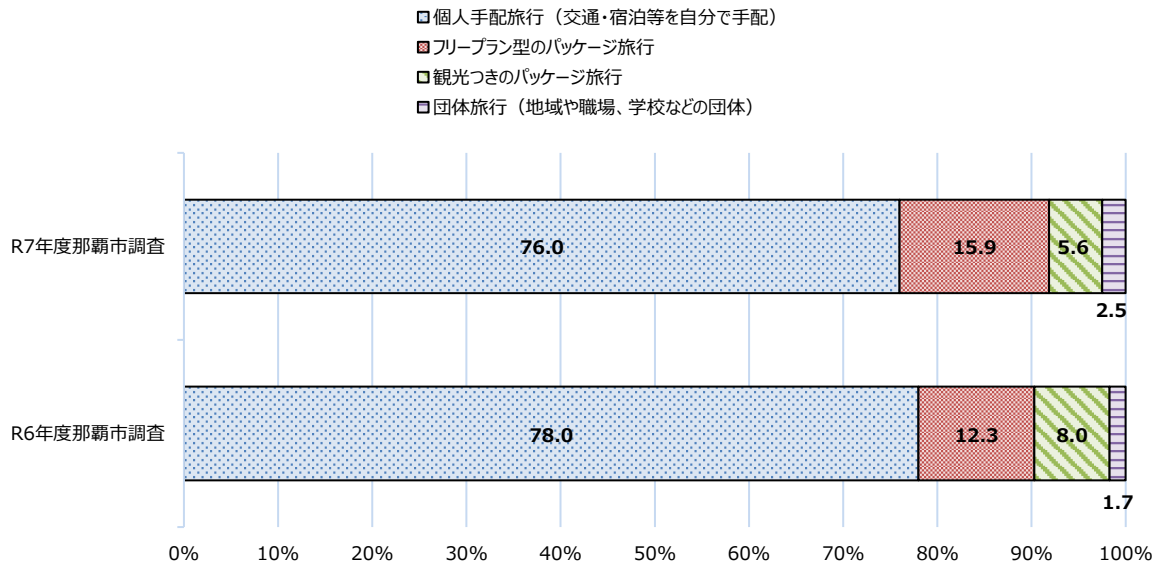
旅行形態は「個人手配旅行」が76.0%と半数以上を占めている。

令和6年度の那覇市調査と比較すると、「フリープラン型のパッケージ旅行」の比率が増加し、「個人手配旅行」が減少している。

性別、年代別で見ると男性の方が「個人手配旅行」が多く、60代以上は「観光つきのパッケージ旅行」や「個人手配旅行（交通・宿泊等を自分で手配でマイレージ利用なし）」の割合が高い。

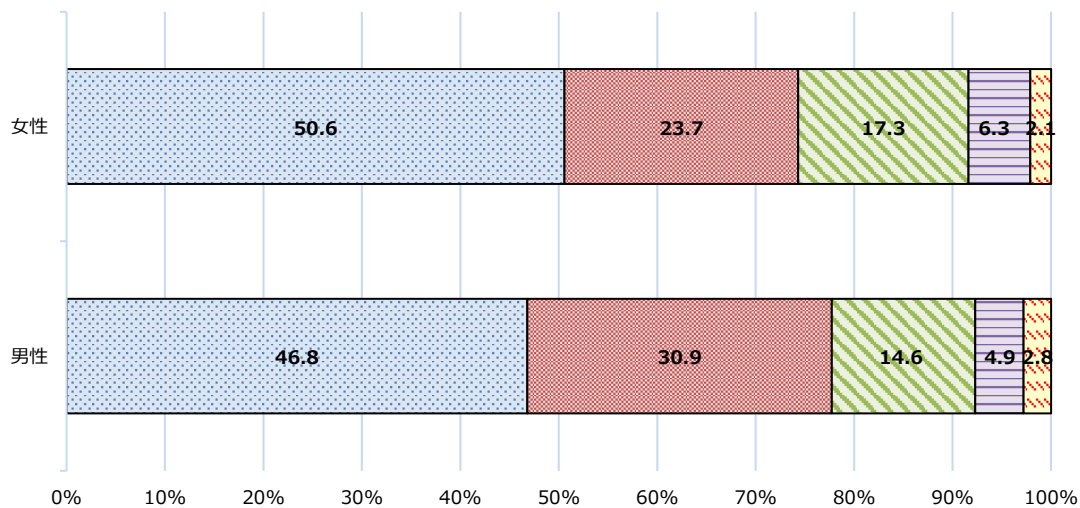
<旅行形態>

<比較対象 令和6年度那覇市調査>



<性別>

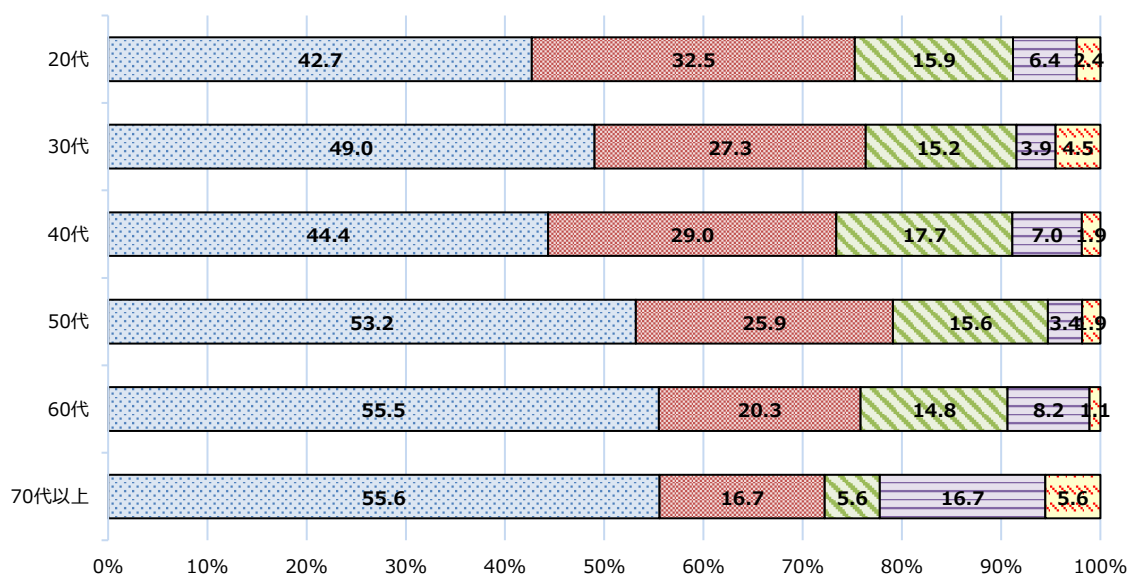
- 個人手配旅行（交通・宿泊等を自分で手配）でマイレージ利用なし
 ■ 個人手配旅行（交通・宿泊等を自分で手配）でマイレージ利用あり
- ▨ フリープラン型のパッケージ旅行
 ▨ 観光つきのパッケージ旅行
- ▩ 団体旅行（地域や職場、学校などの団体）



（１８）旅行形態

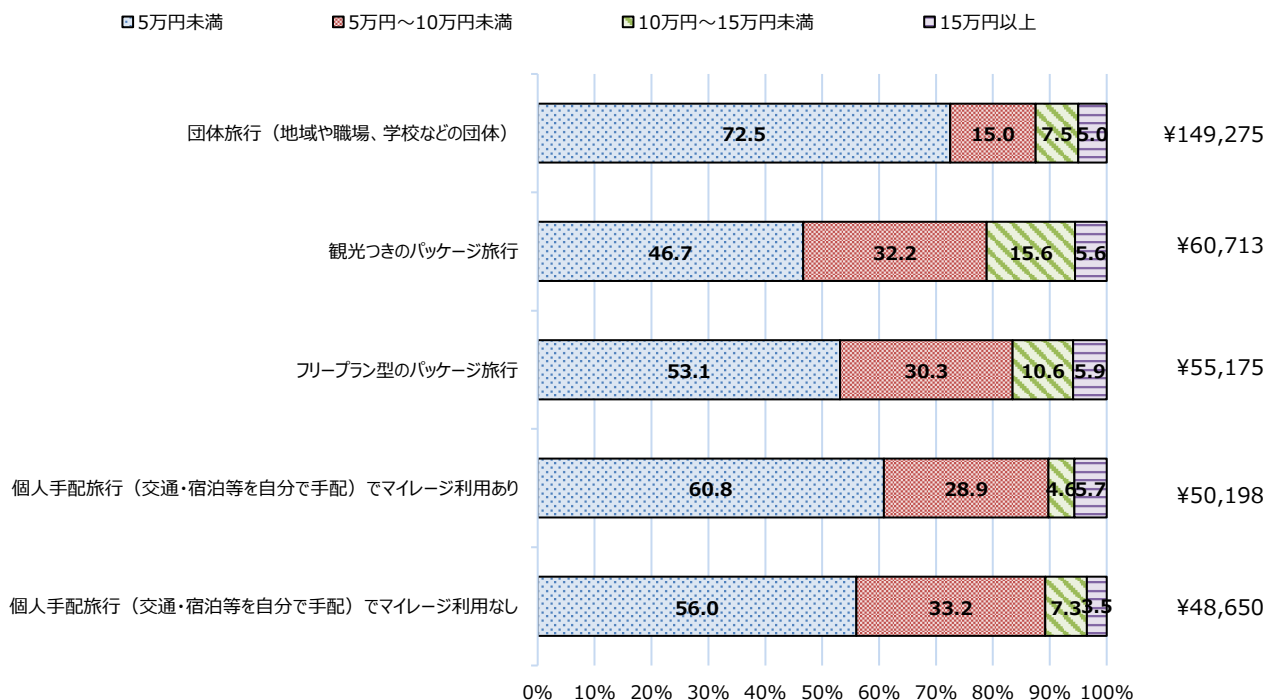
＜年代別＞

- 個人手配旅行（交通・宿泊等を自分で手配）でマイレージ利用なし
- 個人手配旅行（交通・宿泊等を自分で手配）でマイレージ利用あり
- フリープラン型のパッケージ旅行
- 観光つきのパッケージ旅行
- 団体旅行（地域や職場、学校などの団体）



＜旅費総額＞

ツアー平均料金



（１９）消費額について

Q21. 那覇市内で支出した一人あたりの費用を教えてください。

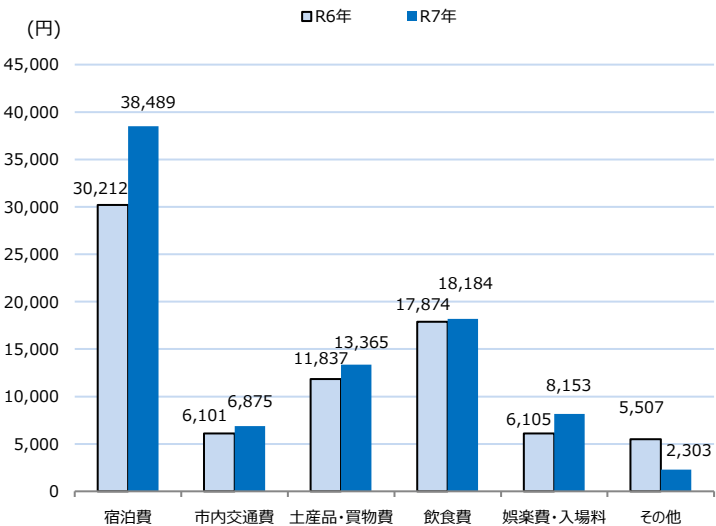
那覇市内で支出した費用は87,369円で令和6年度那覇市調査と比べ9,733円の増加となった。
令和6年那覇市調査と比較して、その他を除く全ての品目で増加しており、宿泊費が8,277円と最も増加している。

<消費額>

総額	宿泊費	市内交通費	物産品・買物等	飲食費	娯楽費 入場料	その他
87,369	38,489	6,875	13,365	18,184	8,153	2,303
100%	44.1%	7.9%	15.3%	20.8%	9.3%	2.6%

<令和6年度／令和7年度比較>

	令和6年	令和7年
宿泊費	30,212	38,489
市内交通費	6,101	6,875
土産品・買物費	11,837	13,365
飲食費	17,874	18,184
娯楽費・入場料	6,105	8,153
その他	5,507	2,303
合計	77,636	87,369



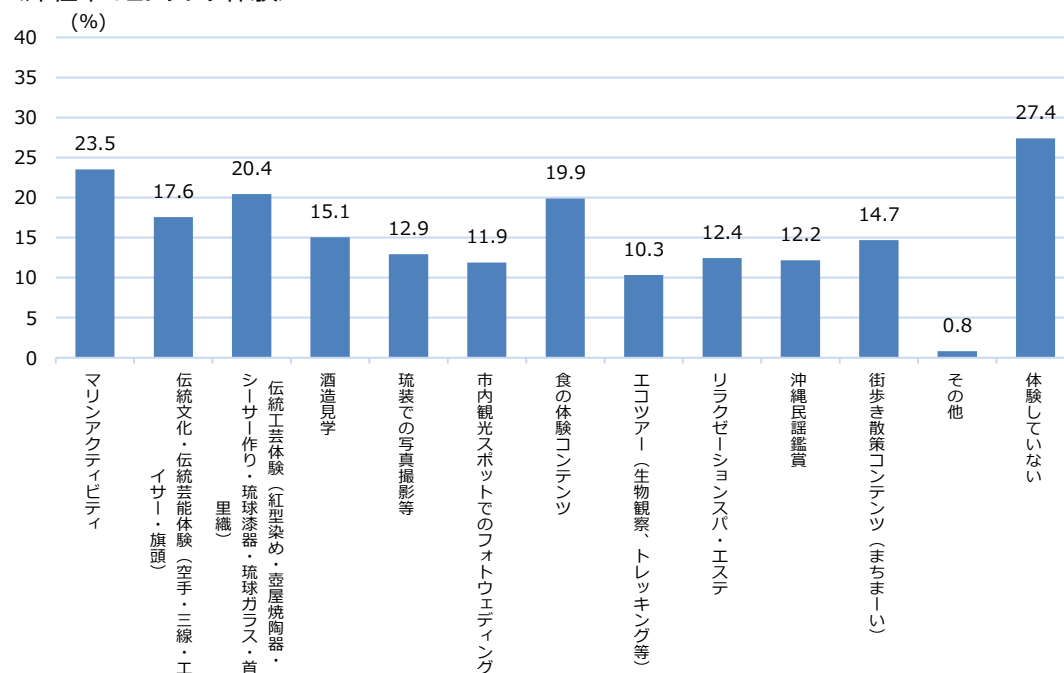
（２０）滞在中のコンテンツ体験（複数回答可）

Q22. 今回の那覇市滞在中のコンテンツ体験についておたずねします。どのようなコンテンツを体験しましたか。

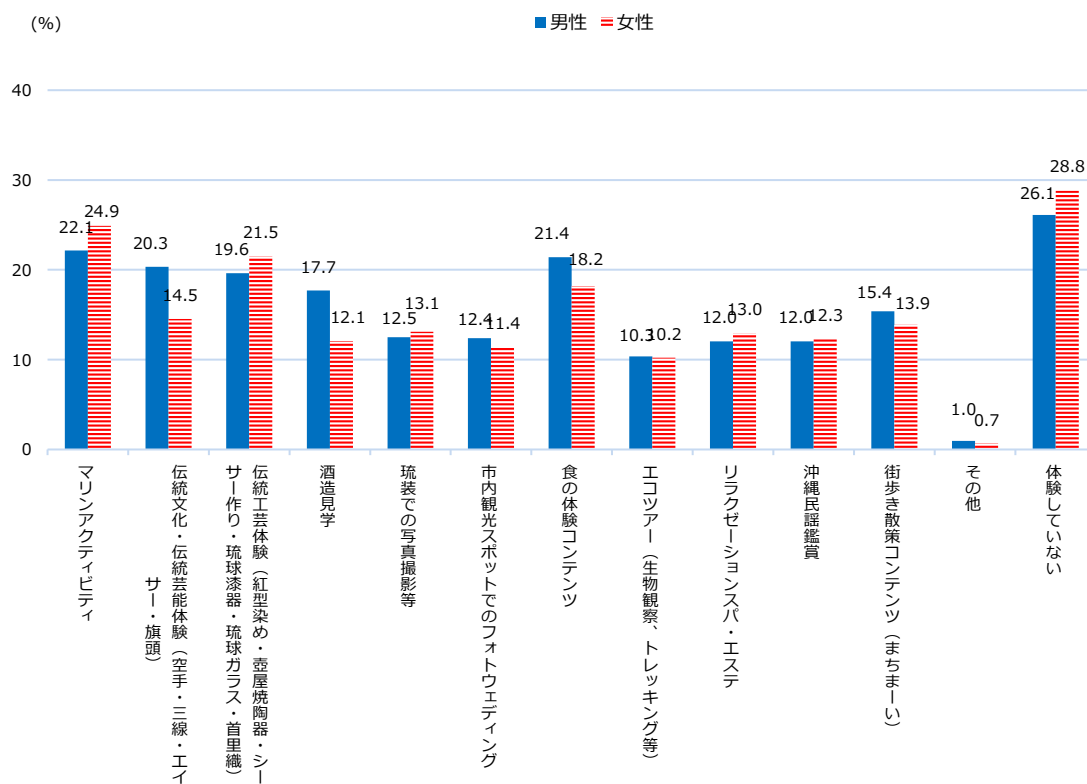
那覇市に滞在中に体験したコンテンツは「体験していない」が27.4%で最も高く、次いで「マリンアクティビティ」23.5%、「伝統工芸体験」20.4%と続く。

年代別で見ると、50代と60代、70代以上で「体験していない」が38%を超えており、他の年代と比較して高くなっている。

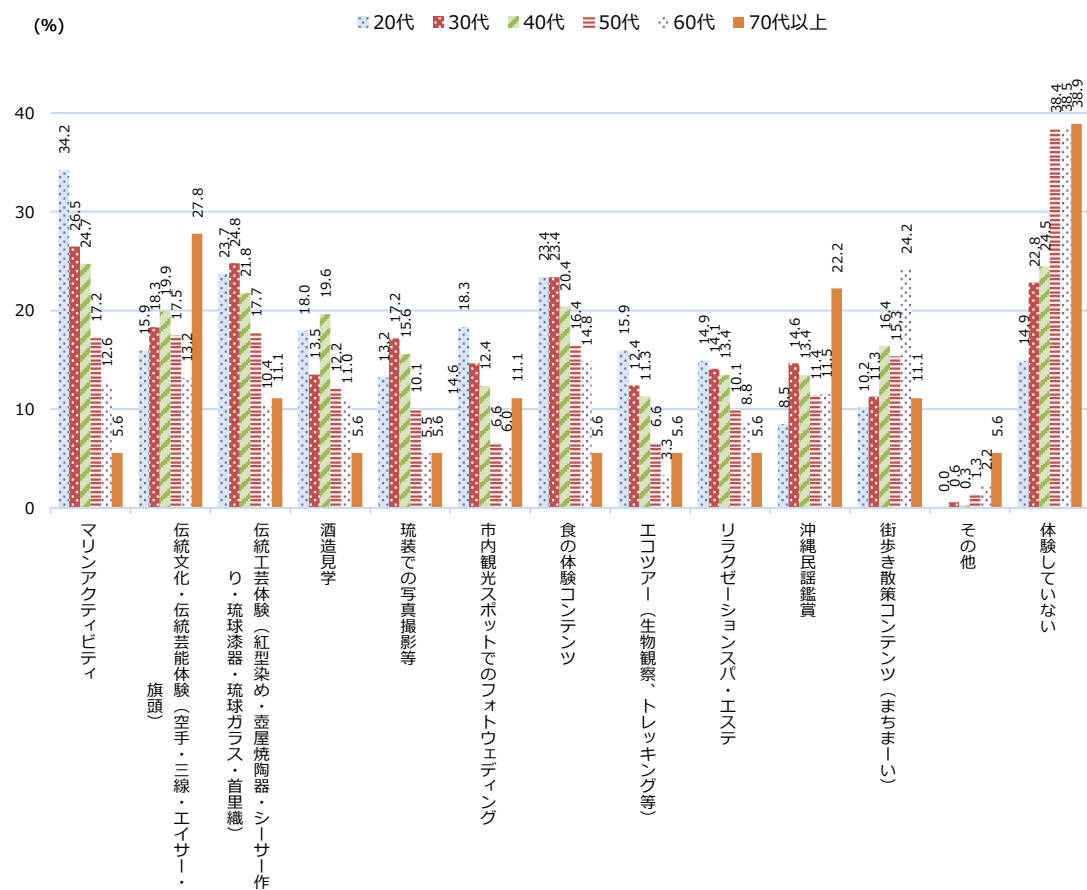
＜滞在中のコンテンツ体験＞



＜性別＞



(20) 滞在中のコンテンツ体験（複数回答可）
 <年代別>

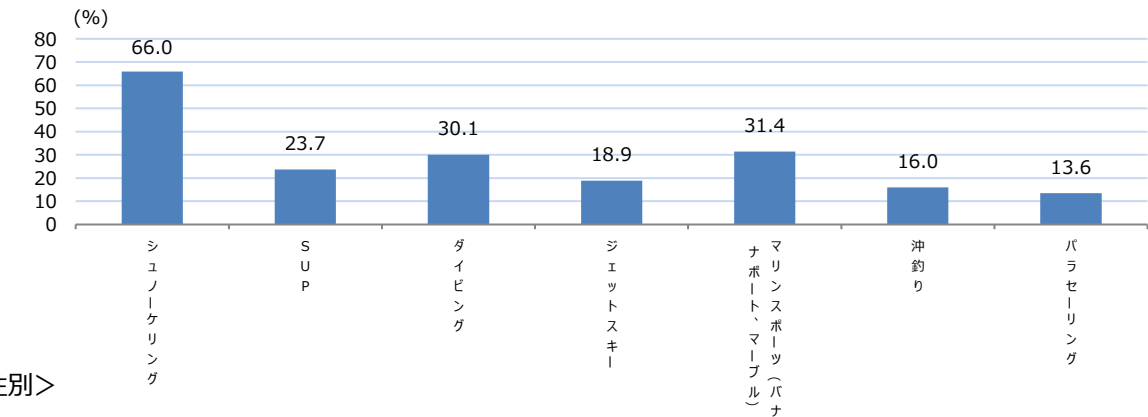


（２１）体験したマリナクティビティ（複数回答可）

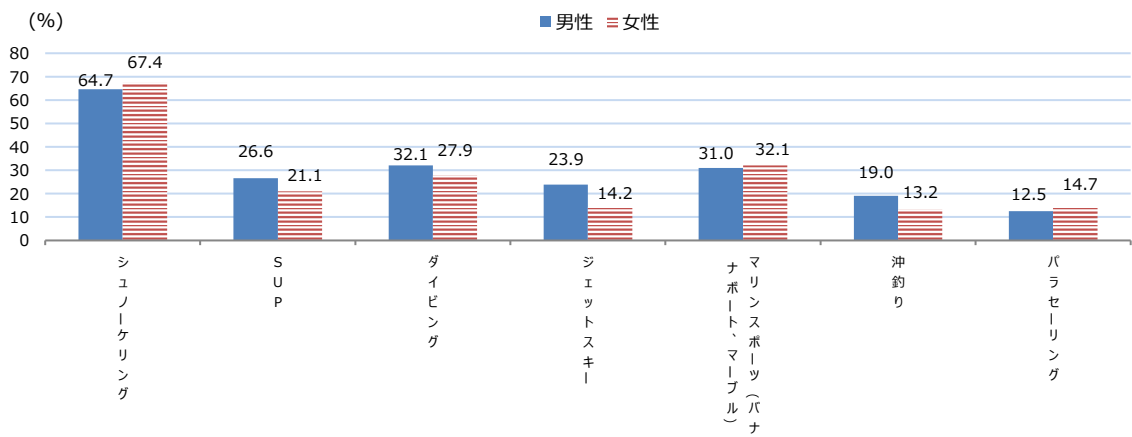
Q23. マリナクティビティを回答された方におたずねします。どのようなアクティビティを体験しましたか。

体験したマリナクティビティは、「シュノーケリング」が最も多く66.0%、次いで、「マリンスポーツ（バナナボート、マープル）」31.4%、「ダイビング」30.1%と続く。

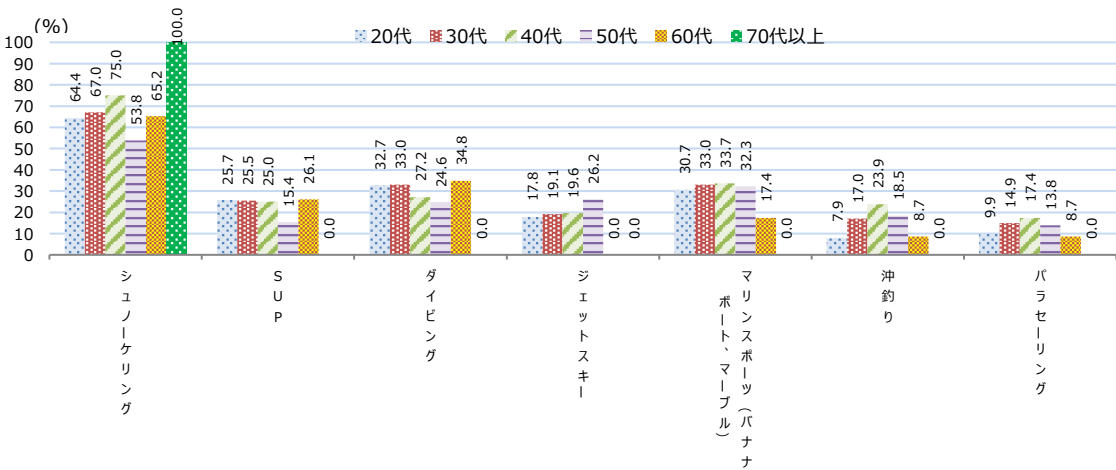
<体験したマリナクティビティ>



<性別>



<年代別>

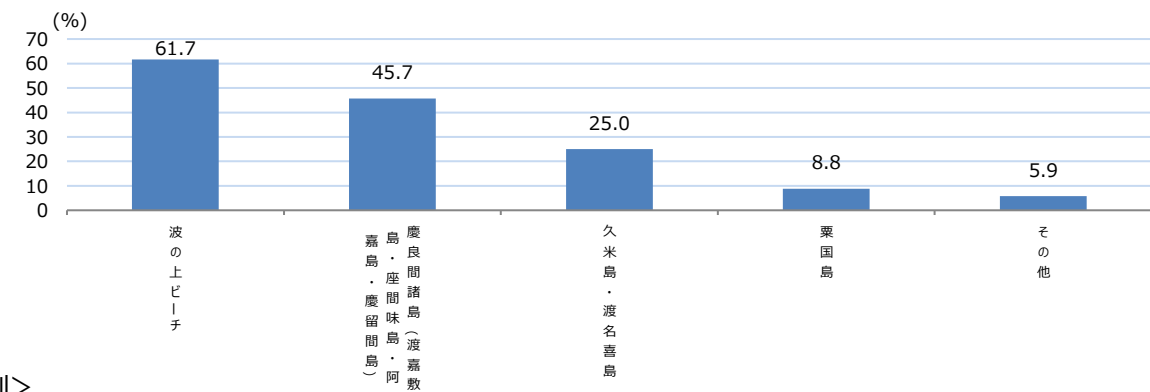


（２２）マリンアクティビティの体験場所（複数回答可）

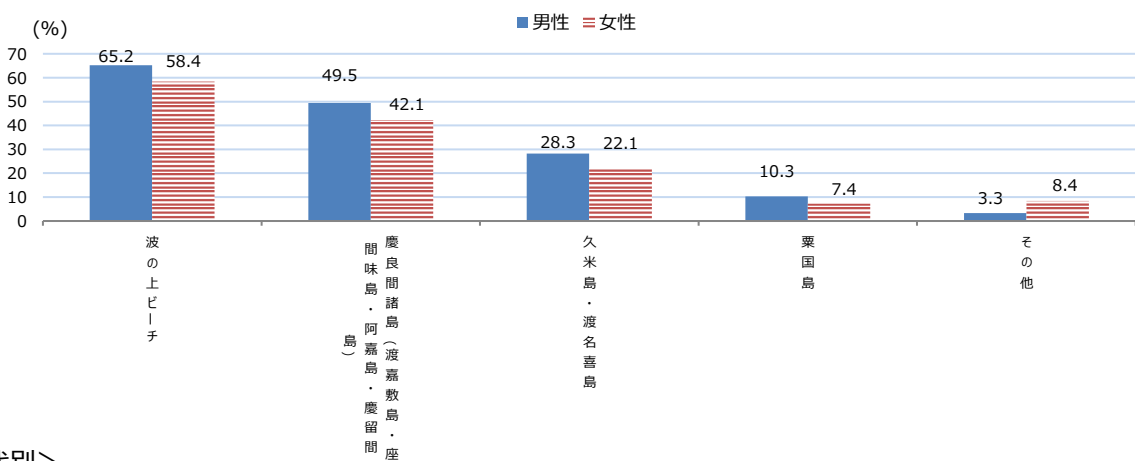
Q24. マリンアクティビティを回答された方におたずねします。どこで体験しましたか。

マリンアクティビティの体験場所は、「波の上ビーチ」が最も多く61.7%、次いで、「慶良間諸島（渡嘉敷島・座間味島・阿嘉島・慶留間島）」45.7%、「久米島・渡名喜島」25.0%と続く。

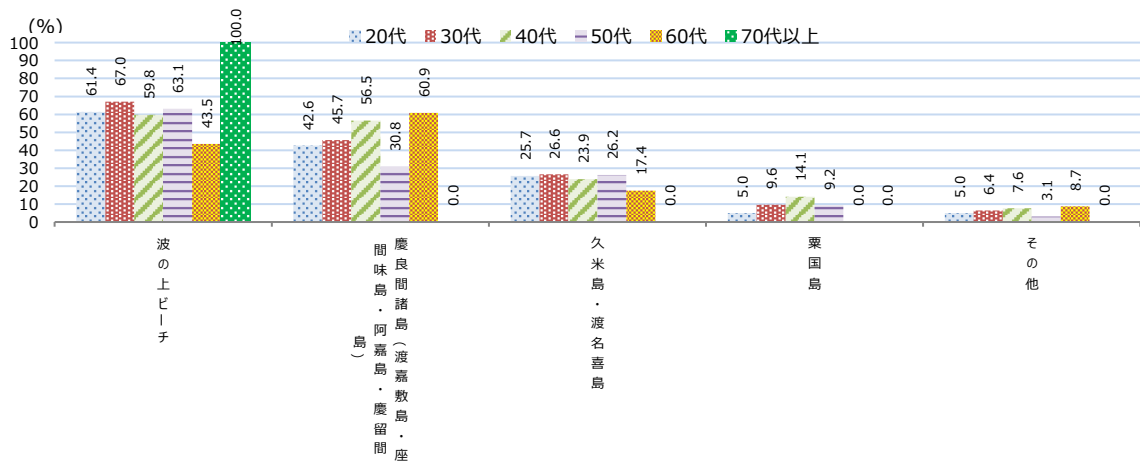
＜マリンアクティビティの体験場所＞



＜性別＞



＜年代別＞



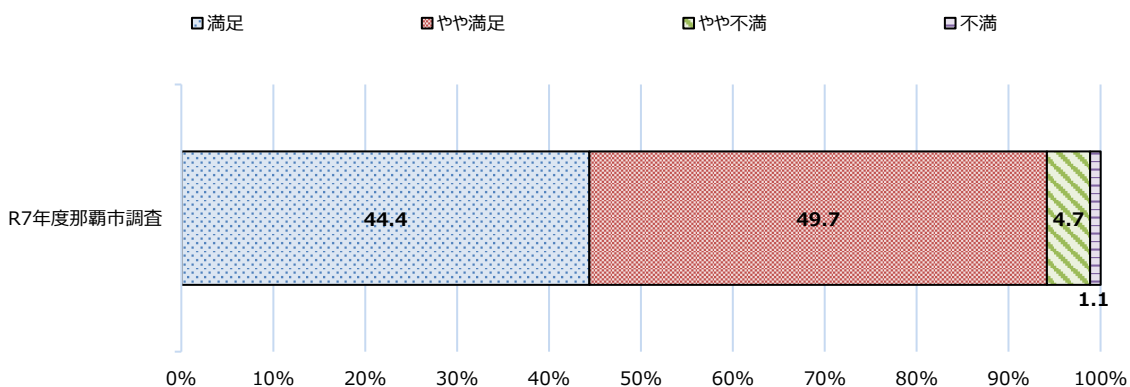
（２３）滞在中のコンテンツ満足度

Q25. Q22で「体験していない」以外を回答した方におたずねします。コンテンツ体験の総合的な満足度を教えてください。

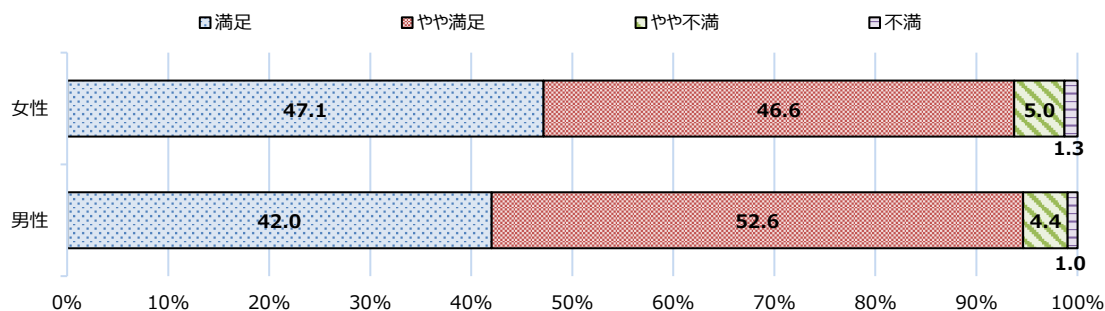
滞在中のコンテンツ満足度は「満足」の44.4%と「やや満足」の49.7%を合わせると、94.1%が満足している。

性別、年代別に見ても、全ての属性で、「満足」と「やや満足」を合わせた回答割合が9割を超える。

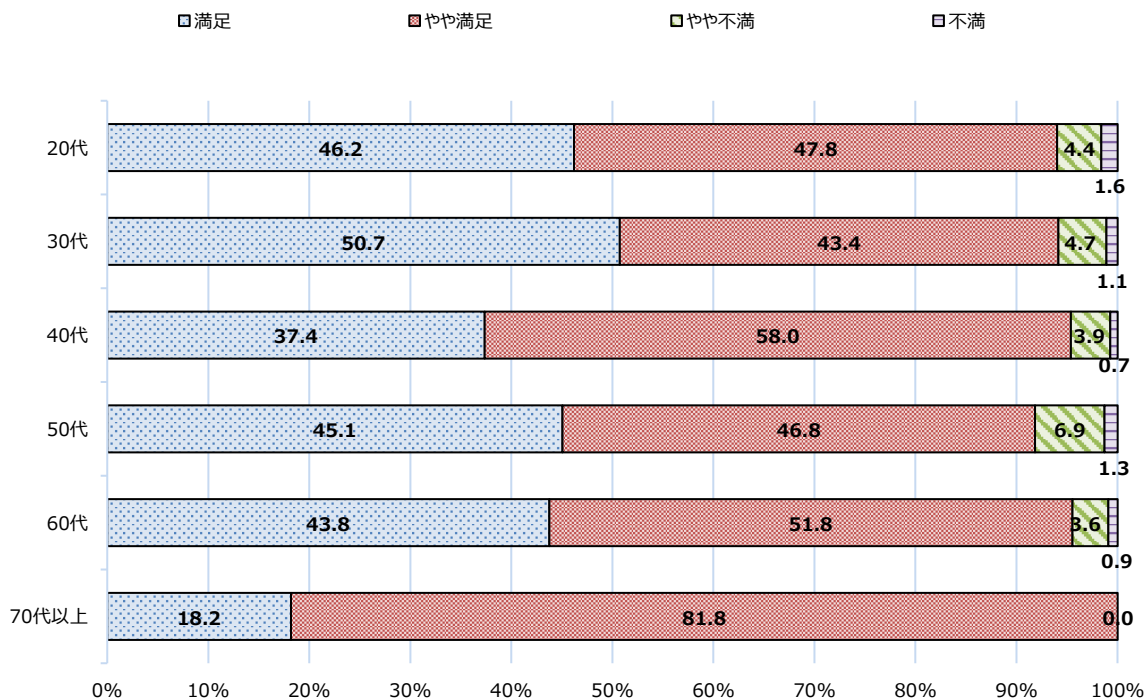
<滞在中のコンテンツ満足度>



<性別>



<年代別>



(2 4) コンテンツ満足度の回答理由 (自由回答)

Q26. 前問で回答した理由を教えてください。

「満足」、「やや満足」の回答理由としては、体験コンテンツの楽しさ、沖縄らしい文化体験、自然・景観の魅力が中心である。
一方で、「やや不満」、「不満」の回答理由としては、内容のありきたり感、品質への物足りなさ、価格やサービス面への意見が挙がる。

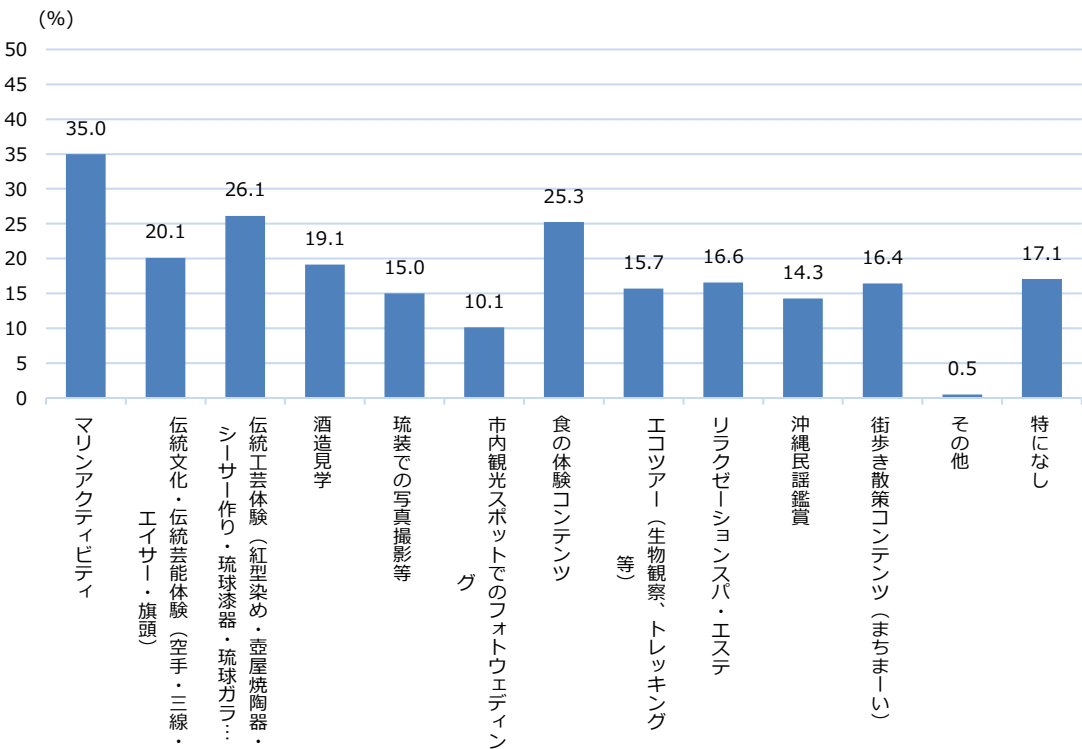
回答結果	項目	代表的な意見
満足 (516件)	楽しさ・満足感 (203件)	・ダイビングは最高 ・アクティビティが豊富でとても満足です。 ・いい体験ができた
	文化・歴史・沖縄らしさ (53件)	・ザ沖縄を感じる事ができたから ・シーサー作りと琉球ガラスは大人も子供も楽しく体験でき 品物も思い出になり良かった エステは非日常のリラックス感が良かった ・とても沖縄らしさを感じたからです。
	自然・景観の良さ (49件)	・ウミガメを見られたから ・シュノーケリングもきれいだっし パラセーリングは感動しました ・とにかく開放感があり自然と触れ合えられること
やや満足 (578件)	楽しさ・満足感 (161件)	・100%満足とはいえない、慣れない土地で色々大変だったり体調が関わることでもあったので、身体に普段がかかったり疲れを感じたり、接客なども総合的に考えて70%くらいの満足度です。 ・イベント多くて楽しい
	学び・発見・希少性 (43件)	・いろいろ知らないこと体験 ・そこでしかできない体験ができたから ・そこでしか体験できないことは楽しかった
	内容・品質への不満 (30件)	・ありふれていたから ・ダイビングショップの質の低下
やや不満 (55件)	内容・品質への不満 (6件)	・ありきたり ・いくつものひびから ・なんかおもってたのとちがう
	価格・コスパ (5件)	・値段がたかい
	楽しさ・満足感 (3件)	・満足はしていない ・面白くなかった
不満 (13件)	内容・品質への不満 (3件)	・つまらなかった ・期待はずれだった
	スタッフ・サービス (2件)	・ダイビングショップが適切なサービスを行わず、費用を請求してきた。 ・愛想がない
	その他 (1件)	・外国人だらけ

（２５）次回の体験したいコンテンツ参加意向(複数回答可)

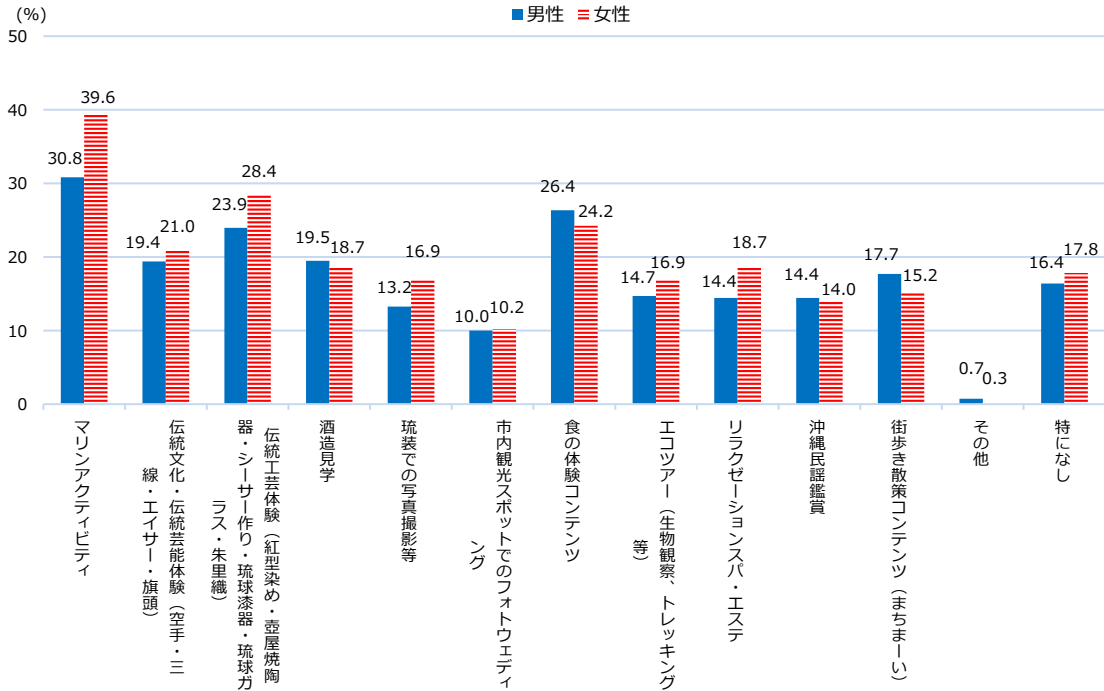
Q27. 次回、那覇市に訪れたときに体験したいコンテンツは何ですか。

次回体験したいコンテンツについて、「マリンアクティビティ」が35.0%で最も高く、次いで「伝統工芸体験」の26.1%、「食の体験コンテンツ」の25.3%と続く。
性別で見ると、「マリンアクティビティ」は男性よりも女性のほうが8.8ポイント高い傾向にある。

＜次回体験したいコンテンツ＞

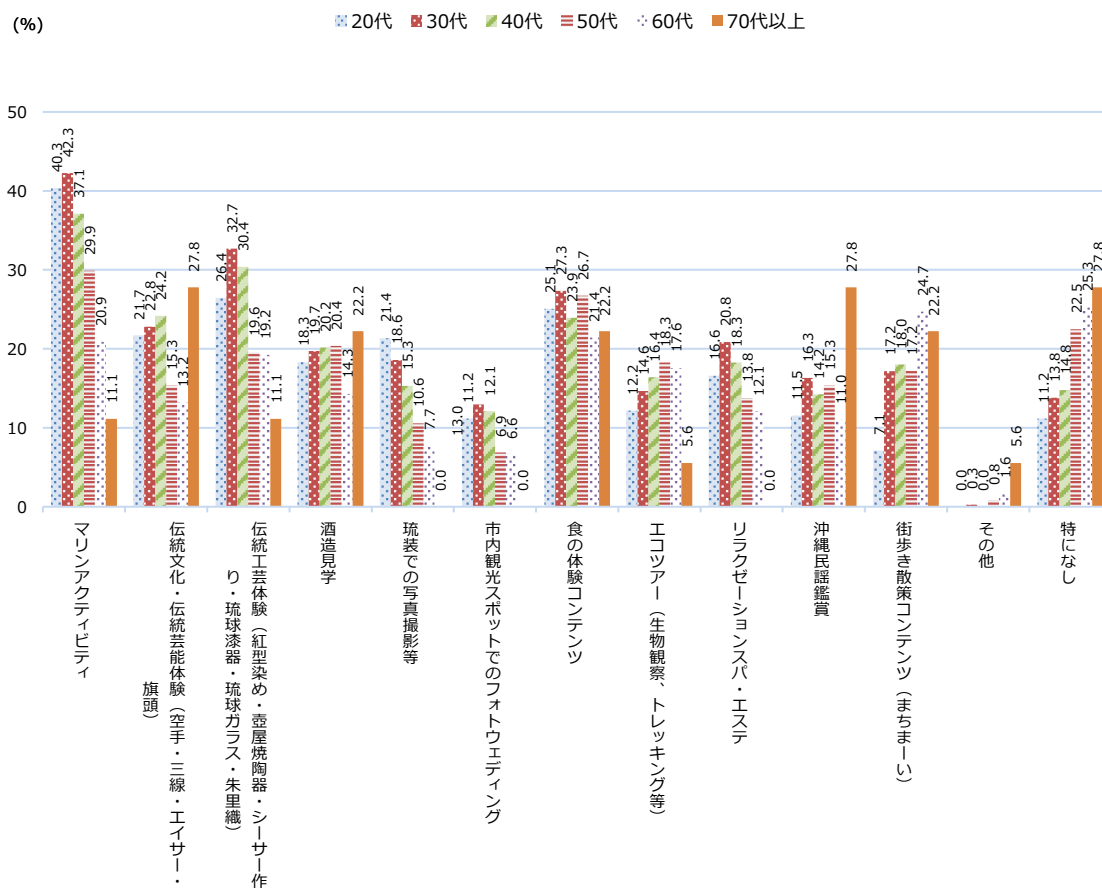


＜性別＞



(2 5) 次回の体験したいコンテンツ参加意向(複数回答可)

<年代別>



（２６）観光満足度

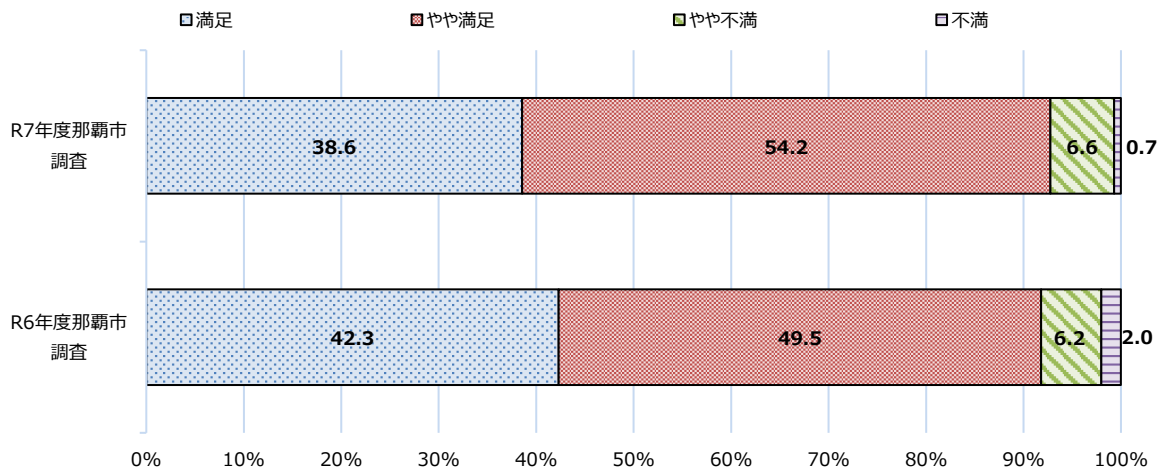
Q28. 那覇市内における散策や宿泊など、観光全般における旅行の満足度を教えてください。

那覇市内観光の満足度については、「満足」の38.6%、「やや満足」の54.2%を合わせると92.8%の高いポイントを獲得している。

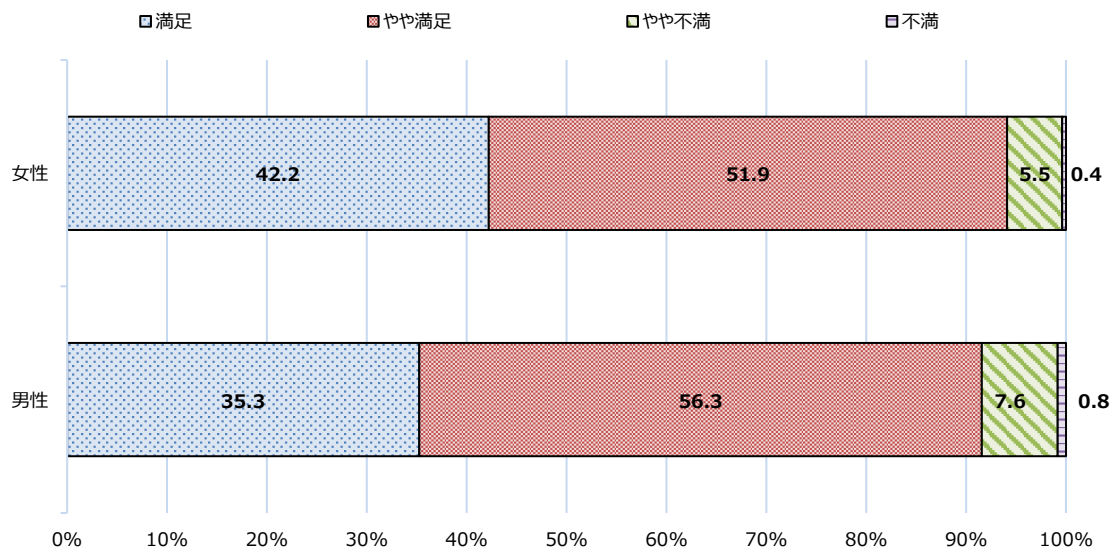
性別、年代別で見ても満足度は高い傾向となっている。

＜観光満足度＞

＜比較対象：令和6年度調査＞

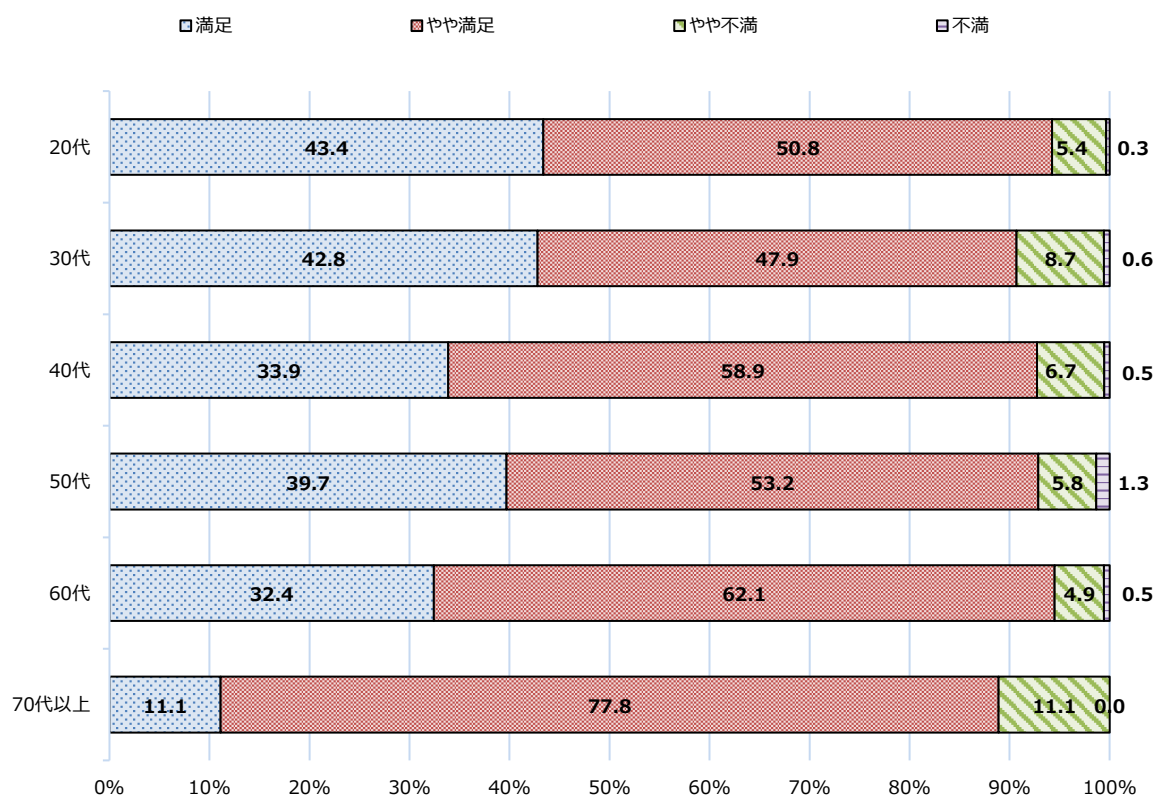


＜性別＞



(2 6) 観光満足度

<年代別>



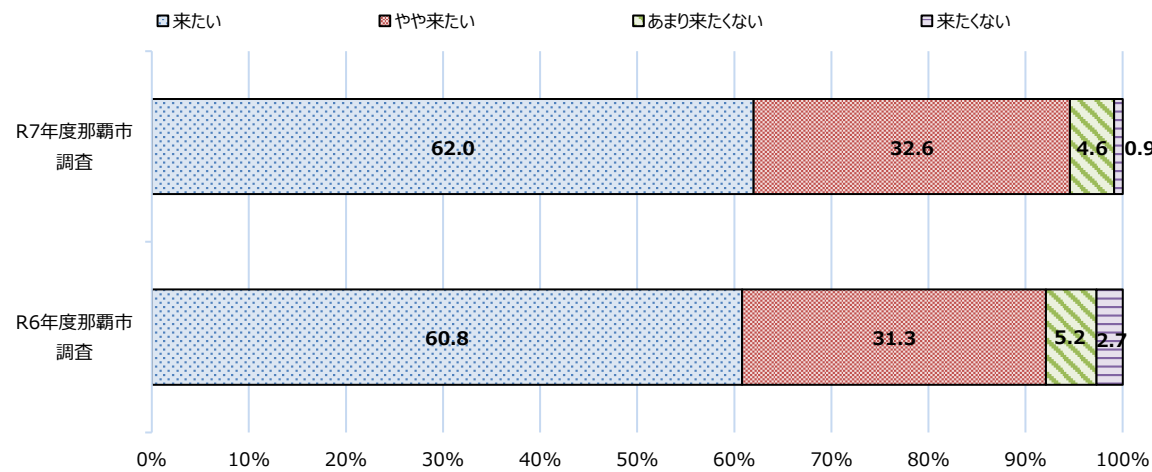
（２７）再訪希望度

Q29. また那覇市へ旅行に訪れたいと思いますか。

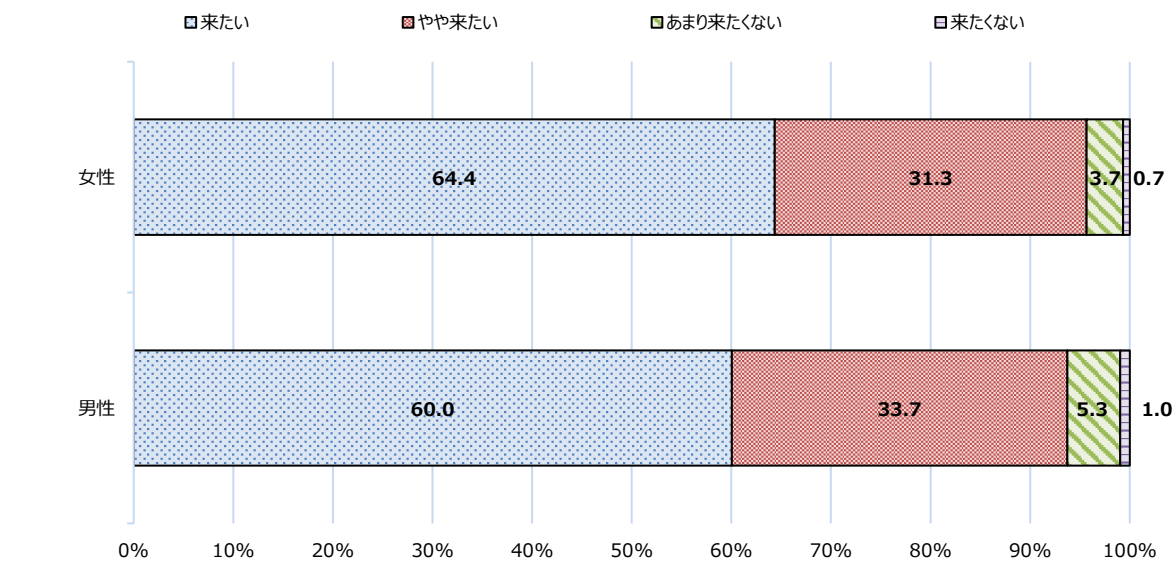
那覇市への再訪意向は、「来たい」が62.0%であり、「やや来たい」の32.6%を加えると94.6%と高い。

年代別でみると60代で「来たい」と回答する割合が最も高く69.2%に上る。

＜再訪希望度＞
 ＜比較対象：令和6年度調査＞



＜性別＞



(27) 再訪希望度
＜年代別＞

